

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部電気電子情報工学科	職名 准教授	氏名 阿部 晋	大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
Effetive excitation by single magnet in rotation sensor and domain wall displacement of FeCoV wire	共著	2011年 7月	Journal of Applied Physics. 109(07)	T. kohara, T. Yamada, S. Abe , S. Kohno, F. Kaneko and Y. Takemura	

Magnetic Field Measurement near a Superconducting Film Using a 2-Dimensional Field-Dependence of Josephson Current through a Nb Tunnel Junction Sensor	共著	2012年 6月	Journal of Nanoscience and Nanotechnology 12(6)	T Akiyoshi NAKAYAMA, Susumu ABE, Norimichi WATANABE, Yoichi OKABE	5017-5020頁
Modulation Characteristics of DC Josephson Current through Niobium Tunnel Junction by Applying External Magnetic Field in Perpendicular Direction	共著	2012年 6月	Journal of Nanoscience and Nanotechnology 12(6)	Akiyoshi NAKAYAMA, Susumu ABE, Norimichi WATANABE, Yoichi OKABE	5021-5024頁
Anomalous Modulation Characteristics of DC Josephson Current through Niobium Tunnel Junction by Applying External Magnetic field 4000A/m in Perpendicular Direction	共著	2013年 3月	ELSEVIER Microelectronivc Engineering 108(3)	A. Nakayama, S. Abe, N Watanabe, Y. Okabe	93-98頁
Two-dimensional Magnetic Field Dependence of Zero and Finite Voltage Steps in Current-Voltage Characteristics of Rectangular Shape Niobium Tunnel Junctions	共著	2013年 3月	ELSEVIER Microelectronivc Engineering 108(3)	A. Nakayama, S. Abe, N Watanabe, Y. Okabe	.93-98頁

Modulation of a Josephson current through an Nb/Al-AlOx/Nb Josephson junction by a parallel magnetic field and a perpendicular magnetic field	共著	2014年 3月	Journal of Applied Physics. 116, 033920 116(03)	N Watanabe, S. Abe, A. Nakayama,	033920-1-4頁
その他					
なし					
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月	内容				
1970年～現在に至る	応用物理学会(国内学会)会員				
1970年～現在に至る	日本応用磁気学会(国内学会)会員				
1970年～現在に至る	電子通信学会(国内学会)会員				
1970年～現在に至る	電気学会(国内学会)会員				
1970年 4月～現在に至る	個人研究 磁気センサに関する研究				
2000年 5月～現在に至る	電気材料標準化委員会 委員				
2005年 4月～現在に至る	個人研究 超伝導体に関する研究				

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部電気電子情報工学科	職名 助手	氏名 岩村 保雄	大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
電子情報実験C/Dテキスト		2008年 3月 ～現在に至る	本テキストの「半導体接合の特性」、「薄膜の製作と接触」の項を担当した。		
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
ソブテック2A3を使ったモノ構成の無帰還A級プッシュプルアンプ	単著	2010年 4月	(「MJ無線と実験」(誠文堂新光社))		
コストと作り易さを追求したEL84/6BQ5による2.5Wのシングルアンプ	単著	2010年 5月	(「MJ無線と実験」(誠文堂新光社))		
4 1 シングルアンプ WE系コアのOPTを使って	単著	2010年 7月	(「MJ無線と実験」(誠文堂新光社))		

KT88/KT66/ビーム管パワーアンプ	共著	2010年11月	(誠文堂新光社)	長真弓、黒川達也、森川忠勇、佐藤進、岩村保雄	
JJ 300Bを使った出力15Wのモノ構成プッシュアップアンプ 2A3プッシュアップアンプを改造して	単著	2010年12月	(「MJ無線と実験」(誠文堂新光社))		
オーディオ用オペアンプをドライブ回路に使った出力4Wの全段直結C3mプッシュアップ・ハイブリッドアンプ	単著	2011年 1月	(「MJ無線と実験」(誠文堂新光社))		
真空管式フォノEQ&プリアンプ	共著	2011年 3月	(誠文堂新光社)	松並希活、佐藤進、征矢進、柳沢正史、長真弓、岩村保雄	
ゼロバイアスの2E14による全段直結ハイブリッド・シングルアンプ 信号経路からコンデンサーを排除する試み	単著	2011年 7月	(「MJ無線と実験」(誠文堂新光社))		
アナログレコードを楽しむために製作したLCR型イコライザーアンプ	単著	2011年 8月	(「MJ無線と実験」(誠文堂新光社))		
大型ファインメット出力トランスを使ったトランスドライブPX4シングルアンプ	単著	2011年10月	(「MJ無線と実験」(誠文堂新光社))		
五極管6SJ7でドライブした出力6WのUL動作EL34シングルアンプ	単著	2012年 1月	(「MJ無線と実験」(誠文堂新光社))		
ファインメットトランス採用の高品位な小出力AL4(EL3)三結シングルアンプ	単著	2012年 5月	(「MJ無線と実験」(誠文堂新光社))		

アナログレコードを楽しむために製作したLCR型イコライザーアンプ(2) RIAA-EQ用インダクターの検討とその実装について	単著	2012年 8月	(「MJ無線と実験」(誠文堂新光社))		
作って楽しむ真空管オーディオアンプ	共著	2012年 9月	(誠文堂新光社)	征矢進、岩村保雄、佐藤進、小澤安生	
タムラトランスと高槻300Bのコラボによる300Bシングルアンプ WE396Aを初段に使うってウェスターンらしさを演出	単著	2012年10月	(「MJ無線と実験」(誠文堂新光社))		
211シングルアンプの製作	単著	2012年11月	(「MJ無線と実験」(誠文堂新光社))		
余裕ある出力200mWとローノイズを実現した6DJ8プッシュプルヘッドフォンアンプ	単著	2012年12月	(「MJ無線と実験」(誠文堂新光社))		
作り易い出力4Wの無帰還2A3シングルアンプ	単著	2013年 4月	(「MJ無線と実験」(誠文堂新光社))		
AB級動作出力11Wの5996A単管プッシュプルアンプ	単著	2013年 6月	(「MJ無線と実験」(誠文堂新光社))		
PK帰還により特性が大幅に改善された6V6GT 3Wシングルパワーアンプ	単著	2013年 8月	(「MJ無線と実験」(誠文堂新光社))		
KT88シングルアンプ タムラトランスを使いUL接続で出力11W	単著	2013年 9月	(「MJ無線と実験」(誠文堂新光社))		

サブミニ管7503WBを使ったCD用ラインアンプ	単著	2014年 1月	(「MJ無線と実験」(誠文堂新光社))		
染谷電子の新OPTを使った出力4.7Wの6BM8三極管接続プッシュプルアンプ	単著	2014年 3月	(「MJ無線と実験」(誠文堂新光社))		
Quad風の位相反転回路をつかったEL84プッシュプルアンプ	単著	2014年 5月	(「MJ無線と実験」(誠文堂新光社))		
2A3シングルアンプを改造し、出力トランスにA86-35K48を採用した出力7W、300Bシングル無帰還アンプ	単著	2014年 6月	(「MJ無線と実験」(誠文堂新光社))		
オーディオ音質改善100	共著	2014年 6月	(誠文堂新光社)	安井章、落合萌、松並希活、佐藤進、柳沢正史、岩村保雄	
論文					
なし					
その他					
真空管アンプ発表会(真空管オーディオフェア/千代田区損保会館)	共著	2010年10月		松並希活、佐藤進、岩村保雄	
真空管アンプ発表会(真空管オーディオフェア/千代田区損保会館)	共著	2011年10月		松並希活、佐藤進、岩村保雄、征矢進	
真空管アンプ発表会(真空管オーディオフェア/千代田区損保会館)	共著	2012年10月		松並希活、佐藤進、岩村保雄、征矢進	

真空管アンプ発表会（真空管オーディオフェア／千代田区損保会館）	共著	2013年10月		松並希活、佐藤進、 <u>岩村保雄</u> 、征矢進	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
		応用物理学会(国内学会)会員			
		日本物理学会(国内学会)会員			
2005年 4月～現在に至る		個人研究 III-V 窒化物半導体のエピタキシャル成長と評価			

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部電気電子情報工学科	職名 教授	氏名 穴田 哲夫	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
電子情報通信学会の時限研究会 (MST研) による本： マイクロ波シミュレータの基礎		2004年 3月20日 ～現在に至る	電気磁気学の教育を担当しているので、学生にイメージを伝えるために 電磁解析シミュレータによる可視化，FDTD法の数値計算結果の可視化に 取り組み，電気磁気学のイメージを提供。		
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
マイクロ波技術者（初学者）のための基礎講座分担任		2006年11月 6日 ～現在に至る	マイクロ波平面回路の電磁界測定とシミュレーションとの比較. の題目 で初級技術者に講義. 過去にも同技術展示において，電磁界の数値解析のオーガナイザーを努 めた。		
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
マイクロ波伝送・回路 デバイスの基礎	共著	2013年 2月	(オーム社)	穴田哲夫	
論文					

Synthesis of compact UWB bandpass filter with improved performances (査読付)	共著	2010年 6月	Microwave and Optical Technology Letters 52(6)		1268-1271頁
Simplified Computation of Photonic Crystal Multimode Interference Devices Using TD-Beam-Propagation Method (査読付)	共著	2010年10月	Proc. 39th European Micro. Conf., pp.1417-1420, Sept. 2010, Paris France	J. TAKAHASHI, C.-P. CHEN, R. IINUMA, T. ANADA, Z. MA and C. CHRISTOPOULOS	
Theoretical Design of High-performance Microstrip Ultra-wideband Bandpass Filter with Controllable Transmission Zeros (査読付)	共著	2011年 2月	IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering, Vol.6, No. 1, Feb. 2011.	C.-P. CHEN, Z. MA, T. ANADA, et al	
Novel Synthesis Methodology for Ultra-Wideband Filters Based on Frequency Transformation Technique	共著	2011年10月	EuMC06-2 EuMW, 2011, 10-13 Oct.	C. Chen, R. Iinuma, J. Takahashi, Z. Ma, T. Anada, S. Takeda	
Numerical study on transmission characteristics of photonic crystal waveguides for submillimeter and terahertz frequency applications (査読付)	共著	2011年12月	Asia-Pacific Microwave Conf.		1722-1725頁

THz帯2Dフォトニック結晶マイクロキャビティの縮退モードとその応用	共著	2012年 7月	電子情報通信学会 112(157)		173-178頁
A Novel Bandpass Filter Using Higher-Order Degenerate Modes of Planar Photonic Crystal Microcavity in Terahertz Regime (査読付)	共著	2012年10月	EuMW 2012	T. Anada, C.P. Chen S.Takeda, et al	pp. 1186-1189頁
A Novel Photonic Crystal Bandpass Filter Using Degenerate Modes of Point-Defect Microcavity for Terahertz Communication System (査読付)	共著	2012年12月	Proc. Asia Pacific Microwave Conference 2012, APMC2012	Y. Kamiiji, N. Nagaoka, C.-P Chen, Tetsuo. Anada and Hsu., Jui-Pang	583-585頁
Theoretical/Synthesis Design of Compact UWB Bandpass Filters with Very Sharp Roll-off Characteristics (査読付)	共著	2012年12月	Asia Pacific Microwave Conference 2012 2C2-03		112-114頁
PhC によるTHz 帯小型デュアルモードバンドパスフィルタの提案” 電子情報通信学会 OPE2013 年4 月期研究会, 2013 年4 月	共著	2013年 4月	電子情報通信学会 OPE2013		

テラヘルツ帯金属フォトニック結晶共振器の2重縮退モードを用いた狭帯域バンドパスフィルタの検討	共著	2013年 5月	電子情報通信学会信学技報 113(26)		39-44頁
Realization of UWB Filter with SIRs and Parallel-Coupled Three Lines by Synthesis Method (査読付)	共著	2013年 8月	Microwave and Optical Technology Letters 55(11)		2689-2692頁
Numerical Study on Upper-Millimeter Wave to Terahertz Devices using PBG Waveguiding Structure (査読付)	共著	2013年10月	43th European Microwave. Conference EuMW2013	Katsuhiko Kamata, Takemasa Kato, C.-P. Chen, Tetsuo. Anada, Shigeki Takeda	1047-1050頁
A novel photonic crystal band-pass filter using degenerate modes of a point-defect microcavity for terahertz communication systems (査読付)	共著	2014年 4月	Microwave and Optical Technology Letters 56(4)	Chen Chun-Ping, Tetsuo Anada, Stephen Greedy, Trevor M. Benson and Phillip Sewell	792-797頁
フォトニック結晶によるテラヘルツ帯デュアルモードバンドパスフィルタの提案 (査読付)	共著	2014年 5月	電子情報通信学会論文誌 C J97-C(5)	鎌田 克洋, 加藤丈政, 小田純也, 陳 春平, 穴田哲夫, 許瑞邦	186-193頁
テラヘルツ帯金属フォトニック結晶を用いた電磁波回路の伝送特性 (査読付)	共著	2014年 7月	電子情報通信学会論文誌 C Vol. J97-C, No. 7, pp. 290-297 J97-C(No. 7)	加藤丈, 鎌田, 加藤紀, 陳, 穴田哲夫	pp. 290-297頁
その他					

なし				
Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
年月		内容		
1972年 4月～現在に至る		電子通信学会(国内学会)会員		
1974年 4月～現在に至る		アメリカ電気学会 (IEEE) (国内学会)会員		
1997年 4月～現在に至る		Asia-Pacific Microwave Conference プログラム委員		
1997年 4月～現在に至る		Microwave Workshop & Exhibition プログラム委員		
2001年 2月～現在に至る		Asia-Pacific Microwave Conference プログラム委員		
2001年 2月～現在に至る		Microwave Workshop & Exhibition プログラム委員		
2001年 2月～現在に至る		電子情報通信学会 (IEICE) 論文査読委員		
2005年 4月～現在に至る		IEEE Electromagnetic Compatibility(EMC) 論文査読委員		
2005年 4月～現在に至る		個人研究 マイクロ波回路の数値解析(FDTD法による)		
2005年 4月～現在に至る		個人研究 光導波形状デバイスのシミュレーション, 作製, 測定に関する研究		
2012年 4月～現在に至る		科学研究費補助金 4,810,000円 「基盤研究C」 ミリ波・サブミリ波帯におけるフォトニック結晶構造を応用した電磁波回路の解析と応用 (研究代表者)		

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部電気電子情報工学科	職名 教授	氏名 平手 孝士	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
なし					
その他					
なし					
III 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
1974年 4月～現在に至る		個人研究 薄膜電界発光材料素子に関する研究			
1987年～現在に至る		私学振興財団の補助を得て「複合表面分析装置」を導入			

1992年～現在に至る	私学振興財団の補助を得て「半導体微細加工システム」を導入
1997年 4月～現在に至る	個人研究 新機能薄膜電界発光材料の開発研究
2002年 4月～現在に至る	個人研究 酸化亜鉛ナノ構造の成長制御技術とその電子デバイスへの応用

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部電気電子情報工学科	職名 教授	氏名 遠藤 信行	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)
I 教育活動			
教育実践上の主な業績	年 月 日	概 要	
1 教育方法の実践例			
問題解法法に関するプレゼンテーションの採用	2000年 4月 ～現在に至る	電気回路演習において、各履修者に割り振った解くべき問題の解法を、クラス全員の前で黒板を使用して説明するように指導した。さらに、質問に対する適切な回答を行うようにも指導した。これより、自分の考えを他人に正確に伝えるための技術を習得することに役立った。	
学生による授業評価アンケート結果の活用	2002年 4月 ～現在に至る	「電気回路1 & 2」におけるアンケート結果をもとに、理解が浅い学生に対する個人指導を意識した教育をした。すなわち、小テスト時において、演壇から降壇して理解のできない学生の机の間を巡回し、それぞれの問題について対話教育をした。	
学生の授業評価アンケート結果の活用	2002年 4月 ～現在に至る	「電気回路演習」におけるアンケート結果をもとに、理解が浅い学生に対する個人指導を意識した教育をした。すなわち、小テスト時において、演壇から降壇して理解のできない学生の机の間を巡回し、それぞれの問題について対話教育をした。	
2 作成した教科書、教材			
電気回路演習用問題の製作	2000年 4月 ～現在に至る	「電気回路演習」あるいは「ユニット演習2」用の学生が回答すべき問題の作成	
英文を含む資料ならびに演習問題の作成	2008年10月 ～現在に至る	「デジタル電子回路」において、これからの国際化を認識させるために、ダイオード素子に関する英文資料を製作し、試験問題にも出した。	
3 教育上の能力に関する大学等の評価			
2007年度前期授業評価アンケート	2007年 7月 ～現在に至る	(授業科目：電気回路2) 学生の授業評価アンケートにおいて、総合満足度が73点であり、電子情報フロンティア学科におけるトップであった。	
工学部優秀講義賞	2008年 3月 ～現在に至る		
4 実務の経験を有する者についての特記事項			

社内教員に対する専門教育の実践	2001年12月 ～現在に至る	NPO法人海洋音響学会の技術講習会を開催し、NEC社等の社員（海洋音響に関する専門家）に、社内教育のための専門研究について講義し、製作したプログラム（後で配布）を使用した実践教育を行った。			
5 その他					
私立大学情報教育協会会議出席	2004年 7月31日 ～現在に至る	教育の情報化推進のための理事長学長等会議（明治大学）に出席した。			
私立大学情報教育協会会議出席	2006年 8月 2日 ～現在に至る	教育の情報化推進のための理事長学長等会議（工学院大学）に出席			
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
Imaging Performance Evaluation Method of Wide-View Underwater Acoustic Lens by Geometrical Skew Ray Analysis (査読付)	共著	2010年 7月	Jpn. J. Apl. Phys 49(7B)	S. Matsumoto, N. Takeyama, T. Tsuchiya, and <u>N. Endoh</u>	07HG02 (4pages)頁
Numerical Analysis of Pulse Wave Propagation in Lutzow-Holm Bay of the Antarctic Ocean Calculated by the Parabolic Equation Method (査読付)	共著	2010年 7月	Jpn. J. Apl. Phys. 49(7B)	T. Tsuchiya, S. Matsumoto T. Anada and <u>N. Endoh</u>	07HG14 (6pages)頁
Numerical Simulation of Target Range Estimation Using Ambient Noise Imaging with Acoustic Lens (査読付)	共著	2010年 7月	Jpn. J. Apl. Phys. 49(7B)	K. Mori, H. Ogasawara, T. Nakamura, T. Tsuchiya, and <u>N. Endoh</u>	07HG01 (8pages)頁

Numerical Simulation of Target Range Estimation Using Ambient Noise Imaging with Acoustic Lens (査読付)	共著	2010年 7月	Jpn. J. Apl. Phys. 49(7B)	K. Mori, H. Ogasawara, T. Nakamura, T. Tsuchiya, and N. Endoh	07HG1 (8pages)頁
Measurement of two-dimensional temperature distribution in tissue phantom caused by ultrasonic irradiation observing by infrared camera (査読付)	共著	2011年 5月	Measurement of two-dimensional temperature distribution in tissue phantom caused by ultrasonic irradiation observing by infrared camera Proc. of 13th World Congress of Ultrasound medicine and Biology	R. Niikawa, T. Tsuchiya, S. Tanaka, S. Sakuma, N. Endoh,	S32頁
数値解析を用いた南極海浅海域の音オア伝搬シミュレーション-観測線Lの冬期伝搬特性- (査読付)	共著	2011年 5月	電子情報通信学会論文誌 A J94-A(11)	土屋 健伸, 穴田 哲夫, 松本 さゆり, 遠藤 信行	
Design and Convergence Performance Analysis of Aspherical Acoustic Lens Applied to Ambient Noise Imaging in Actual Ocean Experiment (査読付)	共著	2011年 7月	Jpn. J. Apl. Phys. 50(7B)	K. Mori, H. Ogasawara, T. Nakamura, T. Tsuchiya, and N. Endoh	7HG09 (6 pages)頁

Design of Acoustic Lens Beamformer for Ambient Noise Imaging and Preliminary Results of Target Detection in Actual Ocean Trial Using Prototype System (査読付)	共著	2011年 7月	Proc. 4th International Conference and Exhibition on UAM	K. Mori, H. Ogasawara, T. Nakamura, T. Tsuchiya, and N. Endoh	1179-1184頁
Basic Study of Property of Planate Acoustic Lens constructed with Phononic Crystal Structures	共著	2011年 9月	Proc. of IEEE Ultrasonics Symposium 2011 in CD-ROM	T. TSUCHIYA, T. ANADA, N. ENDOH	
シングア라운드法を用いた音響レンズ材の音速の温度依存性の測定 (査読付)	共著	2011年10月	海洋音響学会誌 30(4)	土屋 健伸, 遠藤 信行, 松本 さゆり, 森 和義	195-202頁
Basic Study of Properties of Planate Acoustic Lens Constructed with Phononic Crystal Structure (査読付)	共著	2012年 7月	Jpn. J. Apl. Phys. 51(7B)	T. Tsuchiya, T. Anada, <u>N. Endoh</u> , S. Matsumoto, and K. Mori,	07GG11 (5 pages)頁
Extraction of Target Scatterings from Received Transients on Target Detection Trial of Ambient Noise Imaging with Acoustic Lens (査読付)	共著	2012年 7月	Jpn. J. Apl. Phys. 51(7B)	K. Mori, H. Ogasawara, T. Nakamura, T. Tsuchiya, and N. Endoh	07GG10 (7 pages)頁

Numerical Analysis of Frequency Characteristics of a Prototype Planate Acoustic Lens Constructed by Phononic Crystal Structures (査読付)	共著	2012年 7月	Proc. of IEEE International Ultrasonics Symposium 2012	T. Tsuchiya, T. Anada, <u>N. Endoh</u> , S. Matsumoto, and K. Mori	(5pages)頁
Numerical Analysis of Frequency Characteristics of a Prototype Planate Acoustic Lens Constructed by Phononic Crystal Structures	共著	2012年10月	Proc. of IEEE Internatioanl Ultrasonics Symposium 2012	T. Tsuchiya, T. Anada, N. Endoh, S. Matsumoto, and K. Mori	
Experiment and Numerical Analysis of Temperature Rise in Phantom Caused by High-Intensity Focused Ultrasonic Irradiation (査読付)	共著	2013年 7月	Jpn. J. Apl. Phys. 52(7B)	S. Tanaka, K. Shimizu, S. Sakuma, T. Tsuchiya, and <u>N. Endoh</u> ,	07HF09 (5 pages), 頁
その他					
Development of four-dimension wide view imaging and surveying system	共著	2010年 6月	Proc. of 10th European Conference on Underwater Acoustics	S. Matsumoto, T. Tsuchiya, N. Endoh et. al	
Preliminary results of biological transient noise observation at Hashirimizu Port in Tokyo Bay	共著	2010年 6月	Proc. of 10th European Conference on Underwater Acoustics	K. Mori, H. Kada, H. Ogasawara, T. Nakamura, T. Tsuchiya, N. Endoh	

Numerical Analysis of Propagated Pulse Wave in Lűtzow-Holm Bay of the Antarctic Ocean Calculated by the Parabolic Equation Method	共著	2010年 7月	Proc. of 10th European Conference on Underwater Acoustics	T. Tsuchiya, N. Endoh,	
Sound pressure analysis and experiment of small ultrasonic lens	共著	2010年 8月	Proc. of 20th International Congress on Acoustics	N. Endoh, T. Tsuchiya, & K. Mori,	
Acoustic Lens Designing for Underwater and Medical Application	共著	2011年 1月	Proc. of Joint Conference on Acoustics 2011 (Acoust. Soc. of Korea Yongun Chapter/Acoust. Soc. of Japan Kyushu Chapter)	N. Endoh, T. Tsuchiya, and K. Mori,	
Underwater Sound Propagation near Showa-Base in Antarctic Ocean	共著	2011年 1月	Proc. of Joint Conference on Acoustics 2011 (Acoust. Soc. of Korea Yongun Chapter/Acoust. Soc. of Japan Kyushu Chapter)	T. Tsuchiya, and N. Endoh,	
超音波照射時の分割ファントム内部の温度上昇分布の熱画像による測定 ～ トランスデューサからファントム内のへ熱伝達量の推定～	共著	2012年 1月	電子情報通信学会技術報告	新川竜大, 佐久間 優, 田中伸, 土屋健伸, 遠藤信行	

PRELIMINARY ANALYSIS OF SPATIAL DISTRIBUTION OF NOISE SOURCES ON SEA TRIAL OF AMBIENT NOISE IMAGING WITH ACOUSTIC LENS	共著	2012年 7月	Proc. of 11th European Conference on UNDERWATER ACOUSTICS 1	K. MORI, H Ogasawara, T. Nakamura, T. TSUCHIYA, and, N. ENDOH	1484-1489頁
THE DESIGN OF PLANATE ACOUSTIC LENS MADE BY PHONONIC CRYSTAL STRUCTURES	共著	2012年 7月	Proc. of 11th European Conference on UNDERWATER ACOUSTICS	T. TSUCHIYA, T. ANADA, N. ENDOH, S. MATSUMOTO, and, K. MORI	1738-1743頁
3D-Simulation for temperature rise in tissue mimicking phantom with bone	共著	2012年 8月	電子情報通信学会技術報告 US2012-39	N. Endoh, T. Tsuchiya, S. Sakuma, S. Tanaka	27-32頁
Development of Four-Dimensional Underwater Image-Capture Apparatus	共著	2012年 8月	電子情報通信学会技術報告 US2012-44	S. Matsumoto, K. Katakura, M. Nanri, N. Takeyama, T. Tsuchiya, N. Endoh, T. Noguchi	53-58頁
Comparison of 3D-Simulation and Experiment of Temperature Rise in Phantom Caused By Ultrasound Irradiation,	共著	2013年 1月	Proc. of Youngnam-Kyushu Joint Conference on Acoustic 2013,	N. ENDOH, T. TSUCHIYA, S. TANAKA, and S. SAKUMA,	
3次元FDTD-HCE法を用いたファントム内部の温度上昇解析 -熱画像と熱電対による観測結果との比較-	共著	2013年 3月	日本音響学会講演論文集,	清水 一磨, 田中 伸, 佐久間 優, 土屋 健伸, 遠藤 信行,	1263-1264頁
熱画像法ならびに熱電対法を用いた強力集束超音波照射時の温度上昇値の時間変化測定”	共著	2013年 5月	日本超音波医学会第86回学術集会 S440	清水一磨, 佐久間優, 田中伸, 土屋健伸, 遠藤信行,	

the 1st Underwater Acoustics Conference		2013年 6月	(Greece)		
血流の熱搬送効果が生体ファントム内の温度分布に与える影響,	共著	2014年 5月	電子情報通信学会技術報告	深澤 昂太, 清水 一磨, 波田野雄一, 土屋 健伸, 遠藤 信行,	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
1969年～2010年		個人研究 超音波医用診断に関する研究			
1971年 7月～現在に至る		日本超音波医学会(国内学会)会員			
1971年 8月～現在に至る		日本音響学会(国内学会)会員			
1981年 4月～現在に至る		電子情報通信学会(国内学会)会員			
1985年10月～現在に至る		アメリカ音響学会(国内学会)会員			
1986年～現在に至る		その他の補助金・助成金(財電気通信普及財団)400,000円 「海外渡航旅費」 (研究代表者)			
1987年 7月～現在に至る		アメリカ超音波医学会会員			
1990年～現在に至る		(財)国際科学技術財団 日本国際賞(Japan Prize)候補者の推薦 推薦者			
1992年～2010年		個人研究 海洋内音波伝搬に関する研究			
1992年 4月～現在に至る		第7回世界超音波医学学術連合大会 実行委員			
1995年 4月～現在に至る		Scientific Editorial Board of Ultrasound International			
1995年 5月～現在に至る		海洋音響学会(国内学会)会員			
1996年 5月～現在に至る		海洋音響学会平成8年度研究発表会実行委員 委員長			
2000年～2010年		個人研究 空中用ソーナーの研究			
2008年 4月～2011年 3月		科学研究費補助金 3,900,000円 「基盤研究(C)」カテーテル型超音波プローブ開発のための複合音響レンズの開発(研究代表者)			
2008年 5月～2010年 5月		(社)日本超音波医学会(国内学会)会員			
2008年 5月～2010年 5月		(社)日本超音波医学会(国内学会)副理事長			
2008年 5月～2010年 5月		(社)日本超音波医学会(国内学会)学術集会委員会委員長			
2008年 9月～2010年12月		NDO 深部治療に対応した次世代DDS型治療システムの研究開発プロジェクト 評価委員 中間、事後評価委員会委員			
2009年 5月～2011年 5月		海洋音響学会(国内学会)会員			
2009年 5月～2011年 5月		海洋音響学会(国内学会)会長			
2009年 5月～現在に至る		電子情報通信学会(国内学会)シニア会員			
2009年 5月～現在に至る		電子情報通信学会(国内学会)シニア会員			
2010年 2月～2012年 2月		産業技術総合研究所国際計量研究委員会 音響超音波振動委員会委員			
2010年 4月～現在に至る		超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム 運営委員			
2010年 4月～2011年 3月		超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム 運営委員			
2010年 4月～2011年 3月		超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム 運営委員			

2010年 5月～2012年 5月	(社) 日本超音波医学会(国内学会)会員
2010年 5月～2012年 5月	(社) 日本超音波医学会(国内学会)理事
2010年 7月～2010年11月	外部評価委員会委員長 防衛省技術研究本部
2010年 8月 6日～2011年 3月31日	外部評価委員会委員長 防衛省技術研究本部
2010年 9月17日～2012年 3月31日	NEDO技術委員
2010年10月～2010年11月	NEDO 橋渡し促進技術開発プロジェクト(治療機器) 事後評価委員会
2010年12月～2011年 1月	日本学術振興会 科学研究費委員会 専門委員
2011年 4月～2014年 3月	その他の補助金・助成金((社) 日本超音波医学会)1,100,000円 「平成23年度研究開発班」 フォノンニック結晶構造を有する高性能音響レンズの開発(研究分担者)
2011年 4月～2014年 3月	科学研究費補助金 4,100,000円 「基盤研究(C)」超音波照射に起因する生体内温度障害を避けるための精密測定法と数値解析法の開発(研究代表者)
2011年 4月～2013年 3月	科学研究費補助金 5,330,000円 「基盤研究(C)」超音波照射に起因する生体内温度障害を避けるための精密測定法と数値解析法の開発(研究代表者)
2011年 4月～2013年 3月	競争的資金等の外部資金による研究(日本学術振興会)4,100,000円 超音波照射に起因する生体内温度障害を避けるための精密測定法と数値解析法の開発
2011年 5月～現在に至る	アメリカ音響学会(国内学会)Silver
2011年 5月～現在に至る	アメリカ音響学会(国内学会)シルバー
2011年 5月～2013年 5月	海洋音響学会(国内学会)会員
2011年 5月～2013年 5月	海洋音響学会(国内学会)会長
2012年 4月～現在に至る	個人研究 超音波照射による生体内温度の上昇に関する研究
2012年 4月～現在に至る	個人研究 音響レンズの設計と実測性能の比較
2012年 5月～現在に至る	日本超音波医学会(国内学会)名誉会員
2012年 5月～現在に至る	日本超音波医学会(国内学会)名誉会員
2013年 5月～現在に至る	海洋音響学会(国内学会)会員
2013年 5月～現在に至る	海洋音響学会(国内学会)会長
2014年～2015年	日本超音波医学会(国内学会)利益相反委員会委員

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部電気電子情報工学科	職名 教授	氏名 齊藤 隆弘	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例			
卒業研究指導の工夫		2000年 4月 1日 ～2014年 8月31日	<p>1) 1999年度以前は、卒業研究のために研究室に配属された学生(例年12名前後)を一堂に集め、研究指導のための研究打合せ会を毎週行っていたが、この方法では学生の主体的な学習・研究活動を必ずしも十分に動機付けることができなかった。そこで、2000年度より、学生の卒業研究テーマの類似性を考慮して複数のグループに分け、グループごとに隔週でグループミーティングとインタビュー形式の研究指導を行う方式へと切り替えた。これにより、学生の学習・研究意欲や主体的な学習・研究姿勢を引き出すことができるようになった。</p> <p>2) 2012年度より、3名の学生で研究チームを組織し、研究チームとして一つの卒業研究課題に取り組む方式を採用した。この研究チーム制の導入により、個々の学生がより積極的に卒業研究に取り組み、チームの一員として責任ある行動を示すようになった。</p>
授業記録実施記録の作成とその活用		2003年 4月 1日 ～2014年 8月31日	<p>所属する学科(2004年度当時は電子情報フロンティア学科、現在は電気電子情報工学科)の教育プログラムを2004年度にJABEE申請するための準備として、2003年度より、授業実施記録を授業後に直ちに記載する活動を個人的に開始し、毎回の授業の講義項目、問題点や次回に再度説明する必要のある事項などを記録している。この記録を翌年度の授業内容や授業運営の改善の基礎的データとして活用している。その結果、とくに学生の日常学習の動機付けを行うための授業運営の工夫(配布物の準備と利用、PPスライドの適切な使用法、授業支援システムの活用、宿題や演習・レポート課題の工夫など)が毎年少しずつ変わってきた。</p>
大学院研究指導方法の改善		2006年 4月 1日 ～2014年 8月31日	<p>本研究室(画像工学研究室)では2006年度より学外の研究機関との共同研究の体制を推進しており、大学院生には共同研究に参加するように指導している。大学院の研究打合せは毎週定期的に行っているが、必要に応じて学外の共同研究者も参加している。大学院生はこの会合に出席して毎週研究発表を行うことで、学習・研究意欲や研究能力が飛躍的に向上し、大きな教育的効果をあげつつある。</p>

<p>担当講義科目における講義方法の定常的な改善（2011年度から2014年度まで）</p>	<p>2011年 4月 1日 ～2014年 8月31日</p>	<p>1) 担当の学部必修科目「回路設計のスキルI」、「回路設計のスキルII」、「ユニット演習II」では、2011年度以降、単元毎に、自作のテキストを配布し、これを用いて講義と演習を行う形式へと変更した。2012年度の授業アンケートによれば、受講学生の事前事後学習時間が有意に増加しており、テキスト配布が効果的であった。また、2013年度以降は、これらの配布テキストのPDFを学期前に全て一括してdot Campus（授業支援システム）にアップロードするようにした。</p> <p>2) 担当の学部選択科目「情報通信メディア論（2014年度以降は通信工学基礎と科目名称変更）」では、2003年度から板書中心としていた授業形態を、2011年度以降、PPを使用する授業形態へと改め、また学生の事前事後学習の促進のため、PPスライドのPDFを授業支援システムに事前にアップロードするようにした。2012年度の授業アンケートによれば、受講学生の事前事後学習時間が増加しており、PPスライドのPDFの配布が効果的であった。また、2013年度以降は、各講義回のレジメを授業当日に配布するとともに、学期前に全てのPDFを一括して授業支援システムにアップロードするようにした。</p> <p>3) 2014年度より、新設の学部共通教養科目「人間形成入門（新入学者対象のキャリア形成入門科目）」を、非常勤講師の南 美樹氏と共同担当し、その中で、基礎的な知識に係る講義、小課題ミニレポート及びコミュニケーションペーパーの提出、前回講義の振り返り、学内外のゲストによる講演、学生のグループワークとプレゼンテーション等の多様な学びの形態を組み合わせた授業を実施した。授業内で独自に無記名の学生アンケートを行ったが、これによればほとんど全ての学生が、このような授業形態を非常に肯定的に評価していることが確認できた。</p> <p>4) 2011年度以降、電気電子情報工学専攻のカリキュラムが大改訂され、それ以降、豊嶋久道教授と共同で講義科目「通信工学特論」を担当している。この講義では、レポート課題（学術的にかなり高度な課題）を最初に提示し、この課題の意味を理解し、課題解決に向けて段階的に学べるように授業を運営している。なお、講義で使用するPPスライドや自作のテキストのPDFを講義開始前に配布し、事前事後学習に活用できるようにしている。</p>
<p>2 作成した教科書、教材</p>		
<p>「回路演習（旧カリ）」及び「ユニット演習II（新カリ）」の教材作成</p>	<p>1997年 4月 1日 ～2013年 3月31日</p>	<p>2011年度以降、単元毎にテキストを自作し、印刷したものを適宜配布し、これを用いて講義を行っている。また、2013年度以降は、これらの配布テキストのPDFを学期前に全て一括して授業支援システムにアップロードしている。</p>

<p>「情報通信メディア論（旧カリ）」及び「通信工学基礎（新カリ）」の教材作成</p>	<p>2011年 4月 1日 ～2014年 8月31日</p>	<p>2011年度以降、PPを使用する授業形態に改めたが、学生の事前事後学習の促進のため、授業で使用するPPスライドのPDFを授業支援システムに事前にアップロードしている。また、2013年度以降は、各講義回のレジメ（印刷したものを毎回配布）及び自主学習のための問題集（解答付）を作成し、これらのPDFとPPスライドのPDFを、学期前に一括して授業支援システムにアップロードしている。</p>
<p>大学院講義科目「通信工学特論」の教材作成</p>	<p>2011年 4月 1日 ～2014年 8月31日</p>	<p>2011年度の電気電子情報工学専攻のカリキュラムの大改訂以降、豊嶋久道教授と共同で講義科目「通信工学特論」を担当している。この講義は、PPを用いて行っているが、受講生が事前事後学習に利用できるように、講義で使用するPPスライド、自作のテキスト、課題集のPDFを講義開始前に一括して授業支援システムにアップロードしている。</p>
<p>2014年度新設の共通教養科目「人間形成入門（新入学者対象のキャリア形成入門科目）」の教材作成</p>	<p>2014年 4月 1日 ～2014年 8月31日</p>	<p>担当授業回で使用するPPスライド、講義のレジメ（印刷したものを授業当日に配布）、前回授業の振り返り（前回のミニレポートやコミュニケーションペーパーの纏め）を作成し、それらのPDFを、各授業回の数日前に、一括して授業支援システムにアップロードしている。</p>
<p>3 教育上の能力に関する大学等の評価</p>		

<p>学生による授業アンケート結果の活用</p>	<p>2003年 4月 1日 ～2014年 8月31日</p>	<p>1) 2002年度までは、担当する学部の授業科目と演習科目はOHPを使用して行っていたが、2002年度に行われた授業アンケートにより多くの学生から、教室が暗くノートが取り難い等の指摘を受けたため、2003年度より担当する全ての授業科目と演習科目を板書中心として行い、必要に応じて補助的教材をプリントとして配布することにし、授業運営の改善を行った。また、授業評価アンケートより、学生の授業参加の意欲が必ずしも十分でないことが読み取れたので、原則として、講義の最後の15分～20分間は、その回の授業の内容に沿った小テストを実施するなどし、毎年、授業運営を前年度の反省を踏まえて、改善している。この改善の効果は、2004年度、2006年度、2008年度に行われた授業アンケートで確認している。</p> <p>2) 2011年度より、板書中心の授業形態から、さらにPPや自作プリントを利用する形態へと授業運営を改め、また授業支援システムを活用してこれらの配布を電子的に行うこととした。2011年度に中教審において、日本の大学生の事前事後学習時間が十分でないとの指摘があり、これを受け2012年度前期の講義では、実験的な試みとして、受講生に毎回の講義で課題を提出させ、合わせてその学習時間を記録させた。2012年度前期実施の授業アンケートでは、この授業運営について学生から余りに過酷であるとのコメントが数多くあり、課題提出の適切な頻度について再考した。その結果、2012年度後期の講義では、3-4回の授業毎に1回の割合で、課題を提出させることとした。2012年度後期の授業アンケート結果によれば、この授業運営は学生からは概ね好評であった。また、2012年度授業アンケートで、各担当講義で配布した自作の自主学習用問題集について、多くの受講生から、その解答集を自習のために望む意見が寄せられたので、2013年度以降、解答付の自主学習用問題集を配布することとした。</p>
<p>研究授業「ユニット演習II（電気回路演習）」</p>	<p>2007年11月22日 ～現在に至る</p>	<p>演習科目「ユニット演習II（電気回路演習）」は4名の教員が4クラスを並列に担当する必須科目であり、4名の教員とともに研究授業を行い、本学部、本学科の他の教員に参観していただき、授業運営についての意見交換を行った。4名の教員はそれぞれ独自の授業運営を行っており、意見交換は授業運営を改善する上で大いに参考になった。</p>

大学院授業評価アンケートの活用	2009年 2月 1日 ～2014年 8月31日	<p>1) 2009年第二セメスタより工学研究科で講義科目の授業評価アンケートが実施された。2009年度は、担当講義「信号処理特論II」の授業評価が行われた。その結果、講義中に数回実施した演習が、理解を深めるのに特に有益との意見が多く、次年度より原則として毎回の講義において演習を行うこととした。</p> <p>2) 2011年度に電気電子情報工学専攻のカリキュラムが大改訂され、それ以降、豊嶋久道教授と講義科目「通信工学特論」を共同担当しているが、この講義科目は受講者が多く、毎年の授業評価アンケートの対象科目となっている。この講義科目は、毎年の授業評価アンケートで高い評価を得ている。講義で使用するPPスライドのPDFを事前に配布し、またレポート課題（学術的にかなり高度な課題）を最初に提示し、この課題の意味を理解し、課題解決に向けて段階的に学べるように授業運営を工夫している。</p>
2009年度後期優秀講義賞	2009年 3月31日 ～現在に至る	2009年度後期に実施した学部の講義「回路解析のスキルII」に対し、学生からの投票の結果、優れた講義と認定され、2009年度後期優秀講義賞が授与された。
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
なし		
5 その他		
電子情報通信学会教科書委員会委員としての活動	2000年 2月 ～2014年 8月31日	電子情報通信学会教科書委員会委員として当該分野の新時代の学部レベルの教科書の企画案の策定に参画している。
大学院学務委員長、大学院委員として大学院の教育研究組織の改善活動に従事	2008年 4月 1日 ～2011年 3月 1日	大学院学務委員長として、大学院の教育研究組織を、新しい時代に必要とされる組織へと変革するための施策について審議を推進し、組織の変革を早期に実現しうるよう改善活動を推進した。
2008年度大学電気教員協議会・大学電気工学教育研究集会の参加とその報告	2008年 8月 7日 ～現在に至る	標記会合に参加し、とくに第2分科会（大学院教育フロンティア）に参加し、産官学連携を大学院教育にどのように役立てるかについて討議をおこなった。また、その内容について、本学学科会議にて報告した。
FDネットワーク“つばさ”におけるFD連携活動	2011年 4月 1日 ～2014年 8月31日	<p>具体的には、以下のようなFD連携活動を行った。</p> <p>1) FDネットワーク“つばさ”第7回FD協議会（2011年6月11日（土）、於 山形大学）に参加。</p> <p>2) FDネットワーク“つばさ”第8回FD協議会（2012年6月2日（土）、於 山形大学）に参加。</p> <p>3) FDネットワーク“つばさ”週刊授業改善エッセイへの寄稿。No. 28「FD活動の停滞を突き破る」、平成25年2月。</p> <p>4) FDネットワーク“つばさ”週刊授業改善エッセイへの寄稿。No. 31「大学教員としてのキャリアとFD」、平成26年2月。</p>

FD・学生支援推進委員会副委員長（教育支援センター副所長）として全学的な教育改善活動に従事	2011年 4月 1日 ～2013年 3月31日	FD・学生支援推進委員会副委員長（FD担当の教育支援センター副所長）として、大学全体のFD活動を企画立案し、教育改善活動の活性化を推進した。
工学部・総合工学プログラムの初代の主任として新設教育プログラムの企画・運営を主導	2011年 4月 1日 ～2013年 3月31日	工学部は、2012年度に横断的な教育プログラムとして総合工学プログラムを新設した。総合工学プログラムの初代の主任として、開設前年度より、その企画立案、学部内調整、組織作りを主導し、またカリキュラムの管理運営や教育内容の構築作業を推進した。
全国私立大学FD連携フォーラム2012年度総会の参加と報告	2012年 6月16日 ～現在に至る	標記会合に参加し、とくに学生の教学や運営への主体的な参画について意見交換をおこなった。また、その内容について、FD・学生支援推進委員会にて報告した。
第7回神奈川大学高大連携協議会フォーラム「初等～高等教育における教育の連続性 一学ぶ意欲とスキルを育てる一」における実践報告とパネル討論への参加	2012年 8月 3日 ～現在に至る	標記会合に参加し、「高大接続から見たFYS（ファースト・イヤー・セミナー）」という題名で実践発表を行い、その後行われたパネル討論で、意見交換を行った。
第18回FDフォーラムの参加とその報告	2013年 2月23日 ～2013年 2月24日	標記会合に参加し、とくに学生の主体的な学びを支える仕組み、授業アンケートの現状と課題について意見交換を行った。また、その内容について、FD・学生支援推進委員会にて報告した。
FD・学生支援推進委員会委員長、教育支援センター所長として全学的な教育改善活動に従事	2013年 4月 1日 ～2014年 8月31日	FD・学生支援推進委員会委員長（教育支援センター所長）として、大学全体のFD活動と学生支援活動を企画立案し、教育改善活動の活性化と学生支援の充実を推進している。
共通教養推進委員会委員長として共通教養教育の再構築活動に従事	2013年 4月 1日 ～2014年 3月31日	共通教養推進委員会委員長として、「共通教養教育の新教育課程（2014年度入学者から適用）」の実現向け、その細部の設計や、担当者に関する学部間調整等の具体的な再構築活動を推進し、2014年度実施にこぎ着けた。
河合塾PROGセミナー2013の参加とその報告	2013年 5月11日 ～現在に至る	標記会合に参加し、ジェネリックスキルの評価法としてのPROGとその有効性と限界について情報を収集した。また、その内容について、FD・学生支援推進委員会にて報告した。
全国私立大学FD連携フォーラム2013年度総会の参加と報告	2013年 6月15日 ～現在に至る	標記会合に参加し、とくに授業アンケートの活用事例について意見交換を行った。また、その内容について、FD・学生支援推進委員会にて報告した。
初年次教育学会第6回大会への参加と報告	2013年 9月12日 ～2013年 9月14日	標記会合に参加し、とくに初年次からのキャリア教育について意見交換を行った。また、その内容について、FD・学生支援推進委員会にて報告した。
神奈川県学生生活協議会研究研修会における基調講演	2013年12月 5日 ～現在に至る	標記会合において、基調講演「大学における学生支援とその課題―神奈川大学の事例から―」を行った。
初年次導入教育検討委員会委員長として初年次教育の改善活動に従事	2013年12月27日 ～2014年 8月31日	初年次導入教育検討委員会委員長として、2015年度以降のFYSとキャリア教育の改善案の取り纏めを推進している。

第19回FDフォーラムの参加とその報告	2014年 2月22日 ～2014年 2月23日	標記会合に参加し、とくにこれからの教養教育のあり方について意見交換を行った。また、その内容について、FD・学生支援推進委員会にて報告した。
教養教育高度化機構シンポジウム「初年次教育」の参加	2014年 3月12日 ～現在に至る	標記会合に参加し、初年次教育について意見交換を行った。
朝日国際教育フォーラム「オープン・エデュケーションと知の革命」の参加	2014年 3月29日 ～現在に至る	標記会合に参加し、MOOCについての情報を収集した。
第9回神奈川大学高大連携協議会フォーラム「新たな教育の室を保証する仕組みを目指して」におけるパネル討論への参加	2014年 8月 1日 ～現在に至る	標記会合に参加し、パネル討論のモデレータを務め、主体性を育てる新しい教育への転換、達成度テストと大学入試選抜の改革について意見交換を行った。
初年次教育学会第7回大会への参加と報告	2014年 9月 4日 ～2014年 9月 5日	標記会合に参加し、とくに高大接続と初年次教育について意見交換を行う予定である。また、その内容について、FD・学生支援推進委員会にて報告する予定である。

II 研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
映像情報メディア工学大事典(映像情報メディア学会編)	共著	2010年 6月	(オーム社)		
論文					
Color shrinkage for color-image sparse coding and its applications (査読付)	単著	2010年 5月	Proc. of the Fourth International Workshop on Image Media Quality and its Applications (IMQA2010)		6-15頁
Color shrinkage for sparse coding of color images (査読付)	共著	2010年 8月	The 18th European Signal Processing Conference (EUSIPCO-2010)	T. Saito, Y. Ueda, T. Komatsu	1023-1027頁

Universal sharpening-demosaicing for various types of color filter array (査読付)	共著	2010年 8月	The 18th European Signal Processing Conference (EUSIPCO-2010)	T Komatsu, T. Saito	289-293頁
Restoration of high ISO-sensitivity color images (査読付)	共著	2010年 9月	Proc. of 2010 IEEE Int. Conf. on Image Processing (ICIP 2010)	<u>T. Saito</u> , D. Yamada, T. Komatsu,	3561-3564頁
カラー画像疎表現のためのHard Color-Shrinkageと雑音除去への応用 (査読付)	共著	2010年 9月	電子情報通信学会論文誌 J93-D(9)	<u>齊藤隆弘</u> , 上田康隆, 藤井信宏, 小松隆	1685-1689頁
冗長Haar Wavelet変換とColor Shrinkageを用いたシャープニング-デモザイキング (査読付)	共著	2010年 9月	電子情報通信学会論文誌 J93-D(9)	小松隆, <u>齊藤隆弘</u>	1690-1692頁
冗長色変換を用いたColor Shrinkage法 (査読付)	共著	2010年 9月	電子情報通信学会論文誌 J93-D(9)	小松隆, 上田康隆, <u>齊藤隆弘</u>	1693-1696頁
Diagonal total variation regularization criterion for fast convergence (査読付)	共著	2010年11月	Proc. of the 2nd IEEE/IET International Conference on Audio, Language and Image Processing (ICALIP 2010)	S. Kiriya, T. Usui, T. Goto, S. Hirano, M. Sakurai, <u>T. Saito</u>	1494-1498頁
Artifact-free decoding of JPEG-compressed image data with the shrinkage in the redundant DCT domain (査読付)	共著	2010年12月	Proc. the 28th Picture Coding Symposium (PCS 2010)	T. Komatsu, Y. Ueda, <u>T. Saito</u>	114-117頁

Image denoising with hard color-shrinkage and grouplet transform (査読付)	共著	2010年12月	Proc. the 28th Picture Coding Symposium (PCS 2010)	T. Saito, K. Ishikawa, Y. Ueda	430-433頁
Color shrinkage for color-image sparse coding and its applications (査読付)	共著	2011年 2月	IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences E94-A(2)	T. Saito, Y. Ueda, T. Komatsu	480-492頁
Super-resolution interpolation with a quasi blur-hypothesis (査読付)	共著	2011年 9月	Proc. of 2011 IEEE Int. Conf. on Image Processing (ICIP 2011)	T. Saito, K. Ishikawa, T. Komatsu	1169-1172頁
Three kinds of color total-variation semi-norms and its application to color-image denoising (査読付)	共著	2011年 9月	Proc. of 2011 IEEE Int. Conf. on Image Processing (ICIP 2011)	T. Saito, Y. Takagaki, T. Komatsu	1489-1492頁
カラー全変動セミノルムの新定義とカラー画像雑音除去への応用 (査読付)	共著	2011年12月	電子情報通信学会論文誌 J94-D(12)	齊藤隆弘, 高垣陽介, 小松 隆	1966-1970頁
冗長DCTを用いた超解像度デモザイキング (査読付)	共著	2011年12月	電子情報通信学会論文誌 J94-D(12)	小松 隆, 上田康隆, 齊藤隆弘	1956-1960頁
擬ぼけ仮説に基づくカラー画像の疎表現超解像度拡大 (査読付)	共著	2011年12月	電子情報通信学会論文誌 J94-D(12)	石川健一, 小松 隆, 齊藤隆弘	1952-1955頁
Hard Color Shrinkageの統計的パラメータ適応制御とその画像雑音除去への応用 (査読付)	共著	2012年 9月	電子情報通信学会論文誌 J95-D(9)	小針 力, 小松 隆, 齊藤隆弘	1707-1710頁

カラー全変動セミノルムとカラーベジフセミノルムを混合して用いたカラー画像雑音除去 (査読付)	共著	2012年 9月	電子情報通信学会論文誌 . J95-D(9)	菅沼敏樹, 高垣陽介, 小松 隆, 齊藤隆弘	1703-1706頁
デジタルカラーカメラ用のJPEG復元法の提案 (査読付)	共著	2012年 9月	電子情報通信学会論文誌 J95-D(9)	小松 隆, 上田康隆, 齊藤隆弘	1690-1693頁
マルチスケール型の勾配・発散作用素を用いたカラー全変動画像雑音除去 (査読付)	共著	2012年 9月	電子情報通信学会論文誌 J95-D(9)	高垣陽介, 菅沼敏樹, 小松 隆, 齊藤隆弘	1711-1715頁
屋外景観のレンジデータの欠損補填 (査読付)	共著	2013年 9月	電子情報通信学会論文誌 J96-D(9)	鹿野貴文, 渡辺和樹, 小松 隆, 齊藤隆弘	1998-2002頁
混合ガウス分布モデルに基づく適応的Shrinkageを用いたカラー画像雑音除去 (査読付)	共著	2013年 9月	電子情報通信学会論文誌 J96-D(9)	小針 力, 小松 隆, 齊藤隆弘	1989-1992頁
空間適応型の混合カラーセミノルムを用いたカラー画像雑音除去 (査読付)	共著	2013年 9月	電子情報通信学会論文誌 J96-D(9)	菅沼敏樹, 小松 隆, 齊藤隆弘	1985-1988頁
統計モデルに基づくポアソンランダム画像の復元 (査読付)	共著	2013年 9月	電子情報通信学会論文誌 J96-D(9)	小林良多, 小松 隆, 齊藤隆弘	1993-1997頁
順次型冗長DCTとSoft Color-Shrinkageを用いたカラー画像雑音除去法 (査読付)	共著	2013年 9月	電子情報通信学会論文誌 J96-D(9)	小松 隆, 齊藤隆弘	1981-1984頁
ポアソンランダムカラー画像の統計的最適化復元 (査読付)	共著	2014年 5月	画像ラボ 25(5)	齊藤隆弘, 小林良多, 小松 隆	23-27頁
距離データを用いた屋外景観画像のぼけ復元 (査読付)	共著	2014年 9月	電子情報通信学会論文誌 J97-D(9)	鹿野貴文, 小松 隆, 齊藤隆弘	1459-1462頁

その他					
Invited Lecture: Color shrinkage for color-image sparse coding and its applications, The Fourth International Workshop on Image Media Quality and its Applications (IMQA2010)		2010年 5月	(Tokyo, Japan)		
(巻頭言) 基礎科学と 工学の橋渡し	単著	2010年 6月	映像情報メディア学会誌 (巻頭) 64(6)		
Color-Shrinkageを用 いた非線形画像分解と その画像拡大への応用	共著	2010年 9月	2010年映像情報メディア 学会年次大会, 7-8	坂東優介, 山中潤, 小松 隆, 齊 藤隆弘	
Grouplet変換を用いた カラー画像のぼけ復元 ・拡大	共著	2010年 9月	第9回情報科学技術フォ ーラム(FIT2010), I-060	石川健一, 小松 隆, 齊藤隆弘	
Soft Color-Shrinkage を用いた非線形カラー 画像分解法の実験的検 討	共著	2010年 9月	第9回情報科学技術フォ ーラム(FIT2010), I-014	坂東優介, 山中潤, 小松 隆, 齊 藤隆弘	
Soft Color-Shrinkage 法の最適化のための射 影勾配解法	共著	2010年 9月	2010年映像情報メディア 学会年次大会, 7-6	齊藤隆弘, 上田康隆, 小松 隆	
ウェーブレット・カラ ー画像雑音除去のため のスカラShrinkageの 学習最適化	共著	2010年 9月	2010年映像情報メディア 学会年次大会, 7-5	高垣陽介, 小松 隆, 齊藤隆弘	
カラー画像雑音除去へ の応用のための Grouplet変換の改良	共著	2010年 9月	2010年映像情報メディア 学会年次大会, 7-4	石川健一, 小松 隆, 齊藤隆弘	

カラー複素変換係数のためのHard Color-Shrinkageの拡張	共著	2010年 9月	電子情報通信学会2010年ソサイエティ大会, A-4-6	上田康隆, 小松 隆, 齊藤隆弘	
全変動カラー画像復元問題とその近接勾配解法	共著	2010年 9月	第9回情報科学技術フォーラム (FIT2010), I-057	齊藤隆弘, 高垣陽介, 小松 隆	
冗長DCTとShrinkageを用いたJPEG復元法	共著	2010年 9月	2010年映像情報メディア学会年次大会, 7-2	小松 隆, 上田康隆, 齊藤隆弘	
冗長DCTとシフト不変Haarウェーブレット変換を用いたハイブリッド画像雑音除去法	共著	2010年 9月	2010年映像情報メディア学会年次大会, 7-3	上田康隆, 小松 隆, 齊藤隆弘	
冗長DCTを用いたシャープニングデモザイキング法の提案	共著	2010年 9月	第9回情報科学技術フォーラム (FIT2010), I-013	小松 隆, 上田康隆, 齊藤隆弘	
様々な冗長変換とシフト不変Haarウェーブレット変換を用いたハイブリッド型カラー画像雑音除去	共著	2010年 9月	第9回情報科学技術フォーラム (FIT2010), I-059	上田康隆, 小松 隆, 齊藤隆弘	
非等方性カラーTVセミノルムを用いたカラー画像雑音除去	共著	2010年 9月	第9回情報科学技術フォーラム (FIT2010), I-058	高垣陽介, 齊藤隆弘, 小松 隆	
(巻頭言) 画像符号化・映像メディア処理レター特集の発行にあたって	単著	2010年 9月	電子情報通信学会論文誌 J93-D(9)		1627頁
Color-image de-blurring and over-sampling with the grouplet transform	共著	2010年12月	Proc. 2010 Workshop on Picture Coding and Image Processing (WPCIP-2010)	K. Ishikawa, T. Komatsu, T. Saito	73頁

Color-image denoising with extended color total-variation semi-norm	共著	2010年12月	Proc. 2010 Workshop on Picture Coding and Image Processing (WPCIP-2010)	Y. Takagaki, T. Komatsu, <u>T. Saito</u>	72頁
Hybrid color-image denoising approach with the redundant DCT and the shift-invariant Haar wavelet transform	共著	2010年12月	Proc. 2010 Workshop on Picture Coding and Image Processing (WPCIP-2010)	Y. Ueda, T. Komatsu, <u>T. Saito</u>	64頁
Projected gradient solver of the soft color-shrinkage and its applications to color-image processing	共著	2010年12月	Proc. 2010 Workshop on Picture Coding and Image Processing (WPCIP-2010)	Y. Bando, J. Yamanaka, Y. Ueda, T. Komatsu, <u>T. Saito</u>	49頁
「チュウトリアル：カラー画像疎表現に基づくカラー画像処理」、電子情報通信学会2011年総合大会、チュウトリアルセッションAT-2 デジタルカメラのための信号処理技術		2011年 3月	(東京都市大学、世田谷キャンパス、東京)		
ハイブリッド型冗長DCTを用いたカラー画像雑音除去法の性能評価	共著	2011年 3月	電子情報通信学会2011年総合大会, D-11-33	上田康隆, 小松隆, 齊藤隆弘	
冗長DCTを用いた超解像デモザイキング法の提案	共著	2011年 3月	電子情報通信学会2011年総合大会, D-11-98	小松隆, 上田康隆, 齊藤隆弘	
擬ぼけ仮説によるカラー画像の疎表現超解像度拡大	共著	2011年 3月	電子情報通信学会2011年総合大会, D-11-94	石川健一, 小松隆, 齊藤隆弘	

色差を考慮した等方性カラーTVセミノルムを用いた画像雑音除去	共著	2011年 3月	電子情報通信学会2011年総合大会, D-11-32	高垣陽介, 小松隆, 齊藤隆弘	
エッジ適応型ハイブリッド型冗長DCTを用いたカラー画像雑音除去	共著	2011年 8月	2011年映像情報メディア学会年次大会, 10-9	上田康隆, 小松 隆, 齊藤隆弘	
冗長DCTを用いたMPEG圧縮画像の復元法	共著	2011年 8月	2011年映像情報メディア学会年次大会, 3-4	小松 隆, 上田康隆, 齊藤隆弘	
冗長Wavelet係数のスケール間依存性を利用したHard Color-Shrinkage雑音除去法	共著	2011年 8月	2011年映像情報メディア学会年次大会, 10-5	小針 力, 齊藤隆弘, 小松 隆	
分散安定化を用いた低入射光量画像処理	共著	2011年 8月	2011年映像情報メディア学会年次大会, 6-9	小林良多, 村田諭史, 齊藤隆弘, 小松 隆	
非等方性カラーTVセミノルムを用いたカラー画像雑音除去のパラメータ設定	共著	2011年 8月	2011年映像情報メディア学会年次大会, 10-4	菅沼敏樹, 齊藤隆弘, 小松 隆, 高垣陽介	
非等方性カラーTVセミノルムを用いた信号依存性雑音除去	共著	2011年 8月	2011年映像情報メディア学会年次大会, 10-6	高垣陽介, 菅沼敏樹, 小松 隆, 齊藤隆弘	
JPEG圧縮されたデモザイク画像の復元法の提案	共著	2011年 9月	第10回情報科学技術フォーラム(FIT2011), I-027	小松 隆, 上田康隆, 齊藤隆弘	
Wavelet係数のスケール間依存性を利用した複素 Hard Color-Shrinkage雑音除去法	共著	2011年 9月	第10回情報科学技術フォーラム(FIT2011), I-076	小針 力, 小松 隆, 齊藤隆弘	
ウェーブレット画像分解とハイブリッド型冗長DCTを用いたカラー画像の雑音除去	共著	2011年 9月	第10回情報科学技術フォーラム(FIT2011), I-075	上田康隆, 小松 隆, 齊藤隆弘	

カラー全変動セミノルムを用いたカラー画像雑音除去の画質改善	共著	2011年 9月	第10回情報科学技術フォーラム (FIT2011), I-077	高垣陽介, 菅沼敏樹, 小松 隆, 齊藤隆弘	
メディアン推定を用いたハイブリッド冗長DCTカラー画像雑音除去法	共著	2011年 9月	電子情報通信学会2011年ソサイエティ大会, A-4-1	上田康隆, 小松 隆, 齊藤隆弘	
閾値パラメータ制御を導入したBV−G非線形画像分解	共著	2011年 9月	第10回情報科学技術フォーラム (FIT2011), I-086	山中 潤, 坂東優介, 小松 隆, 齊藤隆弘	
JPEG圧縮されたデジタルカラーカメラ画像の復元法	共著	2011年10月	映像メディア処理シンポジウム (IMPS2011), I1-3	小松 隆, 上田康隆, 齊藤隆弘	
カラー全変動セミノルムとカラーベゾフセミノルムを混合して用いたカラー画像雑音除去	共著	2011年10月	映像メディア処理シンポジウム (IMPS2011), I4-6	菅沼敏樹, 高垣陽介, 小松 隆, 齊藤隆弘	
マルチスケール型の勾配・発散作用素を用いたカラー全変動画像雑音除去	共著	2011年10月	映像メディア処理シンポジウム (IMPS2011), I5-15	高垣陽介, 菅沼敏樹, 小松 隆, 齊藤隆弘	
マルチスケール型分散安定化と冗長色変換を用いた低入射光量画像処理	共著	2011年10月	映像メディア処理シンポジウム (IMPS2011), I2-6	小林良多, 小松 隆, 齊藤隆弘	
擬ばけ仮説に基づく疎表現長解像度カラー画像拡大法とその性能評価	共著	2011年10月	映像メディア処理シンポジウム (IMPS2011), I3-2	齊藤隆弘, 石川健一, 小松 隆	
種々のロバスト推定を用いたハイブリッド冗長DCTカラー画像雑音除去の比較	共著	2011年10月	映像メディア処理シンポジウム (IMPS2011), I2-7	上田康隆, 小松 隆, 齊藤隆弘	

複素Hard Color-Shrinkageを用いたWaveletカラー画像雑音除去-Wavelet係数のスケール間依存性の利用ー	共著	2011年10月	映像メディア処理シンポジウム (IMPS2011), I4-5	小針 力, 小松 隆, <u>齊藤隆弘</u>	
閾値パラメータ制御型非線形画像分解とその画像処理への応用	共著	2011年10月	映像メディア処理シンポジウム (IMPS2011), I5-1	山中 潤, 坂東優介, 小松 隆, <u>齊藤隆弘</u>	
(巻頭言) 画像符号化・映像メディア処理レター特集の発行にあたって	単著	2011年12月	電子情報通信学会論文誌 . J94-D(12)		1939-1939頁
Hard Color Shrinkageの統計的パラメータ適応制御とそのカラー画像雑音除去への応用	共著	2012年 3月	電子情報通信学会2012年総合大会, D-11-50	小針 力, 小松 隆, <u>齊藤隆弘</u>	
デジタルカラーカメラ用のJPEG復元法の性能比較	共著	2012年 3月	電子情報通信学会2012年総合大会, D-11-49	小松 隆, 上田康隆, <u>齊藤隆弘</u>	
メディアン推定を用いたシフト不変Haarウェーブレット変換カラー画像雑音除去	共著	2012年 3月	電子情報通信学会2012年総合大会, D-11-53	上田康隆, 小松 隆, <u>齊藤隆弘</u>	
二種類のカラーセミアルムを混合して用いたカラー画像雑音除去	共著	2012年 3月	電子情報通信学会2012年総合大会, D-11-51	菅沼敏樹, 高垣陽介, 小松 隆, <u>齊藤隆弘</u>	
報告書: 高品質・高機能イメージングのための構造的非線形画像分解型の新画像処理と画質制御	共著	2012年 3月	平成21年度~平成23年度文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究(C), 研究成果報告書	<u>齊藤隆弘</u> , 小松 隆	
適応制御を導入したマルチスケール型カラー全変動画像雑音除去	共著	2012年 3月	電子情報通信学会2012年総合大会, D-11-52	高垣陽介, 菅沼敏樹, 小松 隆, <u>齊藤隆弘</u>	

(巻頭言) 優れた教師に学ぶ	単著	2012年 3月	神奈川大学FD News Letter (5)		1頁
FD・学生支援推進委員会の2012年度のFD活動方針について	単著	2012年 6月	神奈川大学FD News Letter (6)		2頁
冗長DCTとColor-Shrinkageを用いた雑音除去法の性能改善	共著	2012年 8月	2012年映像情報メディア学会年次大会, 23-2	小松 隆, 齊藤隆弘	
屋外景観のレンジデータの欠損補填とその画像処理への応用	共著	2012年 8月	2012年映像情報メディア学会年次大会, 23-6	鹿野貴文, 小松 隆, 齊藤隆弘	
(実践報告) 高大接続から見たFYS (ファースト・イヤー・セミナー)	単著	2012年 8月	第7回神奈川大学高大連携協議会フォーラム「初等～高等教育における教育の連続性 ー学ぶ意欲とスキルを育てるー」		
「カラー画像疎表現とそのカラー画像復元への応用」、第11回情報科学技術フォーラム(FIT2012) イベント企画：スパース信号処理の最前線		2012年 9月	(法政大学, 小金井キャンパス, 小金井市, 東京)		
ぼけを含むポアソンラノダム画像の復元	共著	2012年 9月	電子情報通信学会2012年ソサイエティ大会, A-4-26	小林良多, 小松 隆, 齊藤隆弘	
冗長DCTを用いた順次型雑音除去法の提案	共著	2012年 9月	電子情報通信学会2012年ソサイエティ大会, A-4-27	小松 隆, 齊藤隆弘	

屋外景観のレンジデータの画像処理応用のための欠損補填	共著	2012年10月	映像メディア処理シンポジウム(IMPS2012), I-6-03	鹿野貴文, 渡辺和樹, 小松 隆, 齊藤隆弘	
空間適応型の混合カラーセミノルムを用いたカラー画像雑音除去	共著	2012年10月	映像メディア処理シンポジウム(IMPS2012), I-2-11	菅沼敏樹, 小松 隆, 齊藤隆弘	
統計モデルに基づくポアソンランダム画像の復元法	共著	2012年10月	映像メディア処理シンポジウム(IMPS2012), I-1-02	小林良多, 小松 隆, 齊藤隆弘	
観測劣化信号からの原信号のベース推定関数とその画像雑音除去への応用	共著	2012年10月	映像メディア処理シンポジウム(IMPS2012), I-5-11	小針 力, 小松 隆, 齊藤隆弘	
順次処理による冗長DCTを用いた雑音除去法の性能改善	共著	2012年10月	映像メディア処理シンポジウム(IMPS2012), I-2-12	小松 隆, 齊藤隆弘	
FD活動の停滞を突き破る	単著	2013年 2月	FDネットワークつばさ「週刊授業改善エッセイ」, No. 28		
屋外景観のレンジデータの欠損補填法の実験的検討	共著	2013年 3月	電子情報通信学会2013年総合大会, D-11-75	鹿野貴文, 渡辺和樹, 小松 隆, 齊藤隆弘	
空間適応型カラーTVセミノルムを用いたカラー画像雑音除去	共著	2013年 3月	電子情報通信学会2013年総合大会, D-11-74	菅沼敏樹, 小松 隆, 齊藤隆弘	
空間適応的色変換を用いたカラー画像雑音除去	共著	2013年 3月	電子情報通信学会2013年総合大会, D-11-73	小針 力, 小松 隆, 齊藤隆弘	
順次型冗長DCTを用いた超解像デモザイク法の一検討	共著	2013年 3月	電子情報通信学会2013年総合大会, D-11-72	小松 隆, 齊藤隆弘	

副学長就任に当たって	単著	2013年 7月	神奈川大学「学園ニュースかながわ」(114)		3頁
冗長DCTを用いた雑音除去法の性能改善	共著	2013年 8月	2013年映像情報メディア学会年次大会, 17-9	小松 隆, 齊藤隆弘	
順次型構成の冗長Haar変換を用いた雑音除去法の検討	共著	2013年 9月	電子情報通信学会2013年ソサイエティ大会, A-4-7	小松 隆, 齊藤隆弘	
(巻頭言) 2012年度「教育改善のための学生による授業アンケート」の刊行にあたって	単著	2013年 9月	神奈川大学2012年度「教育改善のための学生による授業アンケート」報告書		1頁
(巻頭言) 学びの大変革時代を迎えて	単著	2013年 9月	神奈川大学FD News Letter (9)		1-2頁
冗長Haar変換を順次構成として用いたカラー画像雑音除去法	共著	2013年11月	映像メディア処理シンポジウム(IMPS2013), I-2-06	小松 隆, 齊藤隆弘	
屋外景観の距離データを用いた画像処理	共著	2013年11月	映像メディア処理シンポジウム(IMPS2013), I-1-01	鹿野貴文, 小松 隆, 齊藤隆弘	
教養教育に係わる全学組織の改編ー共通教養教育推進委員会の設置とその活動ー	単著	2013年12月	神奈川大学「複眼」(22)		1-2頁
(基調講演) 大学における学生支援とその課題ー神奈川大学の事例からー	単著	2013年12月	神奈川県学生生活協議会研究研修会		
(巻頭言) 研究活動Topicsの創刊にあたって	単著	2013年12月	神奈川大学「研究活動Topics」(1)		1頁

大学教員としてのキャリアとFD	単著	2014年 2月	FDネットワークつばさ「週刊授業改善エッセイ」, No. 31		
冗長3次元DCTを用いた動画画像雑音除去法の検討	共著	2014年 3月	電子情報通信学会2014年総合大会, D-11-53	近藤崇吾, 小松 隆, 齊藤隆弘	
屋外景観画像のレーザレーダ距離データを用いたぼけ復元	共著	2014年 3月	電子情報通信学会2014年総合大会, D-11-52	鹿野貴文, 小松 隆, 齊藤隆弘	
教養教育の再構築ーその開始にあたってー	単著	2014年 3月	神奈川大学「教養の風」(7)		1-3頁
(巻頭言)さらなる発展と成長へ向けて	単著	2014年 7月	神奈川大学FD News Letter (12)		1-2頁
パネル討論：新たな教育の質を保証する仕組みを目指して	単著	2014年 8月	第9回神奈川大学高大連携協議会フォーラム「新たな教育の質を保証する仕組みを目指して」, パネル討論モデレータ)		
冗長3次元DCTを用いたポアソンランダム画像の復元	共著	2014年 9月	2014年映像情報メディア学会年次大会, 18-8	近藤崇吾, 小松 隆, 齊藤隆弘	
冗長DCTを用いた除去除去の演算量削減法	共著	2014年 9月	2014年映像情報メディア学会年次大会, 18-7	小松 隆, 近藤崇吾, 齊藤隆弘	
低照度ポアソンランダム画像の分散安定化変換に関する検討	共著	2014年11月	映像メディア処理シンポジウム(IMPS2014), I-3-10	小松 隆, 近藤崇吾, 齊藤隆弘	
超低照度ポアソンランダム動画復元法の検討	共著	2014年11月	映像メディア処理シンポジウム(IMPS2014), I-3-11	近藤崇吾, 小松 隆, 齊藤隆弘	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					

年月	内容
1977年 1月～現在に至る	IEEE(国際学会)会員
1977年 4月～現在に至る	電子情報通信学会(国内学会)会員
1981年～現在に至る	個人研究 画像の高能率符号化
1984年 4月～現在に至る	電気学会(国内学会)会員
1985年 4月～現在に至る	情報処理学会(国内学会)会員
1985年 4月～現在に至る	日本ME学会(国内学会)会員
1987年 4月～現在に至る	情報理論とその応用学会(国内学会)会員
1989年～現在に至る	個人研究 超高精細画像入力
1994年～現在に至る	個人研究 超高画質化のためのインテリジェント信号/画像処理
1996年 5月～現在に至る	電子情報通信学会(国内学会) ソサイエティ論文誌編集委員会・査読委員
1997年 1月～現在に至る	映像情報メディア学会(国内学会)会員
1998年～現在に至る	個人研究 3次元実世界の構造的記述
1998年～現在に至る	個人研究 経年劣化映像の修復
2000年～現在に至る	個人研究 非線形画像処理の基礎理論
2000年 2月～現在に至る	電子情報通信学会(国内学会)教科書委員会・委員
2002年～現在に至る	個人研究 網膜型インテリジェントイメージセンシング
2003年 5月～現在に至る	特定非営利活動法人デジタルシネマ・コンソーシアム 理事
2004年 5月～現在に至る	デジタルシネマ実験推進協議会(財団法人テレコム先端技術研究支援センター) 委員
2006年 1月～現在に至る	International Picture Coding Symposium International Steering Committee Member
2006年 5月～現在に至る	電子情報通信学会(国内学会)画像符号化シンポジウム・運営委員会・委員長
2007年～現在に至る	個人研究 画像の疎表現理論とその画像復元への応用
2007年 2月～現在に至る	総務省「情報通信技術の研究開発の評価に関する会合」評価会 構成員
2007年 3月～現在に至る	IEEE(国際学会)IEEE 2012 ICASSP, 基調講演担当議長
2007年 5月～現在に至る	電子情報通信学会(国内学会)電子情報通信学会ハンドブック/知識ベース委員会 編主任(2群1編 画像処理)
2007年 8月～現在に至る	映像情報メディア学会(国内学会)映像情報メディア工学総合大事典 編集委員会幹事長 及び基礎編 編幹事長
2008年 4月～2011年 3月	科学研究費補助金 2,470,000円 「基盤研究(C)一般」デジタル映像アーカイブのための経年劣化シネマ映像のデジタル修復処理に関する研究(研究分担者)
2008年 6月～2010年 5月	映像情報メディア学会(国内学会)映像情報メディア学会諮問評議員
2008年11月～2010年12月	2010 International Picture Coding Symposium (PCS 2010) Program Chair
2009年 4月～2012年 3月	科学研究費補助金 3,860,000円 「基盤研究(C)一般」高品質・高機能イメージングのための構造的な非線形画像分解型の新画像処理と画質制御(研究代表者)
2010年 4月～2011年 3月	企業からの受託研究(株式会社 東芝 研究開発センター)500,000円 画像の高画質化に関する研究
2011年 4月～2012年 3月	企業からの受託研究(株式会社 東芝 研究開発センター)500,000円 画像の高画質化に関する研究
2012年 4月～2013年 3月	企業からの受託研究(株式会社 東芝 研究開発センター)500,000円 画像の高画質化に関する研究
2012年 4月～2015年 3月	科学研究費補助金 4,429,000円 「基盤研究(C)一般」高品質・高機能イメージングのためのカラー画像疎表現理論に基づく新画像復元法の開発(研究代表者)

2013年 4月～2014年 3月

企業からの受託研究 (株式会社 東芝 研究開発センター)500,000円 画像の高画質化に関する研究

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部電気電子情報工学科	職名 助手	氏名 小松 隆	大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
Color shrinkage for sparse coding of color images (査読付)	共著	2010年 8月	EUSIPCO2010 L-IVP-3	Takahiro Saito, Yasutaka Ueda, <u>Takashi Komatsu</u>	123-127頁
Universal sharpening-demosai- cing for various types of color-filter array (査読付)	共著	2010年 8月	EUSIPCO2010 TP-IVP-5	<u>Takashi Komatsu</u> , Takahiro Saito,	289-293頁

Restoration of high ISO-sensitivity color images (査読付)	共著	2010年 9月	2010 international conference on image processing WA. PB. PB8, 1232	Takahiro Saito, Daisuke Yamada, <u>Takashi Komatsu</u>	
カラー画像疎表現のためのHard Color-Shrinkageと雑音除去への応用 (査読付)	共著	2010年 9月	電子情報通信学会論文誌 D Vol. J93-D(9)	齊藤隆弘, 上田康隆, 藤井信宏, <u>小松隆</u>	1685-1689頁
冗長Haarウェーブレット変換とColor Shrinkageを用いたシャープニングデモザイキング	共著	2010年 9月	電子情報通信学会論文誌 D Vol. J93-D(9)	<u>小松隆</u> , 齊藤隆弘	1690-1692頁
冗長色変換を用いたColor Shrinkage法	共著	2010年 9月	電子情報通信学会論文誌 D Vol. J93-D(9)	<u>小松隆</u> , 上田康隆, 齊藤隆弘	1693-1696頁
Image Denoising with Hard Color-Shrinkage and Grouplet Transform (査読付)	共著	2010年12月	PCS2010, P3-27	Takahiro Saito, Ken-ichi Ishikawa, Yasutaka Ueda, <u>Takashi Komatsu</u>	pp. 430-433頁
Super-Resolution Decoding of JPEG-Compressed Image Data with the Shrinkage in the Redundant DCT Domain (査読付)	共著	2010年12月	PCS2010, P1-24	<u>Takashi Komatsu</u> , Yasutaka Ueda, Takahiro Saito	pp. 114 -117頁
Color shrinkage for color-image sparse coding and its applications (査読付)	共著	2011年 2月	IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences vol. E94-A(no.2)	T. Saito, Y. Ueda, <u>T. Komatsu</u>	pp. 480-492頁

Super-Resolution interpolation with a quasi blur-hypothesis (査読付)	共著	2011年 9月	Proc. of 2011 IEEE Int. Conf. on Image Processing (ICIP 2011)	T. Saito, K. Ishikawa, <u>T. Komatsu</u>	pp. 1169-1172頁
Three kinds of color total-variation semi-norms and its application to color-image denoising (査読付)	共著	2011年 9月	Proc. of 2011 IEEE Int. Conf. on Image Processing (ICIP 2011)	T. Saito, Y. Takagaki, <u>T. Komatsu</u>	pp. 1489-1492頁
カラー全変動セミノルムの新定義とカラー画像雑音除去への応用 (査読付)	共著	2011年12月	電子情報通信学会論文誌 vol. J94-D(no. 12)	齊藤隆弘, 高垣陽介, <u>小松 隆</u>	pp. 1966-1970頁
冗長DCTを用いた超解像度デモザイキング (査読付)	共著	2011年12月	電子情報通信学会論文誌 vol. J94-D(no. 12)	<u>小松 隆</u> , 上田康隆, 齊藤隆弘	pp. 1956-1960頁
擬ぼけ仮説に基づくカラー画像の疎表現超解像度拡大 (査読付)	共著	2011年12月	電子情報通信学会論文誌 vol. J94-D(no. 12)	石川健一, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	pp. 1952-1955頁
Hard Color Shrinkageの統計的パラメータ適応制御とその画像雑音除去への応用 (査読付)	共著	2012年 9月	電子情報通信学会論文誌 vol. J95-D(no. 9)	小針 力, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	pp. 1707-1710頁
カラー全変動セミノルムとカラーベジフセミノルムを混合して用いたカラー画像雑音除去 (査読付)	共著	2012年 9月	電子情報通信学会論文誌 vol. J95-D(no. 9)	菅沼敏樹, 高垣陽介, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	pp. 1703-1706頁
デジタルカラーカメラ用のJPEG復元法の提案 (査読付)	共著	2012年 9月	電子情報通信学会論文誌 vol. J95-D(no. 9)	<u>小松 隆</u> , 上田康隆, 齊藤隆弘	pp. 1690-1693頁

マルチスケール型の勾配・発散作用素を用いたカラー全変動画像雑音除去 (査読付)	共著	2012年 9月	電子情報通信学会論文誌 vol. J95-D(no. 9)	高垣陽介, 菅沼敏樹, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	pp. 1711-1715頁
屋外景観のレンジデータの欠損補填 (査読付)	共著	2013年 9月	電子情報通信学会論文誌 vol. J94-D(9)	鹿野貴文, 渡辺和樹, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	1998-2002頁
混合ガウス分布モデルに基づく適応的Shrinkageを用いたカラー画像雑音除去 (査読付)	共著	2013年 9月	電子情報通信学会論文誌 (9)	小針力, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	1989-1992頁
空間適応型の混合カラーセミノルムを用いたカラー画像雑音除去 (査読付)	共著	2013年 9月	電子情報通信学会論文誌 (9)	菅沼俊樹, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	1985-1988頁
統計モデルに基づくポアソンランダム画像の復元 (査読付)	共著	2013年 9月	電子情報通信学会論文誌 vol. J96-D(9)	小林良多, 小松 隆, 齊藤隆弘	1993-1997頁
順次型冗長DCTとSoft Color-Shrinkageを用いたカラー画像雑音除去法 (査読付)	共著	2013年 9月	電子情報通信学会論文誌 (9)	<u>小松隆</u> , 齊藤隆弘	1981-1984頁
その他					
Color-Shrinkageを用いた非線形画像分解とその画像拡大への応用	共著	2010年 9月	2010年映像情報メディア学会年次大会 7-8	坂東優介, 山中潤, <u>小松隆</u> , 齊藤隆弘	
Grouplet変換を用いたカラー画像のぼけ復元・拡大	共著	2010年 9月	第9回情報科学技術フォーラム I-060	石川健一, <u>小松隆</u> , 齊藤隆弘	
Soft Color-Shrinkageを用いた非線形カラー画像分解法の実験的評価	共著	2010年 9月	第9回情報科学技術フォーラム I-014	坂東優介, 山中潤, <u>小松隆</u> , 齊藤隆弘	

Soft Color-Shrinkage法の最適化のための射影勾配解法	共著	2010年 9月	2010年映像情報メディア学会年次大会 7-6	齊藤隆弘, 上田康隆, <u>小松隆</u>	
ウェーブレット・カラー画像雑音除去のためのスカラShrinkageの学習最適化	共著	2010年 9月	2010年映像情報メディア学会年次大会 7-5	高垣陽介, <u>小松隆</u> , 齊藤隆弘	
カラー画像雑音除去への応用のためのGrouplet変換の改良	共著	2010年 9月	2010年映像情報メディア学会年次大会 7-4	石川健一, <u>小松隆</u> , 齊藤隆弘	
カラー複素変換係数のためのHard Color-Shrinkageの拡張	共著	2010年 9月	2010電子情報通信学会ソサイエティ大会 A-4-6	上田康隆, <u>小松隆</u> , 齊藤隆弘	
全変動カラー画像復元問題とその近接勾配解法	共著	2010年 9月	第9回情報科学技術フォーラム I-057	齊藤隆弘, 高垣陽介, <u>小松隆</u>	
冗長DCTとShrinkageを用いたJPEG復元法	共著	2010年 9月	2010年映像情報メディア学会年次大会 7-2	<u>小松隆</u> , 上田康隆, 齊藤隆弘	
冗長DCTとシフト不変Haarウェーブレット変換を用いたハイブリッド画像雑音除去法	共著	2010年 9月	2010年映像情報メディア学会年次大会 7-3	上田康隆, <u>小松隆</u> , 齊藤隆弘	
冗長DCTを用いたシャープニング-デモザイキング法の提案	共著	2010年 9月	第9回情報科学技術フォーラム I-013	<u>小松隆</u> , 上田康隆, 齊藤隆弘	
様々な冗長変換とシフト不変Haarウェーブレット変換を用いたハイブリッド型カラー画像雑音除去	共著	2010年 9月	第9回情報科学技術フォーラム I-059	上田康隆, <u>小松隆</u> , 齊藤隆弘	
非等方性カラーTVセミアノルムを用いたカラー画像雑音除去	共著	2010年 9月	第9回情報科学技術フォーラム I-058	高垣陽介, 齊藤隆弘, <u>小松隆</u>	

Color-Image Deblurring and Over-Sampling with the Grouplet Transform	共著	2010年12月	2010 Workshop on Picture Coding and Image Processing WP2-17	Ken-ichi Ishikawa, <u>Takashi Komatsu</u> , Takahiro Saito	p. 73頁
Color-Image Denoising with Extended Color Total-Variation Semi-Norm	共著	2010年12月	2010 Workshop on Picture Coding and Image Processing WP2-16	Yousuke Takagaki, <u>Takashi Komatsu</u> , Takahiro Saito	p. 72頁
Hybrid Color-Image Denoising Approach with the Redundant DCT and the Shift-Invariant Haar Wavelet Transform,	共著	2010年12月	Workshop on Picture Coding and Image Processing WP2-11	Yasutaka Ueda, <u>Takashi Komatsu</u> , Takahiro Saito	p. 64頁
Projected Gradient Solver of the Soft Color-Shrinkage and Its Applications to Color-Image Processing	共著	2010年12月	2010 Workshop on Picture Coding and Image Processing WP2-3	Yusuke Bando, Jun Yamanaka, Yasutaka Ueda, Takashi Komatsu, Takahiro Saito	p. 49頁
ハイブリッド型冗長DCTを用いたカラー画像雑音除去法の性能評価	共著	2011年 3月	電子情報通信学会総合大会 D-11-33	上田康隆, <u>小松隆</u> , 齊藤隆弘	
冗長DCTを用いた超解像デモザイキング法の提案	共著	2011年 3月	電子情報通信学会総合大会 D-11-98	小松隆, 上田康隆, 齊藤隆弘	
擬ぼけ仮説によるカラー画像の疎表現超解像度拡大	共著	2011年 3月	電子情報通信学会総合大会 D-11-94	石川健一, <u>小松隆</u> , 齊藤隆弘	
色差を考慮した等方性カラーTVセミノルムを用いた画像雑音除去	共著	2011年 3月	電子情報通信学会総合大会 D-11-32	高垣陽介, <u>小松隆</u> , 齊藤隆弘	

エッジ適応型ハイブリッド型冗長DCTを用いたカラー画像雑音除去	共著	2011年 8月	映像情報メディア学会年次大会 10-9	上田康隆, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	
冗長DCTを用いたMPEG圧縮画像の復元法	共著	2011年 8月	映像情報メディア学会年次大会 3-4	<u>小松 隆</u> , 上田康隆, 齊藤隆弘	
冗長Wavelet係数のスケール間依存性を利用したHard Color-Shrinkage雑音除去法	共著	2011年 8月	映像情報メディア学会年次大会 10-5	小針 力, 齊藤隆弘, <u>小松 隆</u>	
分散安定化を用いた低入射光量画像処理	共著	2011年 8月	映像情報メディア学会年次大会 6-9	小林良多, 村田諭史, 齊藤隆弘, <u>小松 隆</u>	
非等方性カラーTVセミノルムを用いたカラー画像雑音除去のパラメータ設定	共著	2011年 8月	映像情報メディア学会年次大会 10-4	菅沼敏樹, 齊藤隆弘, <u>小松 隆</u> , 高垣陽介	
非等方性カラーTVセミノルムを用いた信号依存性雑音除去	共著	2011年 8月	映像情報メディア学会年次大会 10-6	高垣陽介, 菅沼敏樹, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	
JPEG圧縮されたデモザイク画像の復元法の提案	共著	2011年 9月	第10回情報科学技術フォーラム(FIT2011) I-027	<u>小松 隆</u> , 上田康隆, 齊藤隆弘	
Wavelet係数のスケール間依存性を利用した複素 Hard Color-Shrinkage雑音除去法	共著	2011年 9月	第10回情報科学技術フォーラム(FIT2011) I-076	小針 力, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	
ウェーブレット画像分解とハイブリッド型冗長DCTを用いたカラー画像の雑音除去	共著	2011年 9月	第10回情報科学技術フォーラム(FIT2011) I-075	上田康隆, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	
カラー全変動セミノルムを用いたカラー画像雑音除去の画質改善	共著	2011年 9月	第10回情報科学技術フォーラム(FIT2011)	高垣陽介, 菅沼敏樹, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	

メディアアン推定を用いたハイブリッド冗長DCTカラー画像雑音除去法	共著	2011年 9月	電子情報通信学会2011年ソサイエティ大会 A-4-1	上田康隆, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	
閾値パラメータ制御を導入したBV-G非線形画像分解	共著	2011年 9月	第10回情報科学技術フォーラム (FIT2011) I-086	山中 潤, 坂東優介, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	
JPEG圧縮されたデジタルカラーカメラ画像の復元法	共著	2011年10月	映像メディア処理シンポジウム (IMPS2011) I1-3	<u>小松 隆</u> , 上田康隆, 齊藤隆弘	
カラー全変動セミノルムとカラーベゾフセミノルムを混合して用いたカラー画像雑音除去	共著	2011年10月	映像メディア処理シンポジウム (IMPS2011) I4-6	菅沼敏樹, 高垣陽介, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	
マルチスケール型の勾配・発散作用素を用いたカラー全変動画像雑音除去	共著	2011年10月	映像メディア処理シンポジウム (IMPS2011) I5-15	高垣陽介, 菅沼敏樹, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	
マルチスケール型分散安定化と冗長色変換を用いた低入射光量画像処理	共著	2011年10月	映像メディア処理シンポジウム (IMPS2011) I2-6	782) 小林良多, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	
擬ばけ仮説に基づく疎表現長解像度カラー画像拡大法とその性能評価	共著	2011年10月	映像メディア処理シンポジウム (IMPS2011) I3-2	齊藤隆弘, 石川健一, <u>小松 隆</u>	
種々のロバスト推定を用いたハイブリッド冗長DCTカラー画像雑音除去の比較	共著	2011年10月	映像メディア処理シンポジウム (IMPS2011) I2-7	上田康隆, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	
複素Hard Color-Shrinkageを用いたWaveletカラー画像雑音除去-Wavelet係数のスケール間依存性の利用	共著	2011年10月	映像メディア処理シンポジウム (IMPS2011) I4-5	小針 力, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	

閾値パラメータ制御型非線形画像分解とその画像処理への応用	共著	2011年10月	映像メディア処理シンポジウム (IMPS2011) I5-1	山中 潤, 坂東優介, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	
Hard Color Shrinkageの統計的パラメータ適応制御とそのカラー画像雑音除去への応用	共著	2012年 3月	電子情報通信学会2012年総合大会 D-11-50	小針 力, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	
デジタルカラーカメラ用のJPEG復元法の性能比較	共著	2012年 3月	電子情報通信学会2012年総合大会 D-11-49	<u>小松 隆</u> , 上田康隆, 齊藤隆弘	
メディアン推定を用いたシフト不変Haarウェーブレット変換カラー画像雑音除去	共著	2012年 3月	電子情報通信学会2012年総合大会 D-11-53	上田康隆, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	
二種類のカラーセミアルゴリズムを混合して用いたカラー画像雑音除去	共著	2012年 3月	電子情報通信学会2012年総合大会 D-11-51	菅沼敏樹, 高垣陽介, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	
適応制御を導入したマルチスケール型カラー全変動画像雑音除去	共著	2012年 3月	電子情報通信学会2012年総合大会 D-11-52	高垣陽介, 菅沼敏樹, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	
冗長DCTとColor-Shrinkageを用いた雑音除去法の性能改善	共著	2012年 8月	映像情報メディア学会年次大会 23-2	<u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	
屋外景観のレンジデータの欠損補填とその画像処理への応用	共著	2012年 8月	映像情報メディア学会年次大会 23-6	鹿野貴文, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	
ぼけを含むポアソンラノイズ画像の復元	共著	2012年 9月	電子情報通信学会2012年ソサイエティ大会 A-4-26	小林良多, <u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	
冗長DCTを用いた順次型雑音除去法の提案	共著	2012年 9月	電子情報通信学会2012年ソサイエティ大会	<u>小松 隆</u> , 齊藤隆弘	
屋外景観のレンジデータの画像処理応用のための欠損補填	共著	2012年10月	映像メディア処理シンポジウム (IMPS2012) I-6-03	鹿野 貴文, 渡辺 和樹, <u>小松 隆</u> , 齊藤 隆弘	

空間適応型の混合カラーセミノルムを用いたカラー画像雑音除去	共著	2012年10月	映像メディア処理シンポジウム (IMPS2012) I-2-11	菅沼 敏樹, <u>小松 隆</u> , 齊藤 隆弘	
統計モデルに基づくポアソンランダム画像の復元法	共著	2012年10月	映像メディア処理シンポジウム (IMPS2012) I-1-02	小林 良多, <u>小松 隆</u> , 齊藤 隆弘	
観測务化信号からの原信号のベイズ推定関数とその画像雑音除去への応用	共著	2012年10月	映像メディア処理シンポジウム (IMPS2012) I-2-12	小針 力, <u>小松 隆</u> , 齊藤 隆弘	
順次処理による冗長DCT を用いた雑音除去法の性能改善	共著	2012年10月	映像メディア処理シンポジウム (IMPS2012) I-2-12	小松 隆, 齊藤 隆弘	
屋外景観のレンジデータの欠損補填法の実験的検討	共著	2013年 3月	電子情報通信学会総合大会 D-11-75	鹿野貴文, 渡辺和樹, <u>小松隆</u> , 齊藤隆弘	
空間適応型カラーTVセミノルムを用いたカラー画像雑音除去	共著	2013年 3月	電子情報通信学会総合大会 D-11-74	菅沼敏樹, <u>小松隆</u> , 齊藤隆弘	
空間適応的色変換を用いたカラー画像雑音除去	共著	2013年 3月	電子情報通信学会総合大会 D-11-73	小針力, <u>小松隆</u> , 齊藤隆弘	
順次型冗長DCTを用いた超解像デモザイク法の一検討	共著	2013年 3月	電子情報通信学会総合大会 D-11-72	小松 隆・齊藤隆弘	
冗長 DCT を用いた雑音除去法の性能改善	共著	2013年 8月	映像情報メディア学会年次大会 17-19	<u>小松隆</u> , 齊藤隆弘	
順次型構成の冗長Haar変換を用いた雑音除去法の検討	共著	2013年 9月	電子情報通信学会ソサイエティ大会 A-4-7	<u>小松隆</u> , 齊藤隆弘	
冗長 Haar 変換を順次構成として用いたカラー画像雑音除去法	共著	2013年11月	映像メディア処理シンポジウム2013 I-2-06	<u>小松 隆</u> , 齊藤 隆弘	
屋外景観の距離データを用いた画像処理	共著	2013年11月	映像メディア処理シンポジウム2013 I-1-01	鹿野 貴文, <u>小松 隆</u> , 齊藤 隆弘	

冗長3次元 DCTを用いた動画雑音除去法の検討	共著	2014年 3月	電子情報通信学会総合大会 D-11-53	近藤崇吾, 小松隆, 齊藤隆弘	
屋外景観画像のレーザーレーダ距離データを用いたぼけ復元	共著	2014年 3月	電子情報通信学会総合大会 D-11-52	鹿野貴文, 小松隆, 齊藤隆弘	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
1986年 5月～現在に至る		電子情報通信学会(国内学会)会員			
1986年 7月～現在に至る		映像情報メディア学会(旧テレビジョン学会)(国内学会)会員			
1996年 6月～現在に至る		映像情報メディア学会(旧テレビジョン学会) 論文査読委員			
2003年 1月～現在に至る		電子情報通信学会 論文査読委員			
2004年～現在に至る		個人研究 デジタルカメラ用デモザイキング法の研究			
2005年 4月～現在に至る		個人研究 動き解析手法の開発とそのノイズ除去への応用			
2005年 4月～現在に至る		個人研究 固体撮像素子の画素欠陥の補間			

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部電気電子情報工学科	職名 教授	氏名 中山 明芳	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
Measurement of perpendicular magnetic field dependence of the Josephson current by a three-dimensional scan of the external magnetic field (査読 付)	共著	2010年	Journal of Physics, Conference Series 234	Norimichi Watanabe, <u>Akiyoshi Nakayama</u> , Susumu Abe and Koji Masuda	042038 1-6頁

Measurement of trapped flux magnetic field near the superconducting film by the dependence of superconducting current through a Josephson junction sensor (査読付)	共著	2010年	Journal of Physics, Conference Series 234	<u>Akiyoshi Nakayama</u> , Yohei Nishi, Norimichi Watanabe, Susumu Abe and Yoichi Okabe	042023 1-7頁
Two-dimensional magnetic field dependence of Josephson current and resonant current steps at finite voltage of square shape superconducting tunnel junctions (査読付)	共著	2012年	Journal of Applied Physics(American Institute of Physics) 111	© <u>Akiyoshi Nakayama</u> , Susumu Abe, Norimichi Watanabe	113907頁
Magnetic Field Measurement Near a Superconducting Film Using a 2-Dimensional Field-Dependence of Josephson Current Through a Nb Tunnel Junctions Sensor (査読付)	共著	2012年 6月	Journal of Nanoscience and Nanotechnology (American Scientific Publishers) 12(6)	© <u>Akiyoshi Nakayama</u> , Susumu Abe, Norimichi Watanabe, and Yoichi Okabe	5016-5020頁

Modulation Characteristics of DC Josephson Current Through Nb Tunnel Junction by Applying External Magnetic Field in Perpendicular Direction (査読付)	共著	2012年 6月	Journal of Nanoscience and Nanotechnology (American Scientific Publishers) 12(6)	©Akiyoshi Nakayama, Susumu Abe, Norimichi Watanabe, and Yoichi Okabe	5021-5024頁
Anomalous modulation characteristics of DC Josephson current through niobium tunnel junction by applying external magnetic field 4000A/m in perpendicular direction (査読付)	共著	2013年	Microelectronic Engineering(Elsevier) 108	©Akiyoshi Nakayama, Susumu Abe, Norimichi Watanabe, Yoichi Okabe	93-98頁
Two-dimensional magnetic field dependence of zero and finite voltage steps in current-voltage characteristics of rectangular shape niobium tunnel junctions (査読付)	共著	2013年	Microelectronic Engineering(Elsevier) 108	Akiyoshi Nakayama, Susumu Abe, Norimichi Watanabe, Yoichi Okabe	163-168頁

Modulation of a Josephson current through an Nb/Al-AlO _x /Nb Josephson junction by a parallel magnetic field and a perpendicular magnetic field (査読付)	共著	2014年	Journal of Applied Physics (American Institute of Physics) 116	Norimichi Watanabe, Susumu Abe, Akiyoshi Nakayama	033920頁
その他					
なし					

Ⅲ 学会等および社会における主な活動

年月	内容
1981年 7月～現在に至る	応用物理学会(国内学会)会員
1983年 4月～現在に至る	The Institute of Electrical and Electronics Engineers 会員
1987年 4月～現在に至る	電子情報通信学会(国内学会)会員
1991年 1月～現在に至る	日本学術振興会超伝導エレクトロニクス第146委員会 委員
1996年 4月～現在に至る	電子情報通信学会(国内学会)超伝導エレクトロニクス研究会専門委員
2009年 4月～2012年 3月	科学研究費補助金 (科学研究費補助金)5,070,000円 「基盤研究C」 バリア層に点磁性体を有する超伝導接合の評価と三端子素子の応用にむけての基礎研究 (研究代表者)
2013年 4月～現在に至る	科学研究費補助金 (科学研究費補助金)「基盤研究C」 マイクロ波等価回路 (研究代表者)

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部電気電子情報工学科	職名 教授	氏名 渡邊 良男	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例			
なし			
2 作成した教科書、教材			
電子情報実験C/Dのレポート書き方例(2010年度版)		2010年 3月21日 ～現在に至る	実験レポートが書けないという学生が多いため、実験レポートの作成例と、作成のポイントをまとめた教材を作成した。
3 教育上の能力に関する大学等の評価			
回路演習で授業を公開した。		2007年11月22日 ～現在に至る	工学部の研究授業で授業公開を行い、参観教員で批評会を行った。
学生による授業評価アンケートの活用		2008年 7月30日 ～現在に至る	現行の「学生による授業評価アンケート」は役に立たない。
4 実務の経験を有する者についての特記事項			
なし			
5 その他			
高校の教育調査		2006年 3月 1日 ～2010年10月30日	新学習指導要領で教育を受けた高校生が進学してくることを受けて、神奈川県内および東京都の高校に訪問調査を行った。05年5校、07年5校、08年2校、10年2校の計14校について調査し報告書にまとめ、書年次教育計画の資料を提供した。
FD全学委員ならびに工学部FD委員		2008年 4月 1日 ～2011年 3月31日	工学部FD委員として工学部のFD活動の推進に当たると同時に、2008年度に設立されたFD全学委員会に参画し、全学でのFD活動の推進に当たった。
電子情報フロンティア学科、教育プログラム検討委員長としての活動		2008年 4月 1日 ～現在に至る	電子情報フロンティア学科の教育プログラム検討委員会でカリキュラム改善活動を行う
FD全学委員		2008年10月 1日 ～2011年 3月31日	全学のFD委員として活動した。
高校出前授業		2010年11月16日 ～2010年11月16日	群馬県立館林高校で出前授業を行った。併せて高校生の進路決定に関する実情を調査した。
II 研究活動			

著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
Investigation of Moving Striation Characteristics and Formation Mechanism of Striation Shapes in a Fluorescent Lamp (査読付)	共著	2011年11月	Journal of Materials Science and Engineering 1(6A,)	Y. Watanabe, M. Kawagoe, T. Yamaguchi	753-758頁
磁性体方式磁界結合型無電極放電特性のコイル巻数依存性 (査読付)	共著	2011年11月	照明学会誌 95(11)	山口智浩、佐久間智典、 <u>渡辺良男</u>	258-265頁
Development of the Operating Circuit for a LED Lamp Based on the Cockcroft-Walton Circuit	共著	2012年12月	Journal of Energy and Power Engineering Vol. 6(No. 12)	Tomohiro Yamaguchi, Yuta Nakamura, Wei jishin, <u>Watanabe</u>	, pp. 1957-1964頁
Investigation of the Effect on the Electrode Characteristics by a Metal Ring encircling the Electrode (査読付)	共著	2014年 1月	Journal of Physical Science and Application 4(1)	<u>Watanabe Yoshio</u> , Yamaguchi Tomohiro	20-25頁
Glass Melting Phenomena of a Fluorescent Lamp and a Protection Method by a Metal Ring (査読付)	共著	2014年 6月	Journal of Physical Science and Application 14(3)	<u>Yoshio Watanabe</u> , Tomohiro Yamaguchi	159-165頁

その他					
Electric Characteristics of Dielectric Barrier Discharge Lamp with Coaxial Construction	共著	2010年 7月	Proceedings of the 12th International Symposium on the Science & Technology of Light Sources and the 3rd International Conference on White LEDs and Solid State Lighting CP-124	Yoshio Watanabe, Tomohiro Yamaguchi, Masatoshi Kobayashi	
低気圧水銀放電管での移動縞現象に関する検討	共著	2010年 9月	電気学会基礎材料部門大会 B-10	渡辺良男、川越真人	
LED電球用整流回路の開発	共著	2010年11月	電気関係学会関西支部連合大会 G12、4A203-24	魏慈鑫、渡辺良男	
Investigation of the Moving Striation in a Low Pressure Mercury Discharge	共著	2011年 6月	38th IEEE International Conference on Plasma Science (ICOPS2011) and 24th Symposium on Fusion Engineering (SOFE) IP2A-8	Y. Watanabe, M. Kawagoe:	. 287頁
クローラ型ロボットの階段の昇り動作	共著	2011年 9月	電気学会産業応用部門大会 Y-87	山本優斗、山口智浩、渡辺良男	
ダイオードとコンデンサーを用いたLED点灯回路の開発	共著	2011年 9月	照明学会全国大会 (No. 2-6)	魏ジンシ、中村祐太、山口智浩、渡辺良男	
中村、魏、山口、渡辺：LED点灯回路用整流回路の設計	共著	2011年 9月	電気学会産業応用部門大会 Y-33	中村祐太、魏ジンシ、山口智浩、渡辺良男	

クローラ型ロボットの 階段降り動作の開発	共著	2011年10月	電気関係学会関西支部連 合大会 G12-4A203-24	山本優斗、山口智浩、 <u>渡辺良男</u>	
Development of Operating Circuit for LED Lamp Composed of Diodes and Capacitors (査読 付)	共著	2011年11月	37th Annual Conference of the IEEE Industrial Electronics Society (IECON2011) IPS2	Y.Nakamura, C.Wei, T.Yamaguchi, <u>Y.Watanabe</u>	
ダイオードとコンデン サーを用いたLEDラン プ点灯回路の開発	単著	2011年11月	第36回 環瀬戸内海光源 研究会		
最新光源の話題と暮ら しへの展開 -科学と 工学の最前線-、神奈 川大学工学研究所・大 学院工学研究科、日本 照明学会講演会共催		2012年 1月	(神奈川大学横浜キャン パス)		
コッククロフト型高出 力LED点灯回路の開発	共著	2012年 3月	電気学会全国大会 1-151	魏、中村、山口、 <u>渡辺</u>	
移動縞の発光縞移動メ カニズム、	共著	2012年 3月	電気学会全国大会 1-150	船越、山口、 <u>渡辺</u>	
補助回路を付加した倍 電圧整流回路型LED点 灯回路	共著	2012年 3月	電気学会全国大会(1-152	中村、魏、山口、 <u>渡辺</u>	
Effect on the Electrode Characteristics by the Metal Ring Encircling the Electrode (査読付)	共著	2012年 7月	21st European Conference on the Atomic and Molecular Physics of Ionized Gases (ESCAMPIG), P1. 9. 3	<u>Yoshio Watanabe</u> , Tomohiro Yamaguchi	
Cockcroft-Walton回路 を用いたLED点灯回路 の検討	共著	2012年 9月	照明学会全国大会 (No. 2-4)	中村、山口、 <u>渡辺</u>	
休止期間を持つLED動 作電流波形に対する発 光効率の検討	共著	2012年 9月	照明学会全国大会 (No. 2-3)	兼高、山口、 <u>渡辺</u>	

バックライト用Hg封入 バリア放電管の特性解 析	共著	2012年12月	電気関係学会関西支部連 合大会 G12、9amT-19	今田、山口、 <u>渡辺</u>	
Cockcroft-Walton 回 路を用いたLED 点灯回 路のコンデンサ容量比 の検討	共著	2013年 3月	電気学会全国大会 1-123	中村、山口、 <u>渡辺</u>	
DCバイアスを印加した LED動作電流波形と発 光効率の検討	共著	2013年 3月	電気学会全国大会 1-122	兼高、山口、 <u>渡辺</u>	
Investigation of Moving Mechanism of Striation Formed in a Fluorescent Lamp	共著	2013年 3月	The 7th Lux Pacifica, LPT-024	Yuta Funakoshi, Tomohiro Yamaguchi, <u>Yoshio Watanabe</u>	
Operating Circuit for LED Lamp by CockCroft-Walton Circuit	共著	2013年 3月	The 7th Lux Pacifica, LPT-026	Yuta Nakamura, Tomohiro Yamaguchi, <u>Yoshio Watanabe</u>	
移動縞の移動メカニズ ム解析	共著	2013年 3月	電気学会全国大会 1-125	船越、山口、 <u>渡辺</u>	
Glass Melting Phenomena of a Fluorescent Lamp and Metal Ring Effect, International Conference on Phenomena in Ionized Gases	共著	2013年 7月	International Conference on Phenomena in Ionized Gases (ICPIG) XXXI PS4-099	<u>Watanabe</u> , Yamaguchi	
Hg-Ar封入バリア放電 の電圧電流特性シミュ レーションモデル	共著	2013年 9月	照明学会全国大会 (No. 1-2)	今田、山口、 <u>渡辺</u>	

Simulation model for analyzing voltage-current characteristics of the barrier type lamp filled with Hg-Ar gas	共著	2013年10月	66th Annual Gaseous Electronics Conference HW1.00075	<u>Watanabe</u> , Yamaguchi, Imada	
Cockcroft-Walton 回路を用いたLED点灯回路の出力切換え方式	共著	2013年11月	電気関係学会関西支部連 合大会 G12-2	本杉、山口、 <u>渡辺</u>	
Cockcroft-Walton 4倍型LED点灯回路でのコンデンサ容量比に対する動作特性解析	共著	2014年 3月	電気学会全国大会 1-030	兼高邦彦、山口智浩、 <u>渡辺良男</u>	
8倍型 Cockcroft-Walton 回路を用いたLED点灯回路の特性	共著	2014年 3月	電気学会全国大会 1-029	本杉康記、山口智浩、 <u>渡辺良男</u>	
Dependence of Characteristics on the LED Operating Voltage in the Operating Circuit Based on Cockcroft-Walton Circuit	共著	2014年 6月	Proceedings of the 14th International Symposium on the Science and Technology of Lighting CP48	Koki Motosugi, Kunihiro Kanetaka, <u>Yoshio Watanabe</u>	
蛍光ランプ電極特性に与える金属リングの影響	単著	2014年 8月	電気学会 基礎・材料・ 共通部門大会 22-E-a2-1		
Cockcroft-Walton 回路を用いたLED点灯回路のLED負荷電圧特性	共著	2014年 9月	電気学会C部門大会(松江) PS7-4	本杉康記、山口智浩、 <u>渡辺良男</u>	
蛍光ランプシステムガラス溶融に対する金属リング効果	共著	2014年11月	電気関係学会関西支部連 合大会(奈良 G12-4	<u>渡辺良男</u> 、山口智浩	

Cockcroft-Walton 型 LED 点灯回路の高調波 電流解析	共同	2015年 3月	電子情報通信学会総合大 会(立命館大学びわこ・ くさつキャンパス)	本杉康記、山口智浩	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
1969年 2月～現在に至る		日本電気学会(国内学会)会員			
1969年 5月～現在に至る		日本照明学会(国内学会)会員			
1996年 6月～現在に至る		照明学会、光の発生・関連システム研究専門部会(国内学会)会員			
2001年 6月～現在に至る		日本学術振興会「次世代の情報通信用スイッチング電源システム」第173委員会 委員			
2005年 4月～現在に至る		個人研究 無電極放電に関する研究			
2005年 4月～現在に至る		個人研究 高気圧放電に関する研究			
2007年 4月～2012年 3月		個人研究 感性を備えたロボットシステムに関する研究			
2007年 6月～2012年 3月		照明プロフェッショナル資格認定委員会 委員長			
2008年 5月～2011年10月		経済産業省地域イノベーション創出研究開発事業、地域技術開発支援事業 事前評価委員			
2009年 4月～現在に至る		個人研究 LED点灯回路の研究			
2010年 4月～現在に至る		日本照明学会(国内学会)照明プロフェッショナル資格認定委員会委員長			
2010年 6月～2011年 5月		日本技術者教育認定機構 2010年度審査長			
2012年 4月～2013年 5月		日本技術者教育認定機構 2012年度審査長			
2014年 6月～現在に至る		日本技術者教育認定機構 2014年度審査長			

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部電気電子情報工学科	職名 教授	氏名 豊嶋 久道	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例			
Webページによる授業サポート		2005年 9月 1日 ～現在に至る	(授業科目：ユニット演習I、デジタルシステム基礎、デジタル信号処理) 共通のWebページを作成し、それぞれの授業の情報を公開した。公開する内容は、毎回の授業のまとめ、レポート課題、解答、試験などの連絡事項で、最低週に2回は情報を更新するようにした。またこれらの授業情報は過去に遡って閲覧することもできるため、学生の予習、復習を効果的にサポートすることができた。
学生による授業評価アンケート結果の活用		2008年 9月 1日 ～現在に至る	(授業科目：デジタル信号処理) 2007年度、期末試験後にWebLecを使って独自の授業評価アンケートを行った。Webページの活用に対する評価が高かったため、予習、復習、演習問題の解答例などWebページの内容をさらに充実させた。
2 作成した教科書、教材			
「デジタルシステム基礎」の教材作成		2006年 4月 1日 ～現在に至る	講義テキストを作成し、それをPDFファイルとしてWebページに公開した。数回分の講義で利用する10ページ程度をPDFファイルとすることで、学生に印刷の負担が集中しないよう配慮した。従来のテキストを購入させる場合に比べて、テキストの持参率が高くなった。
3 教育上の能力に関する大学等の評価			
2008年度前期授業評価アンケート結果		2008年 9月 1日 ～現在に至る	(授業科目：ユニット演習I) 「難易度レベル」は平均に比べ高かったが、「シラバスに基づいていた」、「質問・意見に配慮をした」、「課題を適切に指示した」の各項目も、平均に比べ高い評価を得た。
4 実務の経験を有する者についての特記事項			
なし			
5 その他			
電気電子情報工学科教育プログラム検討委員としての活動		2002年 4月 1日 ～現在に至る	電気電子情報工学科における教育プログラム改編について検討を行った。特に学生の成績の解析のために成績データを処理するソフトウェアを開発し、その処理結果は教育プログラム検討のために有効に活用された。(平成14年4月1日～)

II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
FXメタトレーダー4 & 5一挙両得プログラミング	単著	2013年12月			
メタトレーダーではじ めるFXシステムトレ ードプログラミング	単著	2014年12月	(ラトルズ)		
論文					
なし					
その他					
平行結合マイクロスト リップ線導波路の線路 定数の計算	共著	2010年 9月	2010年電子情報学会 ソサイエティ大会 C-2-69	平岡隆晴, 宮澤僚, 貝瀬太祐, 豊嶋久道, 許瑞邦	
Max-Minアントシステ ムのフェロモンを利用 したアントコロニー最 適化法	共著	2011年 3月	電子情報通信学会東京支 部学生会研究発表会(第 16回) 44	山西貴士, 平岡隆晴, 豊嶋久道	
ローソク足のパターン 分析に基づく外国為替 相場の予測に関する研 究	共著	2011年 3月	電子情報通信学会東京支 部学生会研究発表会(第 16回) 50	長井英晃, 平岡隆晴, 豊嶋久道	
平行3線結合マイクロ ストリップ線導波路の 固有伝送モードの計算	共著	2011年 3月	2011年電子情報通信学会 総合大会 C-2-64	平岡隆晴, 宮澤僚, 貝瀬太祐, 豊嶋久道, 許瑞邦	
粒子群最適化を用いた 側結合マイクロストリ ップ線フィルタの設計	共著	2011年 3月	2011年電子情報通信学会 総合大会 A-1-13	宮澤僚, 平岡隆晴, 豊嶋久道	
粒子群最適化を用いた 方形導波管誘導性窓付 き共振器の設計	共著	2012年 3月	2012年電子情報通信学会 総合大会 ISS-P-105	宮澤僚, 豊嶋久道, 平岡隆晴	

平面接合回路のモードインピーダンス及びモードアドミタンスによる解析	共著	2012年 9月	2012年電子情報通信学会ソサイエティ大会 C-2-75	平岡隆晴, 山西貴士, 原幸平, 豊嶋久道, 許瑞邦	
組合せ最適化アルゴリズムを用いた方形導波管金属ポスト付フィルタの設計	共著	2012年 9月	2012年電子情報通信学会ソサイエティ大会 A-1-11	山西貴士, 原幸平, 平岡隆晴, 豊嶋久道	
タブーサーチを用いた外国為替市場における取引手法の最適化	共著	2013年 1月	平成24年度計測自動制御学会関西支部・システム制御情報学会若手研究発表会 C1-1	長井英晃, 後藤卓也, 平岡隆晴, 豊嶋久道	
組み合わせ最適化アルゴリズムを用いた方形導波管誘導性窓付き共振器の設計	共著	2013年 1月	平成24年度計測自動制御学会関西支部・システム制御情報学会若手研究発表会 B1-4	原幸平, 山西貴士, 平岡隆晴, 豊嶋久道	
組合せ最適化アルゴリズムを用いた方形導波管金属ポスト付フィルタの設計	共著	2013年 1月	平成24年度計測自動制御学会関西支部・システム制御情報学会若手研究発表会 B1-2	山西貴士, 原幸平, 平岡隆晴, 豊嶋久道	
タブーサーチを用いた外国為替市場における取引手法の最適化	共著	2013年 3月	情報処理学会第75回全国大会 5C-3	長井英晃, 後藤卓也, 平岡隆晴, 豊嶋久道	
粒子群最適化アルゴリズムを用いた方形導波管誘導性窓付き共振器の設計	共著	2013年 3月	情報処理学会第75回全国大会 1M-5	原幸平, 山西貴士, 平岡隆晴, 豊嶋久道	
方形導波管誘導性窓付き共振器型帯域通過フィルタの粒子群最適化を用いた設計	共著	2013年 7月	電子情報通信学会技術研究報告 CAS2013-28	原幸平, 平岡隆晴, 豊嶋久道	

方形導波管誘導性窓付共振器型帯域通過フィルタのフォスタ型等価回路及び組み合わせ最適化を用いた設計	共著	2013年 9月	電子情報通信学会ソサイエティ大会 C-2-58	平岡隆晴, 原幸平, 豊嶋久道, 許瑞邦	
方形導波管金属ポスト付き共振器型帯域通過フィルタの粒子群最適化を用いた設計	共著	2013年 9月	電子情報通信学会ソサイエティ大会 A-1-16	原幸平, 平岡隆晴, 豊嶋久道	
方形導波管共振器型帯域通過フィルタの粒子群最適化アルゴリズムを用いた設計	共著	2013年11月	電子情報通信学会技術研究報告 MW2013-135	原幸平, 平岡隆晴, 豊嶋久道	
外国為替市場におけるポジション構築時の損益推移を考慮した取引戦略の最適化	共著	2014年 3月	情報処理学会第76回全国大会 6K-1	後藤卓也, 豊嶋久道, 平岡隆晴	
方形導波管二列金属ポスト型帯域通過フィルタの粒子群最適化を用いた設計	共著	2014年 3月	2014年電子情報通信学会総合大会 A-1-8	原幸平, 平岡隆晴, 豊嶋久道	

Ⅲ 学会等および社会における主な活動

年月	内容
1988年 4月～現在に至る	電子情報通信学会会員
1992年 4月～現在に至る	情報処理学会会員
1993年 4月～現在に至る	アメリカ電気学会(IEEE)(国際学会)会員
1996年 4月～2011年 3月	電子情報通信学会東京支部学生会 顧問
1997年 4月～2011年 3月	電子情報通信学会東京支部学生会顧問
2004年10月～現在に至る	システム制御情報学会(国内学会)会員
2005年 4月～現在に至る	個人研究 デジタル信号処理回路設計支援システムの開発
2005年 4月～現在に至る	個人研究 進化論的アルゴリズムによる最適回路設計
2005年 4月～現在に至る	個人研究 金融信号処理に関する研究
2005年 4月～現在に至る	日本知能情報ファジィ学会(国内学会)会員
2005年11月～現在に至る	電気学会(国内学会)会員
2011年 4月～現在に至る	人工知能学会(国内学会)会員

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部電気電子情報工学科	職名 助手	氏名 佐藤 知正	大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
なし					
その他					
なし					
III 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
1987年 6月～現在に至る		電子情報通信学会会員			
2005年 4月～現在に至る		個人研究 電界発光素子に関する研究			

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部電気電子情報工学科	職名 教授	氏名 木下 宏揚	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
授業に関するアンケートの実施		1995年 7月20日 ～現在に至る	すべての期末試験の際に、当該科目の講義内容、講義方法、採点方法、試験内容などについてアンケートを実施して結果を次年度以降の授業に反映させている。(平成7年7月20日より継続)		
小テストの実施		1999年 4月 8日 ～現在に至る	電気回路 I, II、および情報数学について学生の理解度をチェックするために毎時間講義終了間際に小テストを実施している。また講義開始時に前回の小テストの解説をおこなっている。(平成11年4月8日より継続)		
WWWによる授業サポート		2001年 4月 8日 ～現在に至る	WWWを用いて、黒板に記載した内容など講義に関する情報を提供している。(平成13年4月8日より継続)		
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
なし					

その他					
なし					
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
		個人研究 マルチメディア情報の著作権に関する研究			
1985年10月～現在に至る		電子情報通信学会(国内学会)会員			
1993年 4月～現在に至る		画像電子学会カラーファクシミリ検討会 WG委員			
1994年 4月～現在に至る		日本学術振興会第159委員会WG 委員			
1995年 8月～現在に至る		テレビジョン学会(国内学会)会員			
1995年 8月～現在に至る		情報処理学会(国内学会)会員			
2000年 5月～現在に至る		日本学術振興会第159委員会 委員			
2002年 4月～現在に至る		インターネット接続サービス安全・安心マーク推進協議会 委員			
2007年10月～現在に至る		高等教育機関における情報セキュリティポリシー推進部会 委員			
2008年 2月～現在に至る		電子情報通信学会ネットワーク運用ガイドライン検討ワーキンググループ主査より活動業績に対して感謝状を授与			
2008年 5月～現在に至る		電子情報通信学会(国内学会)技術と社会・倫理研究専門委員会顧問			
2009年 4月～現在に至る		電子情報通信学会(国内学会)基礎境界ソサエティ ファンダメンタルレビュー編集委員			

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)
工学部電気電子情報工学科	准教授	土屋 健伸	
I 教育活動			
教育実践上の主な業績	年 月 日	概 要	
1 教育方法の実践例			
実験データのPCによる処理	2002年10月 1日 ～現在に至る	受け持ちの実験テーマにおいて、各テーブルにNote PCを用意し、データの整理をPC上で行わせた。(平成14年10月1日より実施)	
実習授業(実験)の理論データに配布に関するアンケート	2002年12月10日 ～現在に至る	データのWebでの配信についてアンケートを行った。データの双方向の交換手順や、方法の理解の未熟さ、不公平との意見があったため、Web配信を一時見送った。	
電子情報フロンティア学科後期研究授業アンケート結果及び意見交換会の実施	2008年11月28日 ～現在に至る	学科後期研究授業に参加しアンケート及び意見交換会を実施した。	
2 作成した教科書、教材			
実験テーマの理論、データの紙冊子による回覧	2002年10月 1日 ～現在に至る	上記Web配信の見送りに伴い、データを紙媒体で回覧して、実験の理解が深まるように努めた。(平成14年10月1日～)	
実験実習の使用マニュアル, 理論説明概要集	2005年 4月24日 ～現在に至る		
3 教育上の能力に関する大学等の評価			
2007年度FYS授業評価アンケート結果	2007年 9月 ～現在に至る		
2008年度FYS授業評価アンケート結果	2008年 9月 ～現在に至る		
2011年度「神奈川大学教育貢献表彰」制度 グッドティーチャー賞	2011年10月 ～2011年10月	2011年度「神奈川大学教育貢献表彰」制度においてグッドティーチャー賞を受賞した	
4 実務の経験を有する者についての特記事項			
なし			
5 その他			
なし			
II 研究活動			

著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
Imaging Performance Evaluation Method of Wide-View Underwater Acoustic Lens by Geometrical Skew Ray Analysis (査読付)	共著	2010年 7月	Jpn. J. Apl. Phys. 49 (7B)	S. Matsumoto, N. Takeyama, <u>T. Tsuchiya</u> , and N. Endoh	07HG02頁
Numerical Analysis of Pulse Wave Propagation in Lutzow-Holm Bay of the Antarctic Ocean Calculated by the Parabolic Equation Method (査読付)	共著	2010年 7月	Jpn. J. Apl. Phys. 49 (7B)	<u>T. Tsuchiya</u> , S. Matsumoto T. Anada and N. Endoh	07HG14頁
Numerical Simulation of Target Range Estimation Using Ambient Noise Imaging with Acoustic Lens (査読付)	共著	2010年 7月	Jpn. J. Apl. Phys. 49 (7B)	K. Mori, H. Ogasawara, T. Nakamura, <u>T. Tsuchiya</u> , and N. Endoh	07HG01頁
Design and Convergence Performance Analysis of Aspherical Acoustic Lens Applied to Ambient Noise Imaging in Actual Ocean Experiment (査読付)	共著	2011年 7月	Jpn. J. Apl. Phys. 50 (7B)	Kazuyoshi Mori, Hanako Ogasawara, Toshiaki Nakamura, <u>Takenobu Tsuchiya</u> , and Nobuyuki Endoh	7HG09頁

シングア라운드法を用いた音響レンズ材の音速の温度依存性の測定 (査読付)	共著	2011年10月	海洋音響学会誌 38(4)	土屋 健伸, 遠藤 信行, 松本 さゆり, 森 和義	195-202頁
数値解析を用いた南極海浅海域の音波伝搬シミュレーションー観測線Lの冬期伝搬特性ー (査読付)	共著	2011年11月	電子情報通信学会論文誌 A J94-A(11)	土屋 健伸, 穴田 哲夫, 松本 さゆり, 遠藤 信行	862-869頁
Basic Study of Properties of Planate Acoustic Lens Constructed with Phononic Crystal Structure (査読付)	共著	2012年 7月	Jpn. J. Apl. Phys. 51(7B)	Takenobu Tsuchiya, Tetsuo Anada, Nobuyuki Endoh, Sayuri Matsumoto, and Kazuyoshi Mori	07GG11頁
Extraction of Target Scatterings from Received Transients on Target Detection Trial of Ambient Noise Imaging with Acoustic Lens (査読付)	共著	2012年 7月	Jpn. J. Apl. Phys. 51(7B)	Kazuyoshi Mori, Hanako Ogasawara, Toshiaki Nakamura, Takenobu Tsuchiya, and Nobuyuki Endoh	07GG10頁
Experiment and Numerical Analysis of Temperature Rise in Phantom Caused by High-Intensity Focused Ultrasonic Irradiation (査読付)	共著	2013年 7月	Jpn. J. Apl. Phys. 52(7B)	Shin Tanaka, Kazuma Shimizu, Suguru Sakuma, Takenobu Tsuchiya, Nobuyuki Endoh	07HF09頁

Relationship between Spatial Distribution of Noise Sources and Target Scatterings Observed in the 2010 Sea Trial of Ambient Noise Imaging (査読付)	共著	2013年 7月	Jpn. J. Apl. Phys. 52	Kazuyoshi Mori, Hanako Ogasawara, Toshiaki Nakamura, <u>Takenobu Tsuchiya</u> , and Nobuyuki Endoh	07HG02頁
その他					
微小超音波プローブ開発のための音響レンズの集束音場の測定	共著	2010年 5月	日本超音波医学会第83回学術集会	<u>土屋健伸</u> , 松本さゆり, 遠藤信行	
海丘のある南極浅海域での音波伝搬解析	共著	2010年 5月	海洋音響学会講演論文集	<u>土屋健伸</u> , 穴田哲夫, 遠藤信行	5-8頁
Development of four-dimension wide view imaging and surveying system	共著	2010年 7月	Proc. of 10th European Conference on UNDERWATER ACOUSTICS Vol.1	S. Matsumoto, K.Katakura, N.Yoshizumi, M. Nanri, N. Takeyama, <u>T. Tsuchiya</u> , N. Endoh, N. Suzuki, T.Noguchi	411-416頁
Numerical Analysis of Propagated Pulse Wave in Lutzow-Holm Bay of the Antarctic Ocean Calculated by the Parabolic Equation Method	共著	2010年 7月	Proc. of 10th European Conference on UNDERWATER ACOUSTICS Vol.1	<u>T. Tsuchiya</u> , N. Endoh	879-884頁
Preliminary results of biological transient noise observation at Hashirimizu Port in Tokyo Bay	共著	2010年 7月	Proc. of 10th European Conference on UNDERWATER ACOUSTICS Vol.2	K. Mori, H. Kada, H. Ogasawara, T. Nakamura, <u>T. Tsuchiya</u> , N. Endoh	655-660頁

Sound Focusing by Underwater Sonic Crystal Lens using FD-PE Method	共著	2010年 7月	Proc. of 10th European Conference on UNDERWATER ACOUSTICS Vol.1	C. P. CHEN, <u>T. TSUCHIYA</u> , T. ANADA, N. ENDOH	463-470頁
Estimation of propagated pulse waveform in Lűtzow-Holm Bay of Antarctic Ocean calculated by parabolic equation method	共著	2010年 8月	Proc. of 20th International Congress on Acoustics	<u>Tsuchiya Takenobu</u> , Endoh Nobuyuki	Proc. on ICA2010頁
Sound pressure analysis and experiment of small ultrasonic lens	共著	2010年 8月	Proc. of 20th International Congress on Acoustics	Endoh, Nobuyuki, <u>Tsuchiya Takenobu</u> , Matsumoto, Sayuri	Proc. on ICA2010頁
小型音響レンズの音圧測定実験と音場解析シミュレーションとの比較	共著	2010年 9月	日本音響学会講演論文集	新川 竜大, <u>土屋 健伸</u> , 遠藤 信行	1203-1204頁
環境計測のための海洋内部の音波伝搬シミュレーションー海洋構造が音波伝搬に与える影響ー	共著	2010年 9月	日本音響学会講演論文集	<u>土屋 健伸</u> , 新川 竜大, 遠藤 信行	1417 -1418頁
3枚の非球面レンズから構成される複合水中音響レンズの音場測定	共著	2010年 9月	日本音響学会講演論文集	新川 竜大, 松本 さゆり, <u>土屋 健伸</u> , 遠藤 信行	1201-1202頁
ソニック結晶構造を有する音響レンズの集束音場解析	共著	2010年10月	第22回関東甲信越地方会 学術集会	<u>土屋 健伸</u> , 新川 竜大, 遠藤 信行, 松本さゆり, 森和義	

An Analysis of Convergence Performance of Acoustic Lens Applied to Ambient Noise Imaging in Actual Ocean Experiment	共著	2010年11月	Proc. of 31st Symposium on Ultrasonic Electronics	Kazuyoshi Mori, Hanako Ogasawara, Toshiaki Nakamura, <u>Takenobu Tsuchiya</u> and Nobuyuki Endoh	579-580頁
FDTD法によるソニック結晶構造音響レンズの収束音場の解析	共著	2011年 1月	電子情報通信学会技術報告	<u>土屋 健伸</u> , 穴田 哲夫, 遠藤 信行, 松本 さゆり, 森 和義	US2010-101頁
ソニック結晶構造音響レンズの収束音場の解析と測定	共著	2011年 3月	日本音響学会講演論文集	<u>土屋 健伸</u> , 新川 竜大, 遠藤 信行, 穴田 哲夫, 松本 さゆり, 森 和義	1427-1428頁
超音波照射による生体ファントムの温度分布の熱画像による観測	共著	2011年 3月	日本音響学会講演論文集	新川 竜大, 遠藤 信行, <u>土屋 健伸</u>	1353-1354頁
音響レンズを用いた周囲雑音イメージングにおける実海域試験の概要および一部解析結果の速報	共著	2011年 3月	日本音響学会講演論文集	森 和義, 加田 春樹, 小笠原 英子, 中村 敏明, <u>土屋 健伸</u> , 遠藤 信行	1425-1426頁
ソニック結晶構造を利用した試作平面音響レンズの収束音場の測定	共著	2011年 5月	海洋音響学会講演論文集	<u>土屋 健伸</u> , 穴田 哲夫, 遠藤 信行, 松本 さゆり, 森 和義	5-8頁
ソニック結晶構造音響レンズの収束音場の測定	共著	2011年 5月	日本超音波医学会第84回学術集会	<u>土屋 健伸</u> , 穴田 哲夫, 遠藤 信行, 松本 さゆり, 森 和義	S320頁
DESIGN OF ACOUSTIC LENS BEAMFORMER FOR AMBIENT NOISE IMAGING AND PRELIMINARY RESULTS OF TARGET DETECTION IN ACTUAL OCEAN TRIAL USING PROTOTYPE SYSTEM	共著	2011年 8月	Proc. 4th International Conference and Exhibition on "Underwater Acoustic Measurements: Technologies & Results	Kazuyoshi Mori, Hanako Ogasawara, Toshiaki Nakamura, <u>Takenobu Tsuchiya</u> , and Nobuyuki Endoh	1179-1184頁

Measurement of two-dimensional temperature distribution in tissue phantom caused by ultrasonic irradiation observing by infrared camera	共著	2011年 8月	Proc. of 13th World Congress of Ultrasound medicine and Biology	Ryuta Niikawa, <u>Takenobu Tsuchiya</u> , Shin Tanaka, Suguru Sakuma, Nobuyuki Endoh	S62頁
Basic Study of Property of Planate Acoustic Lens Constructed with Phononic Crystal Structures	共著	2011年 9月	Proc. of IEEE Internatioanl Ultrasonics Symposium 2011	T. TSUCHIYA, T. ANADA, N. ENDOH	
南極リュツォ・ホルム湾における音波伝搬の数値解析(6)－季節のプロファイル変化が音波伝搬に与える影響－	共著	2011年 9月	日本音響学会講演論文集	土屋 健伸, 新川 竜大, 穴田哲夫, 遠藤 行	1375-1376頁
水中音響における音波伝搬の時間領域解析－音響レンズ解析を中心に－	共著	2011年 9月	日本音響学会講演論文集	土屋 健伸, 遠藤 信行	1509-1512頁
超音波照射によるファントム内部温度分布の熱画像による観測(2)－連続波照射時における熱電対を用いた測定結果との比較－	共著	2011年 9月	日本音響学会講演論文集	田中 伸, 佐久間 優, 新川 竜大, 土屋 健伸, 遠藤 信行	1247- 1248頁
音波照射による生体ファントム内部温度分布の熱画像観測(3)－パルス繰り返し周波数の変化による温度上昇への影響－	共著	2011年 9月	日本音響学会講演論文集	佐久間 優, 田中 伸, 新川 竜大, 土屋 健伸, 遠藤 信行	1249- 1250頁

A Study of Planate Acoustic Lens Constructed with Phononic Crystal Structures	共著	2011年11月	Proc. of 32nd Symposium on Ultrasonic Electronics	T. Tsuchiya, T. Anada, N. Endoh, S. Matsumoto, K. Mori	439-440頁
Measurement of temperature rise in phantom using infrared imaging by varying pulse repetition frequency	共著	2011年11月	Proc. of 32nd Symposium on Ultrasonic Electronics	R. Niikawa, S. Sakuma, S. Tanaka, T. Tsuchiya, Nobuyuki Endoh	407-408頁
Preliminary Analysis for Transient Event of Target Scattering on Ambient Noise Imaging with Acoustic Lens	共著	2011年11月	Proc. of 32nd Symposium on Ultrasonic Electronics	K. Mori, H. Ogasawara, T. Nakamura, T. Tsuchiya and N. Endoh	435-436頁
超音波照射時の分割ファントム内部の温度上昇分布の熱画像による測定 ～ トランスデューサからファントム内のへ熱伝達量の推定～	共著	2012年 1月	電子情報通信学会技術報告	新川竜大, 佐久間 優, 田中伸, 土屋健伸, 遠藤信行	
ファントム内部温度分布の熱画像による観測と3次元FDTD-HCE 法によるシミュレーション結果の比較	共著	2012年 3月	日本音響学会講演論文集	田中 伸, 佐久間 優, 新川竜大, 土屋健伸, 遠藤信行	1309-1310頁
フォノンニック結晶構造を用いた平面音響レンズの特性解析	共著	2012年 3月	日本音響学会講演論文集	土屋健伸, 穴田哲夫, 遠藤信行, 松本さゆり, 森和義	1557-1558頁

超音波照射時の生体ファントム内部温度上昇分布の熱画像法による測定－強力集束超音波照射時の温度上昇実験－	共著	2012年 3月	日本音響学会講演論文集	佐久間 優, 田中 伸, 新川竜大, <u>土屋健伸</u> , 遠藤信行	1311-1312頁
フォノンニック結晶構造を用いた平面音響レンズの入射角度特性	共著	2012年 5月	海洋音響学会講演論文集	<u>土屋 健伸</u> , 穴田 哲夫, 遠藤 信行, 松本 さゆり, 森 和義	75-78頁
PRELIMINARY ANALYSIS OF SPATIAL DISTRIBUTION OF NOISE SOURCES ON SEA TRIAL OF AMBIENT NOISE IMAGING WITH ACOUSTIC LENS	共著	2012年 7月	Proc. of 11th European Conference on UNDERWATER ACOUSTICS Vol.1	K. MORI, H Ogasawara, T. Nakamura, <u>T. TSUCHIYA</u> , and, N. ENDOH	1484-1489頁
THE DESIGN OF PLANATE ACOUSTIC LENS MADE BY PHONONIC CRYSTAL STRUCTURES	共著	2012年 7月	Proc. of 11th European Conference on UNDERWATER ACOUSTICS Vol.1	<u>T. TSUCHIYA</u> , T. ANADA, N. ENDOH, S. MATSUMOTO, and, K. MORI	1738-1743頁
3D-Simulation for temperature rise in tissue mimicking phantom with bone	共著	2012年 8月	電子情報通信学会技術報告	N. Endoh, <u>T. Tsuchiya</u> , S. Sakuma, S. Tanaka	27-32頁
Development of Four-Dimensional Underwater Image-Capture Apparatus	共著	2012年 8月	電子情報通信学会技術報告	S. Matsumoto, K. Katakura, M. Nanri, N. Takeyama, <u>T. Tsuchiya</u> , N. Endoh, T. Noguchi	53-58頁
ファントム内部温度上昇の熱画像による測定と3次元解析結果との比較－模擬骨近傍における温度分布の空間・時間的比較－	共著	2012年 9月	日本音響学会講演論文集	田中 伸, 佐久間 優, <u>土屋 健伸</u> , 遠藤 信行	1301-1302頁

フォノン結晶構造で構成された平面板の入射角度特性	共著	2012年 9月	日本音響学会講演論文集	佐久間 優, 土屋 健伸, 穴田 哲夫, 遠藤 信行, 松本 さゆり, 森 和義	1455-1456頁
Numerical Analysis of Frequency Characteristics of a Prototype Planate Acoustic Lens Constructed by Phononic Crystal Structures	共著	2012年10月	Proc. of IEEE Internatioanl Ultrasonics Symposium 2012	T. Tsuchiya, T. Anada, N. Endoh, S. Matsumoto, and K. Mori	
Characteristics of incidence angle dependence of plate constructed with phononic crystal structures	共著	2012年11月	Proc. of 33rd Symposium on Ultrasonic Electronics	T. Tsuchiya, T. Anada, N. Endoh, S. Matsumoto, and K. Mori	121-122頁
Measurement and simulation of temperature rise distribution in phantom irradiated by weak nonlinear ultrasonic	共著	2012年11月	Proc. of 33rd Symposium on Ultrasonic Electronics	S. Tanaka, S. Sakuma, T. Tsuchiya, N. Endoh	121-122頁
Comparison of 3D-Simulation and Experiment of Temperature Rise in Phantom Caused By Ultrasound Irradiation	共著	2013年 1月	Youngnam-Kyushu Joint Conference on Acoustic 2013	Nobuyuki ENDOH, Takenobu TSUCHIYA, Shin TANAKA, and Satoru SAKUMA	
3次元FDTD-HCE法を用いたファントム内部の温度上昇解析 -熱画像と熱電対による観測結果との比較-	共著	2013年 3月	日本音響学会講演論文集	清水 一磨, 田中 伸, 佐久間 優, 土屋 健伸, 遠藤 信行	1263-1264頁

フォノンニック構造を有する音響レンズの設計と解析	共著	2013年 3月	日本音響学会講演論文集	土屋 健伸, 深澤 昂太, 穴田 哲夫, 遠藤 信行, 松本 さゆり, 森 和義	1345-1346頁
フォノンニック結晶構造を用いた音響レンズの基礎特性の解析	共著	2013年 5月	海洋音響学会2013年度研究発表会	土屋健伸, 深澤昂太, 穴田哲夫, 遠藤信行, 松本さゆり, 森和義	63-64頁
水中映像取得システムの小型・軽量化に関する検討 一周波数走査型送波器の送波特性向上についてー	共著	2013年 5月	海洋音響学会2013年度研究発表会	松本さゆり, 片倉景義, 白井一洋, 土屋健伸, 遠藤信行	11-14頁
水中映像取得システムの小型・軽量化に関する検討 一周波数走査型送波器及び位相反転受波器アレイを用いた映像取得実験ー	共著	2013年 5月	海洋音響学会2013年度研究発表会	松本さゆり, 片倉景義, 白井一洋, 土屋健伸, 遠藤信行	7-10頁
熱画像法ならびに熱電対法を用いた強力集束超音波照射時の温度上昇値の時間変化測定	共著	2013年 5月	日本超音波医学会第86回学術集会	清水一磨, 佐久間優, 田中伸, 土屋健伸, 遠藤信行	S440頁
Development of 4-D underwater acoustic imaging system	共著	2013年 6月	Proc. 1st International Conference and Exhibition on Underwater Acoustics	Sayuri Matsumoto, Kageyoshi Katakura, Kazuhiro Shirai, Takenobu Tsuchiya, Nobuyuki Endoh	
Preliminary Analysis of Target Range Estimation on Sea Trial 2010 for Ambient Noise Imaging with Acoustic Lens	共著	2013年 6月	Proc. 1st International Conference and Exhibition on Underwater Acoustics	Kazuyoshi Mori, Hanako Ogasawara, Toshiaki Nakamura, Takenobu Tsuchiya, and Nobuyuki Endoh	
フォノンニック結晶構造を用いた平面音響レンズの諸特性について	共著	2013年10月	日本超音波医学会	土屋 健伸, 遠藤 信行	

Ⅲ 学会等および社会における主な活動	
年月	内容
1995年 1月～現在に至る	日本超音波医学会(国内学会)会員
1995年 3月～現在に至る	日本音響学会(国内学会)会員
1998年 1月～現在に至る	海洋音響学会(国内学会)会員
1999年 8月～現在に至る	海洋音響学会編集委員会 委員
2002年 7月～2010年 6月	海洋音響学会企画運営委員会 委員
2005年 4月～現在に至る	個人研究 超音波医用診断に関する研究
2005年 5月～現在に至る	海洋音響学会 評議員
2006年 4月～現在に至る	個人研究 1,900,000円 生体の安全性確認のための超音波照射時における生体軟部組織ならびに骨内部の温度推定
2006年 4月～2010年 4月	日本音響学会編集委員会 編集委員
2008年 4月～現在に至る	国内共同研究(独立行政法人港湾空港技術研究所)音響レンズの基礎特性に関する研究
2008年 4月～2010年 4月	日本超音波医学会 機器と安全に関する委員会 幹事
2008年 4月～2011年 3月	科学研究費補助金 4,300,000円 「基盤研究C」カテーテル型超音波プローブ開発のための複合音響レンズの開発(研究分担者)
2008年11月～現在に至る	超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム(USE)論文委員
2009年 4月～2010年 4月	日本音響学会 編集委員会 分野幹事
2009年 4月～2011年 3月	科学研究費補助金 4,800,000円 「若手研究(B)」水中音響映像装置小型化のためのフレキシブル音響レンズの開発(研究代表者)
2009年 9月～2013年 6月	海洋音響学会 編集委員会 幹事補佐
2011年 4月～2013年 3月	その他の補助金・助成金(日本超音波医学会研究開発班)1,800,000円 フォノニック結晶構造を有する高性能音響レンズの開発(研究代表者)
2011年 4月～2014年 3月	科学研究費補助金 5,000,000円 「基盤研究(C)」超音波照射に起因する生体内温度障害を避けるための精密測定法と数値解析法の開発(研究分担者)
2011年 4月～現在に至る	電子情報通信学会(国内学会)会員
2012年 4月～2015年 3月	科学研究費補助金 6,000,000円 「基盤研究(C)」フォノニック結晶構造を用いた平面音響レンズの実用化に向けた最適化設計に関する研究(研究代表者)
2012年 6月～現在に至る	海洋音響学会 理事
2013年 6月～2014年 5月	海洋音響学会2014年度研究発表会 実行委員長
2013年 6月～現在に至る	海洋音響学会 企画運営委員会 委員

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部電気電子情報工学科	職名 助教	氏名 平岡 隆晴	大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
方形導波管誘導性窓付 共振器型帯域通過フィルタ フォスタ型等価回路及び組み 合わせ最適化を設計	共著	2013年 9月	電子情報通信学会ソサイ エティ大会 C-2-58	平岡 隆晴, 原 幸平, 豊嶋 久道, 許 瑞邦	
その他					

多層超薄膜三次元光導波路の等価回路による電磁界解析	共著	2010年 7月	電子情報通信学会技術報告 [マイクロ波] MW2010-63	貝瀬 太祐, 平岡 隆晴, 許瑞邦, 穴田 哲夫	211-216頁
平行結合マイクロストリップ線導波路の線路定数の計算	共著	2010年 9月	2010年電子情報通信学会ソサイエティ大会 C-2-69	平岡 隆晴, 宮澤 僚, 貝瀬 太祐, 豊嶋 久道, 許 瑞邦	
Max-Minアントシステムのフェロモンを利用したアントコロニー最適化法	共著	2011年 3月	電子情報通信学会東京支部学生会研究発表会(第16回) (No. 44)	山西 貴士, 平岡 隆晴, 豊嶋 久道	
ローソク足のパターン分析に基づく外国為替相場の予測に関する研究	共著	2011年 3月	電子情報通信学会東京支部学生会研究発表会(第16回) (No. 50)	長井 英晃, 平岡 隆晴, 豊嶋 久道	
平行3線結合マイクロストリップ線導波路の固有伝送モードの計算	共著	2011年 3月	2011年電子情報通信学会総合大会 C-2-64	平岡 隆晴, 宮澤 僚, 貝瀬 太祐, 豊嶋 久道, 許 瑞邦	
粒子群最適化を用いた側結合マイクロストリップ線フィルタの設計	共著	2011年 3月	2011年電子情報通信学会総合大会 2011年電子情報通信学会総合大会	宮澤 僚, 平岡 隆晴, 豊嶋 久道	
平行面結合マイクロストリップ線の固有伝送モードの計算	共著	2011年 9月	2011年電子情報通信学会ソサイエティ大会 C-2-64	平岡 隆晴, 宮澤 僚, 貝瀬 太祐, 豊嶋 久道, 許 瑞邦	
粒子群最適化を用いた方形導波管誘導性窓付き共振器の設計	共著	2012年 3月	2012年電子情報通信学会総合大会 ISS-P-105	宮澤 僚, 豊嶋 久道, 平岡 隆晴	
平面接合回路のモードインピーダンス及びモードアドミタンスによる解析	共著	2012年 9月	2012年電子情報通信学会ソサイエティ大会 C-2-75	平岡 隆晴, 山西 貴士, 原 幸平, 豊嶋 久道, 許 瑞邦	
組合せ最適化アルゴリズムを用いた方形導波管金属ポスト付フィルタの設計	共著	2012年 9月	2012年電子情報通信学会ソサイエティ大会 A-1-11	山西 貴士, 原 幸平, 平岡 隆晴, 豊嶋 久道	

タブーサーチを用いた外国為替市場における取引手法の最適化	共著	2013年 1月	平成24年度計測自動制御学会関西支部・システム制御情報学会若手研究発表会 C1-1	長井 英晃, 後藤 卓也, 平岡 隆晴, 豊嶋 久道	
組み合わせ最適化アルゴリズムを用いた方形導波管誘導性窓付き共振器の設計	共著	2013年 1月	平成24年度計測自動制御学会関西支部・システム制御情報学会若手研究発表会 B1-4	原 幸平, 山西 貴士, 平岡 隆晴, 豊嶋 久道	
組み合わせ最適化アルゴリズムを用いた方形導波管金属ポスト付フィルタの設計	共著	2013年 1月	平成24年度計測自動制御学会関西支部・システム制御情報学会若手研究発表会 B1-2	山西 貴士, 原 幸平, 平岡 隆晴, 豊嶋 久道	
タブーサーチを用いた外国為替市場における取引手法の最適化	共著	2013年 3月	情報処理学会第75回全国大会 5C-3	長井 英晃, 後藤 卓也, 平岡 隆晴, 豊嶋 久道	
粒子群最適化アルゴリズムを用いた方形導波管誘導性窓付き共振器の設計	共著	2013年 3月	情報処理学会第75回全国大会 1M-5	原 幸平, 山西 貴士, 平岡 隆晴, 豊嶋 久道	
方形導波管誘導性窓付き共振器型帯域通過フィルタの粒子群最適化を用いた設計	共著	2013年 7月	電子情報通信学会技術研究報告 CAS2013-28	原 幸平, 平岡 隆晴, 豊嶋 久道	
方形導波管金属ポスト付き共振器型帯域通過フィルタの粒子群最適化を用いた設計	共著	2013年 9月	電子情報通信学会ソサイエティ大会 A-1-16	原 幸平, 平岡 隆晴, 豊嶋 久道	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
1995年 4月～現在に至る		電子情報通信学会(国内学会)会員			
2005年 4月～現在に至る		個人研究 マイクロ波回路の解析・合成			

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)
工学部電気電子情報工学科	教授	新中 新二	
I 教育活動			
教育実践上の主な業績	年 月 日	概 要	
1 教育方法の実践例			
教育用サーボシステムの構築と系統的な制御工学教育	1998年 4月 1日 ～現在に至る	制御工学の系統的教育を実施すべく、講義において教授した制御系設計理論の検証を、シミュレーションと実機実験により効率的に実施できる、パソコンと産業用実機からなる神奈川大学独自の教育用サーボシステムを構築した。これにより、理論による定性的理解、シミュレーションによる定量的理解、実機による実際的理解といった制御工学の総合的かつ実践的な理解を促すことが可能となった。平成10年度より本サーボシステムの利用を開始した。	
制御工学教育内容のパワーポイント化	2008年 9月 1日 ～現在に至る	制御工学教育において、板書による表示に改良の意見がよせられたので、制御工学教育資料のパワーポイント化を実施した。	
電気数学教育内容のパワーポイント化	2010年 9月 1日 ～現在に至る	電気数学での教育内容をすべてパワーポイント化し、教育効果を上げた	
2 作成した教科書、教材			
大学院教科書「適応アルゴリズム（離散と連続、真髄へのアプローチ）」の単著出版	1990年 8月 6日 ～現在に至る	大学院生を対象として、適応制御、適応信号処理に共通して利用可能な適応アルゴリズムを体系的に解説した。本書は、平成3年8月に計測自動制御学会から優れた著作として同年度の著述省を受賞している。この受賞は、本書の貢献の始まりに過ぎず、出版依頼今日までの間、適応アルゴリズムのバイブル的書籍として、活用されている。	
インターネット大学院教育のためのビデオ製作	2002年 9月20日 ～現在に至る	信州大学の要請を受け、インターネット大学院教育（1学期分、制御工学特論Ⅰ）のためのビデオ製作した。本ビデオに従って履修することにより、適応制御システムのための同定アルゴリズムが独習できるようになっている。平成14年後期より稼働中である。	
学部・大学院参考書「コントロールモータハンドブック」の共著出版	2008年 4月 1日 ～現在に至る	制御用各種モータに関するハンドブックにおいて、センサレスベクトル制御に関して執筆。本書は、学部・大学院生に教育に利用。	
学部講義「制御工学」のパワーポイント化	2008年 9月 1日 ～現在に至る	初めて制御工学を学ぶ学生を対象に、全教育内容のパワーポイント化を実施。	
大学院教科書「永久磁石同期モータのベクトル制御技術、上巻、原理から最先端まで」の単著出版	2008年12月15日 ～現在に至る	永久磁石同期モータのベクトル制御技術に関し、センサ利用とセンサレスの両駆動制御に共通の技術を原理から最先端まで体系的に解説	

大学院教科書「永久磁石同期モータのベクトル制御技術、下巻、センサレス駆動制御の真髄」の単著出版	2008年12月15日 ～現在に至る	永久磁石同期モータのベクトル制御技術において、特にセンサレスベクトル制御技術に特化して、その真髄を体系的に解説			
学部教科書「システム設計のための基礎制御工学」の単著出版	2009年 2月19日 ～現在に至る	本書は、筆者の講義ノートをベースに用意したものであり、初めて制御工学を学ぶ学生に、制御システムの構成と制御器の設計法とを理解・修得させることを目的として、少なくとも産業界で広く利用されているPI制御器を独力で設計できる力を付けさせることを目的として執筆した。			
大学院講義「制御特論1」のパワーポイント化	2009年 4月 1日 ～現在に至る				
大学院講義「制御特論2」のパワーポイント化	2009年 4月 1日 ～現在に至る				
学部講義「電気数学」のパワーポイント化	2009年 9月 1日 ～現在に至る				
大学院生教育用参考書「HEV、EV化に向けた車載用モータとその制御・応用」を共著出版	2009年 9月30日 ～現在に至る	電気自動車に関する技術解説書			
学部教科書「フーリエ級数・変換とラプラス変換、基礎から実践まで」の単著出版	2010年 3月25日 ～現在に至る				
大学院生教育用参考書「電気自動車の最新制御技術」の共著出版	2011年 6月 ～現在に至る	大学院生教育のための電気自動車の駆動に関する解説書			
大学院教科書「永久磁石同期モータの制御（センサレスベクトル制御技術）」を東京電機大学より単著出版	2013年 9月10日 ～現在に至る	大学院生教育に資する最新モータドライブ技術を体系的に解説			
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
工学系大学教育（FD分科会）参加	2006年10月 ～現在に至る	表記会合に、学科代表の1人として参加。			
京都FD研究会参加	2007年 3月 ～現在に至る	毎年京都で開かれるFD関係の研修会に、工学部FD委員会の代表として参加			
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					

永久磁石同期モータの制御 (センサレスベクトル制御技術)	単著	2013年 9月	(東京電機大学出版局)		
論文					
永久磁石同期モータセンサレス駆動のための高周波積分形PLLを伴った高周波電流相関法の汎用化 (査読付)	単著	2010年 7月	電気学会 130(7)		868-880頁
永久磁石同期モータセンサレス駆動のための鏡相推定法の簡略化実現と体系化 (査読付)	単著	2010年 8月	電気学会 論文誌D 130(8)		987-999頁
永久磁石同期モータセンサレス駆動のための高周波積分形PLLを伴った一般化ヘテロダイナ法 (査読付)	単著	2010年 8月	電気学会 論文誌D 130(8)		973-986頁
突極形永久磁石同期モータの高周波トルクリプルに関する簡易かつ統一的解析 (査読付)	単著	2010年 9月	電気学会 論文誌D 130(9)		1117-1118頁
PMSMセンサレス駆動における準同期座標系上の位相推定と固定座標系上の位相推定との等価性 (査読付)	単著	2010年10月	電気学会 論文誌D 130(10)		1195-1196頁
A Novel Fast-Tracking D-Estimation Method for Single-Phase Signals	単著	2011年 4月	IEEE Trans. Power Electronics 26(4)		1081-1088頁

永久磁石同期モータセンサレス駆動のための新フーリエ形位相推定法 (査読付)	単著	2011年 4月	電気学会論文誌D 131(4)		640-653頁
誘起電圧歪みに起因した6次トルクリプルの準完全補償可能なPM S Mのための簡易トルクセンサレストルク制御 (査読付)	共著	2011年 8月	電気学会論文誌D 131(8)	岸田英生	1068-1077頁
一般化楕円形高周波電圧印加法に起因した正相関特性の実機検証 (査読付)	共著	2011年10月	電気学会論文誌D 131(10)	久百々寿一	1254-1255頁
d q 軸間磁束干渉をもつPMSMの突極位相 (査読付)	単著	2011年10月	電気学会論文誌D 131(10)		1258-1259頁
PMSM同一次元状態オブザーバのゲイン設計のための一解析 (査読付)	単著	2012年 1月	電気学会論文誌D 132(1)		125-126頁
d q 軸間磁束干渉をもつ永久磁石同期モータの自己整合性を備えた動的数学モデルとトルク特性 (査読付)	単著	2012年 1月	電気学会論文誌D 132(1)		109-120頁
PMSMの軌跡指向形ベクトル制御における最小銅損軌跡収斂条件の統一的解析 (査読付)	共著	2012年 4月	電気学会論文誌D 132(4)	天野佑樹	518-519頁
直線形PWM搬送高周波電圧印加による永久磁石同期モータのセンサレスベクトル制御 (査読付)	単著	2014年 6月	電気学会論文誌D 134(6)		595-605頁

真円形PWM搬送高周波電圧印加による永久磁石同期モータのセンサレスベクトル制御（査読付）	単著	2014年 6月	電気学会論文誌D 134(6)		606-617頁
鉄損を有する突極PMSMのための改良多項式近似による指令変換器構成法（査読付）	共著	2014年 7月	電気学会論文誌D 134(7)	関野真吾	701-702頁
永久磁石同期モータの高効率・広範囲センサレス駆動のための楕円軌跡指向形ベクトル制御（査読付）	共著	2014年 8月	電気学会論文誌D（電気学会） 134(8)		720-723頁
交流モータのための擬似電流偏差を用いた三相交流電流制御法（査読付）	単著	2014年 9月	電気学会論文誌D（電気学会） 134(9)		821-832頁
最適サーボ理論に基づく永久磁石同期モータの効率駆動（査読付）	共著	2014年11月	電気学会論文誌D 134(11)	細岡竜	978-979頁
瞬時速度推定同伴の最小次元D因子磁束状態オブザーバを用いた誘導モータのセンサレスベクトル制御（査読付）	単著	2015年 3月	電気学会論文誌D 135(3)		299-307頁
その他					
電気自動車用モータ駆動制御技術の実際と展望		2010年 4月	(東京都千代田区富士見)		

A Novel D-Estimation Method of Phase, Frequency, and Amplitude of Single-Phase Signal (査読付)	単著	2010年 6月	Proc. of the 2010 International Power Electronics Conference, ECCE ASIA (IPEC-Sapporo 2010)		360-367頁
A Novel Generalized Speed-Varying Ellipse Voltage Injection Method for Sensorless Drive of Salient-Pole PMSMs (査読付)	単著	2010年 6月	Proc. of the 2010 International Power Electronics Conference		3021-3028頁
永久磁石同期モータセンサレス駆動のための新フーリエ形位相推定法	単著	2010年 8月	平成22年電気学会産業応用部門大会講演論文集 第1分冊		317-322頁
永久磁石同期モータセンサレス駆動のための汎用化高周波電流関連法の動作検証	共著	2010年 8月	平成22年電気学会産業応用部門大会講演論文集 第1分冊	岸田英生	311-316頁
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月	内容				
1977年～現在に至る	IEEE (米国電気電子学会) 会員				
1981年～現在に至る	計測自動制御学会会員				
1985年～現在に至る	電気学会会員				
1988年10月～現在に至る	システム制御情報学会会員				
1990年 4月～現在に至る	個人研究 モータ駆動制御とこの応用に関する研究				
2008年10月～2011年 3月	電気学会2010年パワーエレクトロニクス国際会議組織委員会委員				
2008年10月～2011年 3月	電気学会、2010年パワーエレクトロニクス国際会議組織委員会 委員				
2009年 4月～2011年 3月	電気学会新応用分野に拡大する可変速交流ドライブの適用技術調査専門委員会委員				
2009年 4月～2011年 3月	電気学会、新応用分野に拡大する可変速交流ドライブの適用技術調査専門委員会 委員				
2011年 7月～2013年 6月	電気学会可変速交流ドライブ技術の到達点と課題調査専門委員会委員				
2012年 5月～2014年 6月	電気学会2014年パワーエレクトロニクス国際会議組織委員会委員				

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部電気電子情報工学科	職名 教授	氏名 島 健	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
工学部電子情報フロンティア学科研究授業及び意見交換会の実施		2008年 6月24日 ～現在に至る	(授業科目；電子回路II) 参観教員4名のアンケートでは、「学生の理解度はどのように確かめているか」、「前の席が空いている」等の指摘を受けた。意見交換会では「ノートをとっている学生がいなかったが」という質問があり、WEBで資料を公開し予習復習が出来るように配慮していると説明した。「小テスト」等の「学生の理解度」を高める方策については今後も意見交換を続けることになった。		
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					

Oscillation Mechanism Analysis of the N-stage Ring Oscillator ORIGAMI (査読付)	共著	2010年11月	IEEJ Trans. on Electronics, Information and Systems 5(6)	Takeshi Shima, Takashi Kusaga	632-638頁
双方向結合による配列型CMOSリング発振器の提案	単著	2011年 3月	電気学会論文誌C 131(3)		600-601頁
その他					
Oscillation Frequency Analysis of N-Stage CMOS Ring Oscillator with Wired-OR Connections	共著	2010年 6月	Proc. of IEEE ISCAS2010	Takashi Kusaga	, pp. 4269-4272頁
CMOS Ring Oscillator with Braided Connections (査読付)	単著	2011年 6月	IEEE Proc. IEEE International NEWCAS Conference		149--152頁
The Multiplier Less Two-path Cross-coupled $\Sigma \Delta$ Modulator	共著	2011年11月	IEEJ	Takeshi Shima, Takumi Ikegami	
2段階DCDC変換器の構成に関する考察	共著	2014年 3月	電気学会電子回路研究会資料(電気学会) ETC(14)	竹内 健人	19-22頁
CMOS乱数発生器における準安定点からの分岐に関する考察	共著	2014年 3月	電気学会電子回路研究会資料(電気学会) ETC(14)	杉本圭康	81-84頁
CMOS整流器の効率改善に関する一考察	共著	2014年 3月	電気学会全国大会論文集(電気学会) 3(15)	安藤 遼	18-18頁
ウェーブレット変換用フィルタ回路の設計に関する考察	共著	2014年 3月	電気学会電子回路研究会資料(電気学会) ETC(14)	水口有彩	77-80頁

リングオシレータを用いた真性乱数発生器の高速化に関する検討	共著	2015年 1月	電気学会電子回路研究会資料(電気学会) ETC	杉本 圭康 ニコデムス レディアン	
任意の整数変換比を有するスイッチトキャパシタDC-DC変換器の設計手法	共著	2015年 1月	電気学会研究会資料(電気学会) ECT(15)	竹内健人、ニコデムス レディアン	61-64頁
III 学会等および社会における主な活動					
年月	内容				
	一般社団法人 電気学会(国内学会)会員				
	個人研究 集積回路に関する研究				
	個人研究 電子回路に関する研究				
1978年 4月～現在に至る	電子情報通信学会(国内学会)会員				
1985年10月～現在に至る	米国・電気学会(国際学会)Senior Member				
1987年 6月～現在に至る	米国・The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. (IEEE) 上級会員				
1995年 4月～現在に至る	電気学会(国内学会)会員				
1996年 5月～現在に至る	電子情報通信学会(国内学会)査読委員				
2000年 4月～現在に至る	電子情報通信学会(国内学会)ソサイエティ論文編集委員会査読委員				
2007年 4月～現在に至る	電子情報通信学会(国内学会)英文論文誌C編集委員				
2008年 1月～2010年12月	電気学会(国内学会)アナログ電子回路の設計生産性向上技術調査専門委員会委員				
2008年10月～2011年 3月	電気学会(国内学会)高周波回路効率的設計のための基盤技術調査専門委員会委員				
2010年 9月～2011年10月	Springer Journal, Analog Integrated Circuits and Signal Processing Guest Editor				
2011年 3月～現在に至る	電気学会(国内学会)電子回路技術委員会1号委員				
2011年 4月～2014年 3月	電気学会(国内学会)高度化アナログ電子回路の高効率化設計技術調査専門委員会委員				
2011年 5月～2011年12月	電子情報通信学会(国内学会)「Special Section on Analog Circuit Techniques and Related Topics」英文論文小特集編集委員会委員				
2011年 6月～2011年 7月	早稲田大学博士学位論文審査委員会 審査委員				
2011年12月～2012年12月	電子情報通信学会英文論文誌A特集号 編集委員長				
2012年 4月～現在に至る	一般社団法人 電気学会(国内学会)電子回路研究専門委員会委員長				
2012年 4月～現在に至る	一般社団法人 電気学会(国内学会)電子回路技術委員会2号委員				
2012年 4月～現在に至る	電気学会電子回路研究専門委員会 委員長				
2012年 6月～現在に至る	一般社団法人 電気学会(国内学会)電子回路の教育プログラム調査専門委員会委員				

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部電気電子情報工学科	職名 教授	氏名 能登 正人	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例			
学生による授業評価アンケート結果の活用	1998年 4月 1日 ～現在に至る	(授業科目:「プログラミング言語」および「情報処理のスキルII」) 大学が例年実施する授業評価アンケートに加えて、独自に作成したアンケートを実施し、授業改善に役立てている。	
所属研究室学生に対する論文指導	1998年 4月 1日 ～現在に至る	卒業論文および修士論文の指導を行い、学会での研究成果発表を推奨している。その結果、難関国際会議に研究論文が採択されたり、優秀な研究発表と認められ、学会から賞を受賞したりしている。	
学生による授業評価アンケート結果の活用	1999年 4月 1日 ～現在に至る	(授業科目:「プログラミング言語」および「情報処理のスキルII」) 期末試験の際に、当該科目に関するアンケート(意見, 要望, 苦情など)を実施し、結果を次年度以降の授業に反映させている。	
学生による授業評価アンケート結果の活用	2004年 4月 1日 ～現在に至る	(授業科目:「プログラミング言語」および「情報処理のスキルII」) 2003年度前期授業評価アンケート評価を受け、自由記述欄に「教室が狭い」という記載が多かったため、適正な規模の授業講堂に変更し、授業の改善を図った。	
dotCampusを活用した授業の実践	2009年10月 1日 ～現在に至る	dotCampusを活用し、電子的に作成した資料(PDFファイル)の配布を可能とした。また、レポート課題の提出もdotCampusを利用することにより、学生への便宜を図った。	
2 作成した教科書、教材			
オリジナル教材・資料の作成	1998年10月 1日 ～現在に至る	(授業科目:「プログラミング言語演習」および「ユニット演習I」) 授業内容に適した教材がなかったため、独自に教材を作成した。	
Web上での授業情報提供	2001年 4月 1日 ～現在に至る	(授業科目:「プログラミング言語」, 「プログラミング言語演習」, 「情報処理のスキルII」, 「ユニット演習I」) Web上から授業情報を得られるようにしたり、作成した教材(電子ファイル)をWeb上から閲覧・ダウンロードできるようにし、受講生の便宜をはかった。	
3 教育上の能力に関する大学等の評価			
2006年度後期工学部優秀講義賞	2007年 3月 ～現在に至る	学生の意見を参考とした2006年度後期工学部優秀講義賞を受賞した。	

4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
工学研究科自己点検・評価実施委員会委員（副委員長）としての活動		2011年 4月 1日 ～2014年 3月31日			
工学部教育委員会委員としての活動		2013年 4月 1日 ～現在に至る			
電気電子情報工学科「教育プログラム検討委員会」における活動		2013年 4月 1日 ～現在に至る			
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
改良PSOによる多峰性関数最適化手法	共著	2010年 6月	進化計算フロンティア研究会（第4回）	松井丈弥, <u>能登正人</u>	1-10頁
A Hybrid Particle Swarm Optimization Considering Accuracy and Diversity of Solutions (査読付)	共著	2010年10月	Proc. of The 2010 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics	T. Matsui, <u>M. Noto</u> , M. Numazawa	411-416頁
Improvement of the Modified Low-First Method for Iterative Learning (査読付)	共著	2010年10月	Proc. of The 2010 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics	M. Numazawa, H. Iwama, S. Kanauchi, <u>M. Noto</u>	540-545頁
多様な価値観を表現可能なPSOの情報伝播モデル	共著	2011年 3月	進化計算フロンティア研究会（第6回）	松井丈弥, <u>能登正人</u> , 森住哲也, 木下宏揚	155-164頁
マルチェージェントに基づく遺伝的なアクセス行列制御	共著	2011年 5月	電子情報通信学会技術研究報告 (SITE2011-3) 111(41)	森住哲也, 鈴木一弘, <u>能登正人</u> , 木下宏揚	11-16頁

行為素片を記述するエージェント・オブジェクトの振舞い、及びその群れの倫理について	共著	2011年10月	電子情報通信学会技術研究報告 (SITE2011-24) 111(240)	森住哲也, 鈴木一弘, <u>能登正人</u> , 木下宏揚	1-6頁
Load Distribution Scheme for Power Saving Efficiency in Wireless Sensor Networks (査読付)	共著	2011年11月	IEEE Xplore (Proc. of The 2011 Fifth International Conference on Sensing Technology)	T. Goto, <u>M. Noto</u>	346-351頁
善く生きるための“行為の鏡”としての“群知能パラメータ”について	共著	2011年12月	電子情報通信学会技術研究報告 (SITE2011-31) 111(363)	森住哲也, 鈴木一弘, <u>能登正人</u> , 木下宏揚	35-40頁
A Local Currency System Reflecting Variety of Values with a Swarm Intelligence (査読付)	共著	2012年 7月	Proc. of The 12th IEEE/IPSJ International Symposium on Applications and the Internet	H. Kinoshita, Y. Tajima, T. Morizumi, <u>M. Noto</u> , H. Kannabe, S. Miyata	251-255頁
Agent-Based Social Simulation Model that Accommodates Diversity of Human Values (査読付)	共著	2012年10月	Proc. of The 2012 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics	H. Kannabe, <u>M. Noto</u> , T. Morizumi, H. Kinoshita	1818-1823頁
Development of a Network Application-based Notetaking Support System (査読付)	共著	2012年10月	Proc. of The 2012 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics	M. Numazawa, R. Sasaki, T. Akimoto, <u>M. Noto</u>	1830-1835頁
Multiagent System Based on Genetic Access Matrix Analysis (査読付)	共著	2012年12月	International Journal of Electronic Commerce Studies 3(2)	T. Morizumi, K. Suzuki, <u>M. Noto</u> , H. Kinoshita	305-324頁

Agent-based Social Simulation Model for Analyzing Human Behaviors using Particle Swarm Optimization (査読付)	共著	2013年 9月	International Journal of Computer and Information Technology 2(5)	<u>M. Noto</u> , H. Kannabe, T. Morizumi, H. Kinoshita	850-859頁
Optimal Sink Node Allocation for Balancing Communication Load in a Wireless Sensor Network (査読付)	共著	2013年 9月	International Journal on Smart Sensing and Intelligent Systems 6(4)	<u>M. Noto</u> , S. Yoneda	1533-1558頁
Education and Learning Support System Using Proposed Note-Taking Application (査読付)	共著	2014年10月	Proc. of The 2014 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics	M. Numazawa, K. Ai, <u>M. Noto</u>	3638-3643頁
Swarm Intelligence Algorithm for Optimality Discovery in Distributed Constraint Optimization (査読付)	共著	2014年10月	Proc. of The 2014 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics	K. Hasegawa, <u>M. Noto</u>	3632-3637頁
その他					
レスキューエージェントの協調行動に対するタスク割り当て	共同	2010年 6月	2010年度人工知能学会全国大会 (第24回) (長崎)	呉珊, 松井丈弥, <u>能登正人</u>	
探索の多様性と局所解からの脱出を考慮したPSO	共同	2010年 6月	2010年度人工知能学会全国大会 (第24回) (長崎)	松井丈弥, <u>能登正人</u>	
最良巡回路探索エージェント群を用いたACOアルゴリズムの改良	共同	2010年 6月	2010年度人工知能学会全国大会 (第24回) (長崎)	梁賢徳, 松井丈弥, <u>能登正人</u>	

フェロモン調節によるACOアルゴリズムの改良	共同	2010年 9月	第9回情報科学技術フォーラム(福岡)	梁賢徳, 松井丈弥, 能登正人	
ロボカップレスキューにおけるエージェント間協調のためのグループ形成手法	共同	2010年 9月	第9回情報科学技術フォーラム(福岡)	呉珊, 松井丈弥, 能登正人	
多様性維持を目的としたParticle Swarm Optimizationの改良	共同	2010年 9月	第9回情報科学技術フォーラム(福岡)	松井丈弥, 能登正人	
粗視化を用いないProfit Sharingによる強化学習の効率化	共同	2010年 9月	第9回情報科学技術フォーラム(福岡)	細井健輔, 松井丈弥, 能登正人	
PSOを用いた遺伝的アルゴリズムによる最適化手法	共同	2011年 3月	情報処理学会第73回全国大会(東京)	松本泰幸, 松井丈弥, 能登正人, 森住哲也, 木下宏揚	
エージェントの行動に基づく視覚情報によるランダム選択法を用いたACO	共同	2011年 3月	情報処理学会第73回全国大会(東京)	梁賢徳, 能登正人	
エージェントを用いた車車間アドホック通信による交通情報の提供	共同	2011年 3月	情報処理学会第73回全国大会(東京)	和田紘輝, 能登正人	
クラウドにおける情報制御のためのPSOを用いた情報伝播シミュレーション	共同	2011年 3月	情報処理学会第73回全国大会(東京)	松井丈弥, 能登正人, 森住哲也, 木下宏揚	
学習の効率化を目的とした粗視化を用いた強化学習	共同	2011年 3月	情報処理学会第73回全国大会(東京)	細井健輔, 能登正人	
情報量に基づくロボカップレスキューエージェントの協調行動	共同	2011年 3月	情報処理学会第73回全国大会(東京)	呉珊, 松井丈弥, 能登正人	
活性度を考慮したクラスタ構造型Particle Swarm Optimization	共同	2011年 3月	情報処理学会第73回全国大会(東京)	松江健人, 松井丈弥, 能登正人, 森住哲也, 木下宏揚	

無線センサネットワークにおける複数シンクを用いた負荷分散型ネットワークの構築	共同	2011年 3月	情報処理学会第73回全国大会(東京)	後藤典, 能登正人	
無線センサネットワーク省電力化のための複数シンクを用いた負荷分散制御	共同	2011年 5月	第14回知的&新世代ソフトウェア・ワークショップ(横浜)	能登正人, 後藤典	
無線センサネットワークにおけるネットワーク長寿命化のための負荷分散方式の提案	共同	2011年 9月	第10回情報科学技術フォーラム(函館)	後藤典, 能登正人	
群知能を言語ゲームと見做すアクセス制御	共同	2012年 2月	2012年暗号と情報セキュリティシンポジウム(金沢)	森住哲也, 久保直也, 鈴木一弘, 能登正人, 木下宏揚	
群知能を適用したアクセス制御システム	共同	2012年 2月	2012年暗号と情報セキュリティシンポジウム(金沢)	久保直也, 森住哲也, 鈴木一弘, 能登正人, 木下宏揚	
Artificial Bee Colonyアルゴリズムを用いた無線センサネットワークにおけるシンクノードの最適配置手法	共同	2012年 3月	情報処理学会第74回全国大会(名古屋)	後藤典, 能登正人	
エージェントの価値観を考慮した社会シミュレーションモデルの提案	共同	2012年 3月	情報処理学会第74回全国大会(名古屋)	上鍋秀幸, 後藤典, 能登正人, 森住哲也, 木下宏揚	
マルチカーエレベータにおける拡張ゾーン方式を用いた群管理制御	共同	2012年 3月	情報処理学会第74回全国大会(名古屋)	古木悠太, 能登正人	
島モデルと実数値GAを用いたパラメータ自動調整アルゴリズム	共同	2012年 3月	情報処理学会第74回全国大会(名古屋)	蒲生拓也, 後藤典, 能登正人	

群知能アルゴリズムを用いたエージェントベース社会シミュレーション	共同	2012年 6月	2012年度人工知能学会全国大会（第26回）（山口）	上鍋秀幸, <u>能登正人</u> , 森住哲也, 木下宏揚	
エージェントベース社会シミュレーションを用いた情報伝播の分析	共同	2012年 9月	第11回情報科学技術フォーラム(東京)	上鍋秀幸, <u>能登正人</u> , 森住哲也, 木下宏揚	
WSNシンクノード配置問題における通信負荷均衡化のための駆動端末最適制御	共同	2013年 3月	情報処理学会第75回全国大会(仙台)	後藤典, 米田征司, <u>能登正人</u>	
アドホックネットワークのクラスタリングにおけるプロトコルの改良	共同	2013年 3月	情報処理学会第75回全国大会(仙台)	蜂須賀隆太郎, 米田征司, <u>能登正人</u>	
分散資源配分問題における動的変化に対応可能な近似解法	共同	2013年 3月	情報処理学会第75回全国大会(仙台)	長谷川和平, <u>能登正人</u>	
社会シミュレーションにおける評価関数を用いた人間の価値観の表現	共同	2013年 3月	情報処理学会第75回全国大会(仙台)	上鍋秀幸, <u>能登正人</u> , 森住哲也, 木下宏揚	
緊急車両走行支援のための車車間通信による信号機制御法	共同	2013年 3月	情報処理学会第75回全国大会(仙台)	太田集, <u>能登正人</u>	
人間の振る舞いを表現可能な情報伝播モデルの構築	共同	2013年 9月	第12回情報科学技術フォーラム(鳥取)	上鍋秀幸, <u>能登正人</u> , 森住哲也, 木下宏揚	
分散最適化問題における構造分割を用いた協調型確率的手法	共同	2013年 9月	電子情報通信学会2013年ソサイエティ大会(福岡)	長谷川和平, 米田征司, <u>能登正人</u>	
分散資源配分問題における計算量削減を目的とした交渉型確率的解法	共同	2013年 9月	第12回情報科学技術フォーラム(鳥取)	長谷川和平, <u>能登正人</u>	

動的変数を考慮した群知能によるデータマイニング手法	共同	2013年 9月	電子情報通信学会2013年ソサイエティ大会(福岡)	津留貴陽, 米田征司, 能登正人	
緊急車両優先信号制御のための自動車アドホックネットワーク分散通信制御法	共同	2013年 9月	第12回情報科学技術フォーラム(鳥取)	太田集, 能登正人, 米田征司	
車車間通信分散制御法による緊急車両走行支援	共同	2013年 9月	電子情報通信学会2013年ソサイエティ大会(福岡)	太田集, 米田征司, 能登正人	
分散型電源における電力変動予測による電力融通最適化手法	共同	2014年 3月	情報処理学会第76回全国大会(東京)	小堀一樹, 米田征司, 能登正人	
粒子群最適化における粒子間距離を用いた群形成方法	共同	2014年 3月	情報処理学会第76回全国大会(東京)	上鍋秀幸, 能登正人	
複数フェロモンを用いたサムライアリコロニー最適化アルゴリズム	共同	2014年 3月	情報処理学会第76回全国大会(東京)	津留貴陽, 能登正人	
トゲアリの巣帰り行動を用いたアリコロニー最適化アルゴリズム	共同	2015年 3月	情報処理学会第77回全国大会(京都)	津留貴陽, 米田征司, 能登正人	
群知能アルゴリズムによるネットワーク設計問題の解法	共同	2015年 3月	情報処理学会第77回全国大会(京都)	長谷川和平, 米田征司, 能登正人	
自動運転実現のための分散型交通管制システムの提案	共同	2015年 3月	情報処理学会第77回全国大会(京都)	太田集, 米田征司, 能登正人	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月	内容				
1992年 4月～現在に至る	情報処理学会(国内学会)会員				
1994年 3月～現在に至る	日本知能情報ファジィ学会(旧日本ファジィ学会)(国内学会)会員				
1994年 4月～現在に至る	電子情報通信学会(国内学会)会員				
1997年 4月～現在に至る	人工知能学会(国内学会)会員				
1997年 4月～現在に至る	日本ソフトウェア科学会(国内学会)会員				
2002年 6月～現在に至る	電気学会(国内学会)会員				

2006年 4月～現在に至る	個人研究 知的情報処理技術を用いたユビキタスネットワークに関する基礎研究
2006年 5月～現在に至る	電子情報通信学会論文誌査読委員 査読委員
2006年 7月～現在に至る	Member of the International Program Committee, IASTED International Conference on Advances in Computer Science and Technology 国際プログラム委員
2006年11月～現在に至る	Reviewer of the IEEE Industrial Electronics Society 査読委員
2008年 3月～現在に至る	Organizer of the Special Session on Intelligent Media and New-Generation Software, The 2008 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics オーガナイザー
2008年 7月～現在に至る	Member of the International Program Committee, IASTED International Conference on Parallel and Distributed Computing and Networks 国際プログラム委員
2008年10月～現在に至る	Member of the International Program Committee, IASTED International Conference on Advances in Computer Science and Engineering 国際プログラム委員
2010年 3月～現在に至る	Organizer of the Special Session on Intelligent Media and New-Generation Software, The 2010 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics オーガナイザー
2010年 4月～2015年 3月	科学研究費補助金 1,400,000円 「基盤研究(C)」人と情報の関係マップを使った知識共有型マルチエージェントのセキュリティ (研究分担者)
2012年 3月～現在に至る	Organizer of the Special Session on Intelligent Media and New-Generation Software, The 2012 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics オーガナイザー
2013年 3月～現在に至る	Member of the International Program Committee, The 2013 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics 国際プログラム委員
2014年 3月～現在に至る	Member of the International Program Committee, The 2014 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics 国際プログラム委員

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部電気電子情報工学科	職名 准教授	氏名 米田 征司	大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)
I 教育活動			
教育実践上の主な業績	年 月 日	概 要	
1 教育方法の実践例			
メールを活用した授業サポート	2008年 4月 1日 ～現在に至る	(授業科目：電気磁気学 I) 電子メールを活用して、情報提供、質問、回答、指導などを行うことができたようにした。	
効果的な授業機器の活用	2008年 4月 1日 ～現在に至る	(授業科目：電気磁気学 I) 講義にはパワーポイントと板書を使用した。パワーポイントと板書の特徴を生かして、効果的な進め方を検討した。	
各回の講義への感想の活用	2008年 4月 1日 ～現在に至る	(授業科目：電気磁気学 I) 毎回講義終了後、出席カードの裏に講義の感想を書いてもらい、学生の声を聞く様に努めた。その結果に基づき、次の回の講義などに反映させた。	
各章の小テスト実施	2008年 4月 1日 ～現在に至る	(授業科目：電気磁気学 I) 教科書の各章が終了した後に各章毎に小テストを実施し、理解度を確保するよう努めた。	
学生による授業評価アンケート結果の活用	2008年 4月 1日 ～現在に至る	(授業科目：電気磁気学 I) 平成20年度前期のアンケートの結果を受け、意見記載項目 B.改善すべき点記述欄に「板書の字が少し汚いかもしれない」という記載があったので、後期よりすべてパワーポイントによる授業を行った。講義1回分のパワーポイントページ数は、30ページを超える物となった。	
学生による授業評価アンケート結果の活用	2008年 4月 1日 ～現在に至る	(授業科目：電気磁気学 I) 平成20年度前期のアンケートの結果を受け、意見記載項目 B.改善すべき点記述欄に「スライドの背景色と背景色と文字色によって見にくい時も合ったので、そこは変えた方が助かると思いました。」という記載があったので、後期よりパワーポイントで使用する背景色と文字の色を見易い様に工夫改善した。後期では見難いとの声は聞いていない。	
講義時間外の時間活用	2008年 4月 1日 ～現在に至る	(授業科目：電気磁気学 I) テストや宿題を出すようにして、講義以外の時間でも勉強に取り組んでもらうよう努めた。	
2 作成した教科書、教材			
電子情報実験C・D 実験テーマ「三相交流発電機」補助テキストの作成	2008年 4月 ～現在に至る	電子情報実験C・D 実験テーマ「三相交流発電機」で使用する補助テキストを作成した。	
3 教育上の能力に関する大学等の評価			

2008年度前期授業評価アンケート結果	2008年 6月 ～現在に至る	(授業科目：電気磁気学Ⅰ) 学生による授業評価アンケートにおいて、難易レベルを除いては、すべての項目で平均以上であった。また、「教員の授業に取り組む熱意を感じた」および「課題を適切に指示した」という評価項目で高く評価を受けた。			
2008年度前期授業評価アンケート結果	2008年 6月 ～現在に至る	(授業科目：電気磁気学Ⅰ) 学生による授業評価アンケートにおいて、意見記載項目 A.良かった点記述欄に「説明がていねいでわかりやすかった。板書もノートに取りやすかった」、「細かい所まで詳しく説明いただけたので、今までよりかなりわかりやすい授業だったと思う」、「計算はもちろん何故こうなるのか、何故そうなるのかといった説明を教科書にそって授業をしてくださったので、わかりやすくもあり、復習もしやすかった。」などの記載があり、高く評価を受けた。			
2008年度前期授業評価アンケート結果	2008年 7月 ～現在に至る	(授業科目：FYS) 学生による授業評価アンケートにおいて、「話し方は明確でひきつけた」、「板書等はわかりやすかった」、「創意・工夫されていた」という評価項目で平均以上の評価を受けた。			
2008年度前期授業評価アンケート結果	2008年 7月 ～現在に至る	(授業科目：FYS) 学生による授業評価アンケートにおいて、意見記載項目 A.良かった点記述欄に「スライドが多様されていてわかりやすかった」、「いい先生だった」、「授業が受けやすかった」、「とてもわかりやすかった。」などの記載があり、高く評価を受けた。			
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
熱電変換材料 実用・ 活用を目指した設計と 開発 ～材料技術/モ ジュール化/フレキシ ブル化/実用例～	共著	2014年12月	(情報機構)	米田征司 分担執筆	
論文					

Anomalous thermal expansion of Pb-Te system semiconductors (査読付)	共著	2010年 4月	Journal of Applied Physics 107	Seiji Yoneda, Masahiko Kato and Isao J. Ohsugi	074901頁
未利用熱の有効利用によるCO2排出削減が期待される熱電発電	単著	2011年 5月	クリーンエネルギー5月号 (日本工業出版) 20(5)		15-22頁
カスケード形熱電発電モジュールの試作に関する研究	共著	2012年 3月	神奈川大学工学部報告 第50号 (50)	米田征司, 大野吉弘	17-22頁
Anomaly in the specific heat of lead tellurides (査読付)	共著	2013年 2月	Journal of Theoretical and Applied Physics 7(11)	S. Yoneda, M. Kato and I. J. Ohsugi	
OPTIMAL SINK NODE ALLOCATION FOR BALANCING COMMUNICATION LOAD IN A WIRELESS SENSOR NETWORK (査読付)	共著	2013年 9月	International Journal on Smart Sensing and Intelligent Systems 6(4)	M. Noto and S. Yoneda	1533-1558頁
Complex Impedance Measurements on the Steady State Behaviors of a 10-cell PEFC Stack	共著	2014年 7月	Journal of Advances in Physics 5(1)	S. Yoneda and Y. Ohno	742-751頁
その他					
Consideration of the Grain Boundaries of Sintered PbTe Thermoelectric Materials	共著	2010年 6月	X III International Conference on Intergranular and Interphase Boundaries in Materials (iib 2010)	Seiji Yoneda, Kakeru Kaneko, Yoshihiro Ohno and Isao J. Ohsugi	

カスケード形熱電発電 モジュールの開発	単著	2010年10月	神大テクノフェスタ2010 神奈川大学工学部重要 機器整備報告		
未利用熱の有効利用に よるCO2排出削減が期 待される熱電発電 ～ 材料・デバイス・シ ステム～	単著	2010年11月	横浜リエゾンポート2010		
Thermal Expansion of the Thermoelectric Semiconductor SnTe	共著	2010年12月	第20回日本MRS学術シン ポジウム		
PEFC のカソードの供 給ガス濃度と濃度分極 の関係	共著	2011年 3月	平成23年度電気学会全国 大会講演論文集 [7] エ ネルギー変換・輸送		
燃料電池のガス出口圧 の制御による出力特性 の向上	共著	2011年 3月		平成23年度電気学会全国大会講 演論文集 [7] エネルギー変換・ 輸送	
第20回日本MRS学術シ ンポジウム報告	単著	2011年 3月	日本熱電学会誌 7(3)		23頁
熱電半導体Bi ₂ Te ₃ の高 温における構造変化	共著	2011年 8月	第8回 日本熱電学会学術 講演会(TSJ2011) 予稿集	徳永大輔, 大杉 功, 加藤雅彦, <u>米田征司</u>	53頁
Dissociation and Sublimation of Tellurium from the Thermoelectric Semiconductor Bismuth Telluride at High Temperature	共著	2011年11月	The 21st MRS-Japan Academic Symposium	D. Tokunaga, I. J. Ohsugi, M. Kato, <u>S. Yoneda</u> and Y. Isoda	
熱電発電システム ～ 未利用熱の有効利用 技術など～	単独	2012年 1月	大田区新エネルギー技術 交流セミナー2011 (第3 弾) (東京)		

PEFCの供給ガス濃度と濃度分極の関係	共著	2012年 3月	平成24年度電気学会全国大会講演論文集 [7] エネルギー変換・輸送	金子 翔, 天野佑樹, <u>米田征司</u> , 大野吉弘	
燃料電池の出口ガス圧の変化による定常特性	共著	2012年 3月	平成24年度電気学会全国大会講演論文集 [7] エネルギー変換・輸送	<u>米田征司</u> , 金子 翔, 天野佑樹, 上林武成, 大野吉弘	6頁
WSNシンクノード配置問題における通信負荷均衡化のための駆動端末最適制御	共著	2013年 3月	情報処理学会第75回全国大会講演論文集, 第3分冊	後藤 典, <u>米田征司</u> , 能登正人	427-428頁
アドホックネットワークのクラスタリングにおけるプロトコルの改良	共著	2013年 3月	情報処理学会第75回全国大会講演論文集, 第3分冊	蜂須賀隆太郎, <u>米田征司</u> , 能登正人	491-492頁
熱電変換の基礎と応用 ～中温度域に使用できる実用熱電発電材料およびモジュールの作製, 低温度域の熱電発電システム～	共同	2013年 6月	熱電発電セミナー～熱電変換材料・モジュールの開発・高効率化からシステムの設計まで～(東京)		
緊急車両優先信号制御のための自動車アドホックネットワーク分散通信制御法	共著	2013年 6月	FIT2013 (第12回情報科学技術フォーラム) 講演論文集, 第4分冊	太田 集, 能登正人, <u>米田征司</u>	429-430頁
神奈川大学 工学部 電気電子情報工学科 知能情報システム研究室紹介	単著	2013年 7月	日本熱電学会学会誌 10(1)		9-10頁
分散最適化問題における構造分割を用いた協調型確率的手法	共著	2013年 9月	2013年電子情報通信学会基礎・境界ソサイエティ大会講演論文集	長谷川和平, <u>米田征司</u> , 能登正人	122頁

動的変数を考慮した群知能によるデータマイニング手法	共著	2013年 9月	2013年電子情報通信学会基礎・境界ソサイエティ大会講演論文集	津留貴陽, 米田征司, 能登正人	106頁
車車間通信分散制御法による緊急車両走行支援	共著	2013年 9月	2013年電子情報通信学会基礎・境界ソサイエティ大会講演論文集	太田 集, 米田征司, 能登正人	142頁
分散型電源における電力変動予測による電力融通最適化手法	共著	2014年 3月	情報処理学会第76回全国大会講演論文集, 第4分冊	小堀一樹, 米田征司, 能登正人	569-570頁
基礎から学ぶ熱電変換～発電材料, 発電モジュール, 発電システム, 最近の研究トピックス～	単独	2014年 4月	基礎から学ぶ熱電変換(東京)		
～ 熱電変換技術の基礎・熱電変換材料の評価・発電モジュールの作製と発電特性・身近な排熱を利用した熱電発電システムの開発～	単独	2014年11月	熱電変換技術の基礎と熱電発電システムへの応用(東京)		
III 学会等および社会における主な活動					
年月	内容				
1995年 4月～2012年12月	応用物理学会(国内学会)会員				
1997年 7月～現在に至る	財団法人 慶応工学会 国際交流援助費				
1999年 4月～2012年 6月	日本金属学会(国内学会)会員				
1999年12月～現在に至る	日本熱電変換研究会ニュースレター (Vol. 3, No. 1) 記事執筆 (熱電変換シンポジウム'98研究会報告)				
2000年 4月～現在に至る	個人研究 (学校法人神奈川大学)新・省エネルギーシステムの構成に関する研究				
2000年 4月～現在に至る	電気学会(国内学会)会員				
2003年 5月～現在に至る	傾斜機能材料研究会FGMニュース記事執筆 (第21回熱電変換国際会議報告)				
2004年 4月～現在に至る	日本熱電学会(国内学会)会員				
2005年 4月～現在に至る	エコマテリアルフォーラム(国内学会)会員				

2005年 4月～現在に至る	エコマテリアル研究会 ワークショップ ” エコマテリアル5つの視点 –哲学から国際標準化まで” 開催 MLCD部 会委員
2005年 4月～現在に至る	社団法人未踏科学技術協会エコマテリアルフォーラム 設立発起人
2006年 3月～現在に至る	社団法人未踏科学技術協会 エコマテリアル・フォーラム 2005年度アニュアルレポート 執筆 「多面的なエネルギーシステムとデバイス材料の検討」 部会委員
2006年 4月～現在に至る	日本材料科学会(国内学会)会員
2008年 4月～現在に至る	電気学会 学会活動推進員
2009年 1月～現在に至る	日本熱電学会 学会誌編集委員
2009年 2月～現在に至る	アメリカ物理学会(国際学会)会員
2009年 4月～現在に至る	日本熱電学会誌 Vol.5 No.3 編集・発行 学会誌編集委員
2009年 5月～現在に至る	電気学会 東京支部学生員委員
2009年 7月～現在に至る	日本熱電学会誌 Vol.6, No.1 編集・発行 学会誌編集委員
2009年11月～現在に至る	日本熱電学会誌 Vol.6, No.2 編集・発行 学会誌編集委員
2010年 3月～現在に至る	日本熱電学会誌 Vol.6, No.3 編集・発行 学会誌編集委員
2010年 4月～現在に至る	日本ビジネス出版 月刊「環境ビジネス」別冊 環境電話帳2010 掲載協力 個人専門家
2010年 7月～現在に至る	日本熱電学会(国内学会)評議員
2010年 7月～現在に至る	日本熱電学会誌 Vol.7, No.1 編集・発行 学会誌編集委員
2010年12月～現在に至る	日本熱電学会誌 Vol.7, No.2 編集・発行 学会誌編集委員
2010年12月～現在に至る	第20回日本MRS学術シンポジウム内のセッションチェア セッションテーマ: エネルギー材料・フロンティアセッション 連絡チェア
2011年 4月～現在に至る	日本熱電学会誌 Vol.7, No.3 編集・発行 学会誌編集委員
2011年 4月～現在に至る	日本熱電学会誌 Vol.7, No.3 記事執筆 (MRS-J 2010学会報告)
2011年 8月～現在に至る	日本熱電学会誌 Vol.8, No.1 編集・発行 学会誌編集委員
2011年11月～現在に至る	日本熱電学会誌 Vol.8, No.2 編集・発行 学会誌編集委員
2012年 3月～現在に至る	日本熱電学会誌 Vol.8, No.3 編集・発行 学会誌編集委員
2012年 7月～現在に至る	日本熱電学会誌 Vol.9, No.1 編集・発行 学会誌編集委員
2012年10月～現在に至る	電気学会 東京支部神奈川支所委員
2012年11月～現在に至る	情報処理学会(国内学会)会員
2012年11月～現在に至る	日本熱電学会誌 Vol.9, No.2 編集・発行 学会誌編集委員
2013年 3月～現在に至る	日本熱電学会誌 Vol.9, No.3 編集・発行 学会誌編集委員
2013年 5月～現在に至る	人工知能学会(国内学会)会員
2013年 7月～現在に至る	日本熱電学会誌 Vol.10, No.1 編集・発行 学会誌編集委員
2013年10月～現在に至る	電気学会東京支部神奈川支所見学会 (電源開発(株) 磯子火力発電所見学引率) 東京支部神奈川支所委員
2013年11月～現在に至る	日本熱電学会誌 Vol.10, No.2 編集・発行 学会誌編集委員
2014年 4月～現在に至る	日本熱電学会誌 Vol.10, No.3 編集・発行 学会誌編集委員
2014年10月～現在に至る	電気学会(国内学会)上級会員

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部電気電子情報工学科	職名 教授	氏名 山口 栄雄	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
高校生向け公開講座			講師をつとめ、高校生対象の講義を行った。		
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
Stress reduction and electrical properties of InSb thin films on sapphire substrates with InAs buffer layer (査読付)	共著	2010年 5月	Vacuum 84	S. Yamaguchi and M. Matsumoto	1323-1326頁

Electrical properties of InSb thin films with an InAsSb buffer layer grown by MOVPE (査読付)	共著	2011年 2月	Physica Status Solidi (c) 8	H. Homma, H. Nagata, and S. Yamaguchi	278-281頁
その他					
なし					
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
1993年 3月～現在に至る		応用物理学会(国内学会)会員			
1998年 3月～現在に至る		日本金属学会(国内学会)会員			
2001年 4月～現在に至る		日本希土類学会(国内学会)会員			
2001年 4月～現在に至る		日本応用磁気学会(国内学会)会員			
2001年 8月～現在に至る		京都大学ベンチャービジネスラボラトリー研究助成金			
2001年10月～現在に至る		泉科学技術振興財団研究助成金			
2001年12月～現在に至る		Materials Research Society 会員			
2002年 4月～現在に至る		個人研究 GaN系半導体の熱電変換素子への応用			
2002年 4月～現在に至る		個人研究 MOVPE成長InSb系半導体薄膜の熱電変換素子への応用			
2002年 4月～現在に至る		工学研究所運営委員 委員			
2002年 4月～現在に至る		熱電変換研究会 会員			
2002年 7月～現在に至る		村田学術振興財団助成金			
2003年 4月～現在に至る		成均館大学学術交流検討委員会 委員			
2003年 4月～現在に至る		日本熱電学会(国内学会)会員			
2003年 4月～現在に至る		費ノン板硝子材料工学助成金			
2005年 4月～現在に至る		個人研究 Bi ₂ Te ₃ 系薄膜を用いた赤外線センサの開発			
2006年 4月～現在に至る		個人研究 点接触型ペルチェ素子の開発と応用			

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部電気電子情報工学科	職名 教授	氏名 松澤 和光	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例			
授業評価に関するアンケートの実施		2002年 9月 1日 ～現在に至る	後期担当科目「情報処理工学Ⅱ」において、授業評価・要望に関する意見収集のため、学生用メールアドレスを設定。総計数十通を受けて各回の授業運営に反映するとともに、全てに簡単に返信し、講義が一方的形式とならないよう配慮。2部「電子計算機Ⅱ」でも、ほぼ毎回、紙形式で同様の意見収集を行った。今後の担当授業でも同様に継続する予定。 (平成14年9月1日～)
学生とのコミュニケーションを主眼とした新しい授業形態の模索		2003年 4月 1日 ～現在に至る	上記実績を踏まえて、新しく企画し開設した担当科目「情報システム基礎」において、毎回の授業アンケート結果を次回の授業中に回答するリクエスト・タイム、および授業初めに「前回までのあらまし」を累積的に要約提示する復習タイムなどを取り入れ、学生とのコミュニケーションを主眼とした新しい授業形態として試行した。この結果、受講者が100名を越す多人数の講義ながら（毎回のアンケート等での）学生の評価は高く、期末に実施した「学生による授業評価」でも大半の項目が4.4ポイント前後と、学科平均を各1ポイント近く上回る高い評価を得た。この授業形態は後期の「情報処理工学Ⅱ」や同2部「電子計算機Ⅱ」でも試行して成功を収めており、今後もさらに改善を図っていく予定である。 (平成15年4月1日～)
授業支援システムの活用		2003年 9月 1日 ～現在に至る	経営工学科内田教授が構築された授業支援システムを、後期担当科目「プログラミング演習」の毎回出席管理に活用している。また、一般教室向けに新たに開発された暗号カード式の出席管理システムを、後期科目「情報処理工学Ⅱ」でも試行的に実施した。今後もできるだけ電子的支援システムの活用を図っていく。 (平成15年9月1日～)
学科ヘルプデスクの開設		2006年 4月 1日 ～現在に至る	学修上の悩み等を抱える学生向けに、誰でも気軽に相談できる常設の窓口として、ヘルプデスクの開設を学科に提案し採用された。学期中の毎週金曜昼休みに、学生の休憩スペースである23号館1階ホールに滞在し、学生の相談に乗っている。現在のところ、年に平均して50名前後の相談がある。

成績優秀学生の活性化	2006年10月 1日 ～現在に至る	2006年度のカリキュラム改定により、学力未熟者／学業不振者に対する支援策は充実して来たが、逆に成績優秀者の学修意欲を伸ばし向上心を高める仕組みが不十分であった。そこで、3年次卒業研究配属の際に選出される成績優秀者の活性化策を学科に提案し採用された。具体的には、優秀者の連絡網（メーリングリスト）を作成し、自己学習・啓発や将来進路に関わる情報を流す他、年3回程度、「意識の高い学生向け」の特別セミナーを開催し、当学科OBの協力を得て学外から社会人講師を招いて、講演を頂いたり、学生との懇親・交流を深めている。
総合工学自習塾の開設	2013年 4月 1日 ～現在に至る	総合工学学生の自主的な勉学の場として、学期中の毎週水曜5・6時限に1教室を学生に開放している。総合工学担当教員が適宜巡回する他、各学科の上位年次生・院生をアルバイトとして配置し、総合工学学生からの勉学や履修相談に応じている。
2 作成した教科書、教材		
「学科案内」の改訂・充実	2006年 4月 1日 ～現在に至る	従来から学生に配布していた学科・カリキュラム紹介の小冊子「学科案内」を、2006年度のカリキュラム改定に際して大幅に改訂した。本冊子は学科所属の全学生に毎年配布しているが、特に新生の最初の学修ガイダンスで大学での学修の進め方や将来進路の決め方等がよく理解できるように、それらに関する記述を大幅に新設した。その後も毎年、改訂・補強に努めている。
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
平成18年度優秀講義賞	2006年10月11日 ～現在に至る	
2014年度神奈川大学教育貢献表彰・ベストティーチャー賞	2014年 4月 ～2015年 3月	
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
なし		
5 その他		
学科教育プログラム検討委員会における活動	2003年 4月 1日 ～現在に至る	学科カリキュラム次期改訂を目指した委員会に参加し、情報系教育の改革案の企画・意見とりまとめ、特別講義Ⅰ・ⅡおよびFOCも含めた導入教育のあり方と改善提案、コース制廃止に伴う専門科目の履修選択法の検討、等を行った。現在は学科再編計画の進行との整合について検討を進めている。（平成15年4月1日～） 2006年度より学科名称を「電子情報フロンティア学科」に変更した。この改称に伴う様々な教育プログラムの改善の検討を行った。改称後もさらに引き続き、改善の検討を進めている。

総合工学プログラム教育委員		2013年 4月 1日 ～現在に至る	学科横断的な教育プログラムとして2012年度より開設された総合工学プログラムにおいて、学修カリキュラムや学生の学修相談など、様々な教育関連事項を中心的に担務している。		
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
なし					
その他					
オリジナルオントロジーを用いた民具のデータベース化	共著	2010年11月	人工知能学会第36回ことば工学研究会資料 SIG-LSE-B002	佐藤俊輔, 鈴木一弘, 木下宏揚, 松澤和光	pp121-126頁
福祉情報工学へのアプローチ その2: 方式評価の枠組み	共著	2010年11月	人工知能学会第36回ことば工学研究会資料 SIG-LSE-B002	立石 昂, 天沼 博, 松澤和光	pp89-95頁
諺を用いたニュース見出し生成法	共著	2010年11月	人工知能学会第36回ことば工学研究会資料 SIG-LSE-B002	海老澤弘明, 天沼 博, 松澤和光	pp13-15頁
松澤研究室におけることば工学へのとりくみ～その3	単著	2011年 8月	人工知能学会第38回ことば工学研究会資料 SIG-LSE-C001		p49頁
「なぞかけ」を用いた商品アイデア発想支援法	共著	2011年 9月	第10回科学技術フォーラムFIT2011 E-050	青木研人, 天沼 博, 松澤和光	
オントロジーを用いた民具研究者支援システム	共著	2011年 9月	第10回科学技術フォーラムFIT2011 E-008	佐藤俊輔, 木下宏揚, 松澤和光	
ニュース記事を替え歌化するシステムの提案	共著	2011年 9月	第10回科学技術フォーラムFIT2011 E-027	古田和也, 天沼 博, 松澤和光	

名詞と動詞の共起に着目した状況認識	共著	2011年 9月	第10回科学技術フォーラムFIT2011 E-007	野呂翔一, 天沼 博, 松澤和光	
見出し生成における諺の意味とリズムの利用	共著	2011年 9月	第10回科学技術フォーラムFIT2011 E-026	海老澤弘明, 天沼 博, 松澤和光	
ことばが結ぶもの	単著	2011年10月	日本知能情報ファジィ学会誌 23(5)		663頁
ニュース記事を歌詞化するシステムの提案	共著	2012年 3月	人工知能学会第40回ことば工学研究会資料 SIG-LSE-C003	古田和也, 天沼 博, 松澤和光	pp19-22頁
ことばのひびき ~言語処理の音韻的側面	単著	2012年 7月	非文字資料研究 (28)		pp22-23頁
ことばコンテンツの工学的取扱い ~松澤研究室における研究テーマ紹介~	単著	2012年 9月	人工知能学会第41回ことば工学研究会資料 SIG-LSE-B201		pp39-42頁
大学生のコミュニケーション力向上に関するゲーム理論的考察	共著	2012年 9月	人工知能学会第41回ことば工学研究会資料 SIG-LSE-B201	加賀義隆, 松澤和光	pp43-47頁
文章間の類似度計算システム	共著	2013年 3月	情報処理学会第75回全国大会 4D-3	生沼貴大, 天沼 博, 松澤和光	
音韻類似による書き言葉修正システム	共著	2013年 3月	情報処理学会第75回全国大会 4D-4	渡辺 剛, 天沼 博, 松澤和光	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
1974年 4月~現在に至る		電子情報通信学会(国内学会)会員			
1987年 4月~現在に至る		情報処理学会(国内学会)会員			
1989年 4月~現在に至る		日本ファジィ学会(国内学会)会員			
1993年 4月~現在に至る		人工知能学会(国内学会)会員			
1997年 1月~現在に至る		言語処理学会(国内学会)会員			
2005年 4月~現在に至る		個人研究 ことば工学			
2005年 4月~現在に至る		個人研究 コミュニケーション工学			

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)
工学部電気電子情報工学科	特別助教	陳 春平	
I 教育活動			
教育実践上の主な業績	年 月 日	概 要	
1 教育方法の実践例			
分かりやすさと効率を追求した授業の実践と問題点の改善	2012年 4月 ～現在に至る	<p>I. 授業の効率を高める（メモする内容を最大限に減らして、記憶すべき内容を口頭（解説）や、文字で明確に指示する）ために、アニメーションを含めたパワーポイントを用いて授業を進めると共に、一部の記憶すべき内容のみ削除した「穴埋めノート」を作成し、学生に配布した。</p> <p>II. 「明快で、わかりやすい授業」と「丁寧な授業」を心掛け、学生の基礎学力不足などの問題点にたいして、知識を普通授業より更に丁寧に分かりやすく教え、質問などにより学生の理解度を随時確認し、授業の進度・ペースを調整する。</p> <p>III. 学生の講義内容に関する勉学のモチベーションを向上させるために、今勉強している内容がどのような製品に活用され、役立っているかという具体的な事例を示し、最新技術動向を交えながら、きっかけを常に考えている。また、関連する資格試験の例題なども演習に導入している。</p> <p>IV. 質問・オフィス時間を設け、病気などの特別の理由で欠席した学生や、基礎力が不足の学生に対して、授業時間外の指導も実施している。特に、クラスにいる留学生に対して、特別指導（理解しにくい知識点においては、外国語で説明するなど）を実施して、良い効果が得られている。</p>	
2 作成した教科書、教材			
なし			
3 教育上の能力に関する大学等の評価			
2012年度後期授業評価アンケート結果	2012年 9月 ～2013年 3月	<p>（授業科目：回路設計のスキルI）学生による授業評価アンケートにおいて、「この授業を履修してよかったと思う」学生は65%以上であった。評価点数は4.2で、工学科の平均点数より、上回っている。「授業の到達目標が明確な提示」に関しまして、凡そ80%受講者が「はい」及び「ほぼはい」との評価を得た。</p>	

2014年度グッドティーチャー賞受賞	2014年 9月26日	常に教育方法を工夫し継続的に教育内容の改善に努め意欲的に教育に取り組まれるなど大学の教育化駆動についての貢献が評価された。			
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
現代 電子情報通信選書「知識の森」ーマイクロ波伝送・回路デバイスー (執筆分:1章 伝送線路理論と伝送モード・1-2 散乱行列 (Sパラメータ) とその性質, 1-3 スミス図表, 1-4 電磁波伝送モード)	共著	2013年 2月	(オーム社, 2013 年02月) , 2013 年02 月	穴田哲夫, 陳 春平	
現代 電子情報通信選書「知識の森」ーマイクロ波伝送・回路デバイスー (執筆分:4章 受動回路素子・4-3 フィルタ・4-3-4 UWBフィルタ), オーム社, 2013 年02 月	共著	2013年 2月	(オーム社) , 2013 年02 月	陳 春平等	
論文					
Synthesis of compact UWB bandpass filter with improved performances (査読付)	共著	2010年 6月	Microwave and Optical Technology Letters 52(6)	C.-P. CHEN, H. Nihei, Z. MA and T. ANADA	1268-1271頁

Design of Pseudo-Elliptical Wideband Bandpass Filter Using Stub Loaded Short-Circuited Parallel-Coupled Three-Line Units (査読付)	共著	2010年 7月	IEICE transaction C Vol.E93-C(No. 7)	Chun-Ping CHEN, Junya Takahashi, Zhewang MA and Tetsuo ANADA, et al.	1022-1031頁
High-performance UWB Filter with a Controllable Notched Band (査読付)	共著	2010年 8月	Microwave and Optical Technology Letters, John Wiley Vol. 52(Issue 8)	Chun-Ping Chen, Ryouhei IINUMA, Zhewang Ma and Tetsuo Anada	1842-1846頁
Broadband Determination of Complex Permittivity and Permeability of High-loss Materials (査読付)	共著	2010年 9月	EMC Europe 2010 9th International Symposium on EMC joint with 20th International Wroclaw Symposium on EMC pp. 221-224, September 13 -17, 2010, Wroclaw, Poland.	Chun-Ping Chen, Tetsuo Anada, Deming Xu, Zhewang Ma, C. Christopoulos	
Simplified Computation of Photonic Crystal Multimode Interference Devices Using TD-Beam-Propagation Method (査読付)	共著	2010年10月	Proc. 39th European Micro. Conf. pp.*-*, Sept. 2010.	Junya TAKAHASHI, Chun-Ping CHEN, Ryouhei IINUMA, Tetsuo ANADA, Zhewang MA and C. CHRISTOPOULOS	

Simplified Computation of Photonic Crystal Multimode Interference Devices Using TD-Beam-Propagation Method (査読付)	共著	2010年10月	Proc. 39th European Micro. Conf., pp.1417-1420, Sept. 2010.	Y. TAKAKURA, H. NIHEI, C.-P. CHEN, et al.	
Design of a Wideband Bandpass Filter Using Micro-strip Parallel-Coupled Dual-Mode Ring Resonator (査読付)	共著	2010年12月	Proc. Asia Pacific Microwave Conference 2010 pp. * – *, Dec., 2010.	Zhewang Ma, Hideyuki Sasaki, Chun-Ping Chen, Tetsuo Anada, and Yoshio Kobayashi	
Theoretical Design of High-performance Microstrip Ultra-wideband Bandpass Filter with Controllable Transmission Zeros (査読付)	共著	2011年 2月	IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering Vol.6(No. 1)	Chun-Ping CHEN, Zhewang M, Tetsuo ANADA, Jui-Pang HSU	pp. 27-33頁
Characteristics and design formulas of a microstrip stub-loaded multi-mode ring resonator (査読付)	共著	2011年 4月	Proc. of 2011 China-Japan Joint Microwave Conf., pp.354-357, Hangzhou, China, Apr. 2011.	Z. Ma, M. Ohira, T. Hotaka , C.-P. Chen, T. Anada, and Y. Kobayashi	
Design of UWB Filter with SIRs and Parallel-Coupled Three Lines (査読付)	共著	2011年 4月	Proc. of 2011 China-Japan Joint Microwave Conf. , pp.362-365, Hangzhou, China, Apr. 2011.	C.-P. Chen, J. Takahashi, R. Iinuma, Y. Kamiiji, Z. Ma and T. Anada	

Contactless Electromagnetic Field Mapping System on Planar Circuits in EMC/EMI Investigations (査読付)	共著	2011年 9月	2011 International Symposium on Electromagnetic Compatibility - EMC Europe , pp. 784-789, 26-30 Sept. 2011. (York, UK)	Y. Noda, H. Takamori, Y. Kamiiji, C.P. Chen, T. Anada, D.W.P. Thomas, Christos Christopoulos	
Design of an UWB Bandpass Filter Using a Microstrip Five-mode Step-impedance Resonator, (査読付)	共著	2011年 9月	Progress in Electromagnetics Research Symposium (PIERS 2006) , Sept. 13, 2011. (Suzhou, China)	Zhewang Ma, Akihito Beppu, Chun-Ping Chen, and Tetsuo Anada,	
Study on Error Suppression in Broadband Characterization of Complex EM-Parameters (査読付)	共著	2011年 9月	2011 International Symposium on Electromagnetic Compatibility - EMC Europe , pp. 801-804, 26-30 Sept. 2011. (York, UK)	H. Takamori, C.P. Chen, Y. Kamiiji, T. Anada, D. Xu, Christos Christopoulos	
Novel Synthesis Methodology for Ultra-Wideband Filters Based on Frequency Transformation Technique (査読付)	共著	2011年10月	Proc. 41th European Micro. Conf. , pp. 91-94, 9-14 Oct. 2011, Manchester, UK.	Chun-Ping Chen, Ryouhei Iinuma, Junya Takahashi, Zhewang Ma, Tetsuo Anada, Shigeki Takeda	
Design of a broadband bandpass filter using microstrip stubs-loaded three-mode resonator (査読付)	共著	2011年12月	Proc. of Asia-Pacific Microwave Conf. 2011 pp.139-142, Melbourne, Australia, Dec. 2011.	Z. Ma, T. Kimura, M. Ohira, C.-P. Chen, and T. Anada,	

Numerical study on transmission characteristics of photonic crystal waveguides for submillimeter and terahertz frequency applications (査読付)	共著	2011年12月	Proc. of Asia-Pacific Microwave Conf. 2011 pp.1722-1725, Melbourne, Australia, Dec. 2011.	Y. Kamiiji, C.-P. Chen, T. Anada and Z. Ma	
Theoretical design of wideband filters with attenuation poles using improved parallel-coupled three-line units (査読付)	共著	2012年 6月	2012 IEEE MTT-S Dig., Digital Object Identifier: 10.1109/MWSYM.2012.6258424, Page(s): 1-2 June 2012.	Chun-Ping Chen, Junya Oda, Tetsuo Anada, Zhewang Ma, Shigeki Takeda,	
Theoretical Design of High-performance Ultra-wideband Bandpass Filters Using Microstrip Line	単著	2012年 8月	, TJMW2012 (Thailand-Japan MicroWave) Microwave Theory and Techniques Tutorial MW-3, pp.87-104, Bangkok, Thailand, Aug. 2012. (チュートリアル講演)		
A novel compact high-performance microstrip 26GHz ultra-wideband (UWB) bandpass filter for vehicle radar systems (査読付)	共著	2012年 9月	IEEE MTT-S Int. Microw. Workshop Series on Millimeter Wave Wireless Tech. and Applications (IMWS2012), Nanjing, China, Sep. 2012.	Z. Ma, M. Ohira, C.-P. Chen, and T. Anada	

A Novel Bandpass Filter Using Higher-Order Degenerate Modes of Planar Photonic Crystal Microcavity in Terahertz Regime	共著	2012年11月	Proc. 42th European Micro. Conf. , pp. 1186 – 1189, 28 Oct.-2 Nov., 2012, Amsterdam, The Netherlands.	C.-P. Chen , Y. Kamiiji , J. Oda, N. Nagaoka, T. Anada, S. Takeda,	
A Novel Photonic Crystal Bandpass Filter Using Degenerate Modes of Point-Defect Microcavity for Terahertz Communication System (査読付)	共著	2012年12月	Proc. Asia Pacific Microwave Conference 2012 , pp. 583-585, Dec.4-7, 2012. (Session 3B3-12)	Y. Kamiiji, N. Nagaoka, C.-P Chen, T. Anada and H., J.-P.,	
Theoretical/Synthesis Design of Compact UWB Bandpass Filters with Very Sharp Roll-off Characteristics (査読付)	共著	2012年12月	Proc. Asia Pacific Microwave Conference 2013 , pp. 112 – 114, Dec.4-7, 2012. (Session 2C2-03)	C.-P. Chen, J. Oda, Y. Kamiiji, T. Anada, Z. Ma	
開放端同軸プローブによるスカラー反射係数に基づいた複素誘電率及び複素透磁率の非破壊同時測定法 (査読付)	共著	2013年 6月	電子情報通信学会論文誌 C Vol. J96-C(No. 6)	陳 春平, 徐 得名, 穴田 哲夫 ,	pp. 131-139頁
Realization of UWB Filter with SIRs and Parallel-Coupled Three Lines by Synthesis Method (査読付)	共著	2013年 8月	Microwave and Optical Technology Letters, John Wiley Vol. 55(Issue 11)	Chun-Ping Chen, Tetsuo Anada and Zhewang Ma,	2689-2692頁

An Iterative Synthesis Scheme for Wideband Filter Based on Parallel-Coupled Three-line Including the Cross-Coupling Between Non-Adjacent Lines	共著	2013年10月	Proc. 43th European Micro. Conf. , pp. 889-892, October 6-11, Germany, 2013. (Session EuMC48) (Nürnberg Convention Center, Nuremberg)	C.-P. CHEN, J. ODA, K. KAMATA, W. IMASHIRO, T. ANADA and S. TAKEDA	
Numerical Study on Upper-Millimeter Wave to Terahertz Devices using PBG Waveguiding Structure (査読付)	共著	2013年10月	Proc. 43th European Micro. Conf., pp. 1047-1050, October 6-11, Germany, 2013. (Session EuMC56) (Nürnberg Convention Center, Nuremberg)	Katsuhiko Kamata, Takemasa Kato, C.-P. Chen, T. Anada, Shigeki Takeda	
Synthesis of Optimum UWB Filters Composed of One-Wavelength Parallel-Coupled SIRs and Shunt Short-Circuited Stubs (査読付)	共著	2013年10月	IEICE transaction C Vol. E96-C(No. 10)	Chun-Ping CHEN, Junya ODA and Tetsuo ANADA,	1745-1353頁
Design of Wideband Filters With High Skirt-Selectivity Using Improved Parallel-Coupled Three-line Units (査読付)	共著	2013年11月	Proc. Asia Pacific Microwave Conference 2013 , pp. 957 - 959, Nov. 5-8, 2013. (Coex, Seoul, Korea)	J. ODA, C.-P. CHEN , K. KAMATA, T. KATO, N. KATO, T. ANADA and S. TAKEDA	
[解説] 開放端同軸プローブによる高損失試料/生体の材料定数測定事例 (査読付)	共著	2014年 3月	計測と制御 Vol. 53(No. 3)	陳 春平, 平田 晃正,	pp. 209-214頁

ステップインピーダンス共振器に基いた超広帯域バンドパスフィルタの理論合成と開発	単著	2014年 3月	神奈川大学工学部報告 (52), 46-49, 2014-03.		
A novel photonic crystal band-pass filter using degenerate modes of a point-defect microcavity for terahertz communication systems (査読付)	共著	2014年 4月	Microwave and Optical Technology Letters, John Wiley Volume 56(Issue 4)	Chen Chun-Ping, Tetsuo Anada, Stephen Greedy, Trevor M. Benson and Phillip Sewel	
フォトニック結晶によるテラヘルツ帯デュアルモードバンドパスフィルタの提案 (査読付)	共著	2014年 4月	電子情報通信学会論文誌 C Vol. J97-C(No. 5)	鎌田 克洋 , 加藤 丈政, 小田 純也, 陳 春平, 穴田 哲夫, 許 瑞邦 ,	pp. 186-193頁
先端短絡スタブと平行結合SIR共振器を組み合わせた3段チェビシェフ型広帯域バンドパスフィルタの汎用設計式 (査読付)	共著	2014年 4月	電子情報通信学会論文誌 C Vol. J97-C(No. 4)	小田純矢, 陳春平, 穴田哲夫,	164-167頁
Design of A Wideband Filter With Attenuation Poles Using A Novel Parallel-Coupled Three-line Unit Based on Cross-Coupling (査読付)	共著	2014年 7月	IEICE Trans. Electronics, Vol.E97-C, No. 7, pp.-, Jul. 2014. Vol.E97-C(No. 7)	C.-P. Chen, J. Oda and T. ANADA	pp. 689-696頁
テラヘルツ帯金属フォトニック結晶を用いた電磁波回路の伝送特性 (査読付)	共著	2014年 7月	電子情報通信学会論文誌 C Vol. J97-C(No. 7)	加藤 丈政 , 鎌田 克洋, 加藤 紀樹, 陳 春平, 穴田 哲夫	pp. 290-297頁

A Numerical Study on 2D Photonic Crystal Devices for Millimeter and Terahertz Wave Applications (査読付)	共著	2014年 8月	The 35th Progress in Electromagnetics Research Symposium (PIERS 2014), August 25-28, 2014. (Guangzhou, CHINA)	T. Kato, K. Kamata, C.P. Chen, T. Anada, Steve Greedy, Trevor Benson	
Synthesis of a High-performance Ultra-Wideband Bandpass Filter (査読付)	共著	2014年 8月	Proc. 31st URSI General Assembly and Scientific Symposium, August 16-23, 2014. (Beijing, China)	Chun-Ping Chen, Noriki Kato, Tetsuo Anada and Zhewang Ma	
Improved Modeling of Parallel-Coupled Three-line for Wideband Filters (査読付)	共著	2014年10月	Microwave and Optical Technology Letters, John Wiley 56(10)	Chun-Ping CHEN, Wataru IMASHIRO, Tetsuo ANADA and Zhewang MA	2392-2395頁
Novel Synthesis of Wideband Filter Using, Open-Short-Circuited Stepped Impedance Resonators (査読付)	共著	2014年10月	Proc. 44th European Micro. Conf., pp., October 5-10, Italy, 2014. (Session EuMC28) (Fiera di Roma, Rome, Italy)	Chun-Ping CHEN, Noriki KATO, Takemasa KATO, Katsuhiro KAMATA, Tetsuo ANADA and Shigeki TAKEDA,	
その他					
マイクロストリップスタブ付3モード共振器を用いたUWB帯域通過フィルタの設計	共著	2010年 7月	信学技報 110(1)	木村 徹、馬 哲旺、陳 春平、穴田哲夫、小林禰夫	55-60頁
周波数変換を用いたUWBバンドパスフィルタの合成	共著	2010年 7月	信学技報 110(155)	陳 春平、飯沼亮平、高橋隼也、馬 哲旺、穴田哲夫	123-128頁
マイクロストリップスタブ付3モード共振器を用いたUWB帯域通過フィルタの設計	共著	2010年 9月	信学技報 vol. 110 -1(pp. 55-60, 2010年9月)	木村 徹、馬 哲旺、陳 春平、穴田哲夫、小林禰夫	

チェビシェフ特性を持つパラレル結合共振器フィルタの新しい設計方法	共著	2011年 3月	2011年電子情報通信学会総合大会講演論文集, エレクトロニクス C-2-111, p. 149, 2011年3月.	杉本卓也, 馬 哲旺 ^{埼玉大} , 陳春平, 穴田哲夫 ^{神奈川大} , 小林禱夫 ^{埼玉大}	
マイクロストリップスタブ付きリング共振器の特性および設計公式	共著	2011年 3月	2011年電子情報通信学会総合大会講演論文集, エレクトロニクス C-2-103, p. 141, 2011年3月.	保高拓哉, 馬 哲旺 ^{埼玉大} , 陳春平, 穴田哲夫 ^{神奈川大} , 小林禱夫 ^{埼玉大}	
中心線路に先端短絡スタブを装荷した三線路広帯域フィルタの検討	共著	2011年 3月	2011年電子情報通信学会総合大会講演論文集, エレクトロニクス C-2-112, p. 150, 2011年3月.	飯沼亮平, 高橋隼也, 陳 春平 ^{神奈川大} , 馬 哲旺 ^{埼玉大} , 穴田哲夫 ^{神奈川大}	
共振器並列結合形等価回路を用いたスタブ付3モード共振器UWB帯域通過フィルタの設計	共著	2011年 3月	2011年電子情報通信学会総合大会講演論文集, エレクトロニクス C-2-116, p. 154, 2011年3月.	木村 徹, 馬 哲旺 ^{埼玉大} , 陳 春平, 穴田哲夫 ^{神奈川大} , 小林禱夫 ^{埼玉大}	
減衰極を有する多段平行結合3線路を用いた広帯BPFの設計	共著	2011年 3月	2011年電子情報通信学会総合大会講演論文集, エレクトロニクス C-2-110, P. 148, 2011年3月.	高橋隼也, 飯沼亮平, 陳 春平 ^{神奈川大} , 馬 哲旺 ^{埼玉大} , 穴田哲夫 ^{神奈川大}	
[特別講演] 2010年ヨーロッパマイクロ波会議出席報告	共著	2011年 3月	信学技報 vol. 110(no. 447, MW2010-163, pp. 63-71, 2011年3月.)	内田浩光 ^{三菱電機} , 道下尚文 ^{防衛大} , 陳 春平 ^{神奈川大} , 大久保賢祐 ^{岡山県立大} , 松本公志 ^{古野電気} , 舟橋祐紀 ^{東芝} , 津留正臣 ^{三菱電機}	
杉本卓也, 馬 哲旺, 大平昌敬 (埼玉大), 陳 春平, 穴田哲夫 (神奈川大)	共著	2011年 5月	信学技報 vol. 111(no. 66, EST2011-9, pp. 39-44, 2011年5月.)	パラレル結合伝送線路共振器フィルタの新しい設計方法	

ステップインピーダンス共振器と平行結合三線路を用いたUWBバンドパスフィルタの設計	共著	2011年 7月	信学技報 vol. 111(no. 149, EST2011-58, pp. 189-194, 2011年7月.)	陳 春平, 高橋隼也, 飯沼亮平, 上地洋輔神奈川大, 馬 哲旺 埼玉大, 穴田哲夫神奈川大	
THz帯2次元フォトニック結晶による直角ベンダの伝搬特性	共著	2011年 9月	2011年電気学会電子・情報・システム部門大会講演論文集 PS5-3, p. 1627-1628, 2011年9月.	上地洋輔, 陳 春平, 穴田哲夫 神奈川大学, 馬 哲旺埼玉大学	
THz帯における平行平板2Dフォトニック結晶導波路の一検討、2011年電子情報通信学会ソサエティ大会講演論文集, 通信講演論文集1	共著	2011年 9月	C-15-1, p. 268, 2011 年9月.	上地洋輔, 陳 春平, 穴田哲夫 神奈川大, 馬 哲旺埼玉大	
先端開放形同軸プローブに基づいた複素電磁パラメータの測定における誤差の抑圧	共著	2011年 9月	2011年電子情報通信学会ソサエティ大会講演論文集, 通信講演論文集1 B-4-6, p. 319, 2011年 9月.	高森大輝, 野田祐矢, 上地洋輔, 陳 春平, 穴田哲夫神奈川大, 馬 哲旺埼玉大	
同軸プローブに基づいた複素電磁パラメータの測定	共著	2011年 9月	2011年電気学会電子・情報・システム部門大会講演論文集 PS6-11, p. 1663-1664, 2011年9月.	高森大輝, 野田祐矢, 上地洋輔, 陳 春平, 穴田哲夫神奈川大 学, 馬 哲旺埼玉大学	
減衰極を有する平行結合三線路に基づいた広帯域フィルタの設計	共著	2011年 9月	2011年電子情報通信学会ソサエティ大会講演論文集, エレクトロニクス C-15-2, p. 269	飯沼亮平, 陳 春平, 高橋隼也, 穴田哲夫神奈川大, 馬 哲旺 埼玉大	
超広帯域・超高感度電磁界測定システムの開発	共著	2011年 9月	2011年電気学会電子・情報・システム部門大会講演論文集 PS6-11, p. 1665-1666, 2011年9月.	野田祐矢, 高森大輝, 上地洋輔, 陳 春平, 穴田哲夫神奈川大 学, 馬 哲旺埼玉大学	

高感度・広帯域電磁界測定システムの構築, 2011年電子情報通信学会ソサエティ大会講演論文集, 通信講演論文集1	共著	2011年 9月	B-4-7, p. 320, 2011年9月.	野田祐矢, 高森大輝, 上地洋輔, 陳 春平, 穴田哲夫神奈川大, 馬 哲旺埼玉大	
平行結合三線路ユニットを用いた減衰極を有する広帯域フィルタの理論設計	共著	2011年10月	信学技報, vol. 111, no. 224, EST2011-82, pp. 95-100, 2011年10月.	陳 春平, 飯沼亮平, 高橋隼也, 穴田哲夫神奈川大, 馬 哲旺埼玉大	
テラヘルツ波フォトニック結晶共振器を用いた平面交差回路, 2012年電子情報通信学会総合大会講演論文集, エレクトロニクス	共著	2012年 3月	C-2-73, p. 114, 2012年3月.	上地洋輔神奈川大, 永岡直樹且東電工, 陳 春平, 穴田哲夫神奈川大, 武田重喜アンテナ技研	
パラレル結合半波長共振器BPFの新しい設計法に関する検討	共著	2012年 3月	2012年電子情報通信学会総合大会講演論文集, エレクトロニクス C-2-41, p. 82, 2012年3月.	杉本卓也, 馬 哲旺, 大平昌敬埼玉大, 小林禰夫サムテック, 陳 春平, 穴田哲夫神奈川大	
減衰極を有する超広帯域バンドパスフィルタの理論設計	共著	2012年 3月	2012年電子情報通信学会総合大会講演論文集, エレクトロニクス C-15-1, p. 308, 2012年3月.	陳 春平, 小田純矢, 穴田哲夫神奈川大, 馬 哲旺埼玉大	
[特別講演] 2011年ヨーロッパマイクロ波会議出席報告	共著	2012年 3月	信学技報 vol. 111(no. 458, MW2011-177, pp. 53-60, 2012年3月)	堀井康史関西大, 廣田明道三菱電機, 陳 春平神奈川大, 河合邦浩NTTドコモ, 山中宏治三菱電機, ポカレル ラメシユ九大,	
同軸プローブに基づいた複素電磁パラメータの測定に関する一検討	共著	2012年 6月	信学技報, vol. 112, no. 74, EST2012-1, pp. 1-6, 2012年6月	陳 春平, 高森大輝, 小田純矢, 穴田哲夫, 馬 哲旺	

THz帯2Dフォトニック結晶マイクロキャビティの縮退モードとその応用	共著	2012年 7月	信学技報 vol. 112(no. 157, EST2012-37, pp. 173-178, 2012年7月)	上地洋輔, 永岡直樹, 陳 春平, 穴田哲夫, 許 瑞邦, 武田重喜,	
減衰極を有するUWBバンドパスフィルタの理論設計	共著	2012年 7月	信学技報 vol. 112(no. 157, EST2012-38, pp. 179-184, 2012年7月)	陳 春平, 小田純矢, 上地洋輔, 穴田哲夫, 馬 哲旺	
Theoretical Design of High-performance Ultra-wideband Bandpass Filters Using Microstrip Line	単独	2012年 8月	, TJMW2012 (Thailand-Japan MicroWave) Microwave Theory and Techniques Tutorial MW-3, pp. 87-104, Bangkok, Thailand, Aug. 2012. (チュートリアル講演) (Bangkok, Thailand)		
2 D PhC点欠陥共振器の2重縮退モードによるBPFの提案	共著	2012年 9月	2012年電子情報通信学会ソサエティ大会講演論文集, エレクトロニクス講演論文集1 C-2-59, p. 85, 2012年9月.	上地洋輔, 小田純矢, 陳 春平, 穴田哲夫神奈川大, 武田重喜 アンテナ技研	
急峻なバンドエッジ特性を持つ広帯域フィルタの理論設計	共著	2012年 9月	2012年電子情報通信学会ソサエティ大会講演論文集, エレクトロニクス講演論文集1 C-15-1, p. 255, 2012年9月.	小田純矢, 陳 春平, 上地洋介, 穴田哲夫神奈川大, 馬 哲旺 埼玉大	
複素伝送零点を有するはしご型回路の合成法, 2012年電子情報通信学会ソサエティ大会講演論文集, エレクトロニクス講演論文集1	共著	2012年 9月	C-2-62, p. 88, 2012年9月.	武田重喜, 一瀬裕弥, 穴田哲夫, 陳 春平	

タブ結合マイクロストリップスタブ付きリング共振器の解析およびその特性に関する再検討	共著	2012年10月	信学技報 vol. 112(no. 257, EST2012-64, pp. 99-104, 2012年10月)	保高拓哉, 馬 哲旺, 大平昌敬, 陳 春平, 穴田哲夫	
[特別講演] 2012年 IEEE MTT-S国際マイクロ波シンポジウム出席報告	共著	2012年11月	信学技報, vol. 112, no. 312, MW2012-116, pp. 13-22, 2012年11月.	清水隆志, 大平昌敬, 岡崎浩司, 陳 春平, 檜橋祥一, ポカレル ラメシュ, 山中宏治	
高性能超広帯域(UWB)フィルタのモデリングと理論設計		2012年12月	2012 Microwave Workshops and Exhibition (MWE 2012) Nov. 28-30, 2012. (横浜)		
小型マイクロストリップ低域通過フィルタと高域通過フィルタを組み合わせた有極形帯域通過フィルタの設計	共著	2013年 1月	信学技報 vol. 112(no. 401, EST2012-77, pp. 65-72, 2013年1月.)	秋元亮祐, 馬 哲旺, 大平昌敬 埼玉大, 陳 春平, 穴田哲夫 神奈川大	
2重クロスカプリングによる任意の複素伝送零点の実現	共著	2013年 3月	2013年電子情報通信学会 総合大会講演論文集, エレクトロニクス C-2-66, p. 97, 2013年 3月.	武田重喜, 一瀬裕弥, 穴田哲夫, 陳 春平	
テラヘルツ帯における金属フォトニック結晶共振器の共振モード	共著	2013年 3月	2013年電子情報通信学会 総合大会講演論文集, エレクトロニクス C-2-111, p. 142, 2013 年3月.	鎌田克洋, 加藤丈政, 上地洋輔, 陳 春平, 穴田哲夫, 武田重 喜	
デュアルモードリング共振器及び半波長共振器を組み合わせた準ミリ波帯の超広帯域帯域通過フィルタの設計	共著	2013年 3月	信学技報, vol. 112, no. 459, MW2012-163, pp. 27-32, 2013年3月.	王 媛媛, 馬 哲旺, 大平昌敬 (埼玉大), 陳 春平, 穴田哲 夫 (神奈川大)	

多段平行三線路を用いたUWBバンドパスフィルタの理論合成	共著	2013年 3月	2013年電子情報通信学会総合大会講演論文集, エレクトロニクス C-15-20, p. 319, 2013年3月.	小田純矢, 陳 春平, 上地洋介, 穴田哲夫, 馬 哲旺	
[特別講演] 2012年ヨーロッパマイクロ波会議出席報告	共著	2013年 3月	信学技報 vol. 112(no. 459, MW2012-181, pp. 121-128, 2013年3月.)	河合邦浩NTTドコモ, 本城和彦電通大, ボカレル ラメシュ九大, 黒木太司呉高専, 陳 春平神奈川大, 鴨田浩和ATR,	
PhC によるTHz 帯小型デュアルモードバンドパスフィルタの提案	共著	2013年 4月	電子情報通信学会 OPE2013 年4 月期研究会, 2013 年4 月	鎌田克洋, 加藤丈政, 小田純也, 陳春平, 穴田哲夫	
加藤丈政, 鎌田克洋, 小田純矢, 陳 春平, 穴田哲夫	共著	2013年 5月	信学技報, vol. 113, no. 26, EST2013-8, pp. 39-44, 2013年5月.	テラヘルツ帯金属フォトリソニック結晶共振器の2重縮退モードを用いた狭帯域バンドパスフィルタの検討	
多段平行三線路ユニットを用いたUWBバンドパスフィルタの理論合成	共著	2013年 7月	信学技報 vol. 113(no. 143, EST2013-15, pp. 33-38, 2013年7月.)	小田純矢, 陳 春平, 鎌田克洋, 加藤丈政, 穴田哲夫, 馬 哲旺	
SIW型デュアルモード共振器によるバンドパスフィルタ	共著	2013年 9月	2013年電子情報通信学会ソサイエティ大会講演論文集, エレクトロニクス C-2-56, p. 81, 2013年9月19日.	陳 春平, 小田純矢, 穴田哲夫	
SIW型デュアルモード共振器によるバンドパスフィルタ	共著	2013年 9月	2013年電子情報通信学会ソサイエティ大会講演論文集, エレクトロニクス C-2-56, p. 81, 2013年9月19日.	加藤丈政, 鎌田克洋, 小田純也, 陳 春平, 穴田哲夫, 馬 哲旺	
THz帯におけるPhCスラブを用いた点欠陥共振器の設計	共著	2013年 9月	2013年電子情報通信学会ソサイエティ大会講演論文集, エレクトロニクス講演論文集1 C-2-80, p. 105, 2013年9月.	鎌田克洋, 加藤丈政, 小田純矢, 陳 春平, 穴田哲夫	

テラヘルツ帯におけるPhC結晶T字型スイッチの一検討	共著	2013年 9月	2013年電子情報通信学会ソサイエティ大会講演論文集, エレクトロニクス講演論文集1 C-2-79, p.104, 2013年9月.	穴田哲夫, 鎌田克洋, 加藤丈政, 小田純矢, 陳 春平	
マイクロストリップ低域通過フィルタと高域通過フィルタの組み合わせによる広帯域BPFの設計	共著	2013年 9月	2013年電子情報通信学会ソサイエティ大会講演論文集, エレクトロニクスC-2-59, p. 84, 2013年9月19日.	秋元亮祐, 馬 哲旺, 大平昌敬, 陳 春平, 穴田哲夫	
先端短絡スタブとSIRを組み合わせた多段広帯域BPFの一般的なモデリングとシミュレーション	共著	2013年 9月	2013年電子情報通信学会ソサイエティ大会講演論文集, エレクトロニクス講演論文集1 CS-3-5, pp. s-19-s-20, 2013年9月.	陳 春平, 小田純矢, 加藤丈政, 鎌田克洋, 穴田哲夫, 馬 哲旺	
(依頼講演) マイクロ波回路設計に於けるシミュレーションとインハウスソフトウェア, 2013年電子情報通信学会ソサイエティ大会講演論文集, エレクトロニクス講演論文集1	共著	2013年 9月	CS-3-4, p. s-17-s-18, 2013年9月.	武田重喜, 一瀬裕弥, 穴田哲夫, 陳 春平	
(依頼講演) マイクロ波回路設計に於けるシミュレーションとインハウスソフトウェア	共同	2013年 9月	2013年電子情報通信学会ソサイエティ大会(9月18日発表 福岡工業大学 A棟 2階 A28))		
電波吸収体の複素電磁パラメータのin-situ測定に関する一検討	共著	2013年10月	信学技報, vol. 113, no. 261, EST2013-57, pp. 31-34, 2013年10月	小田純矢, 陳 春平, 鎌田克洋, 加藤丈政, 穴田哲夫	

先端短絡スタブと平行結合SIR共振器を組み合わせたチェビシェフ型高帯域バンドパスフィルタの汎用設計式	共著	2013年12月	信学技報, vol. 113, no. 365, MW2013-153, pp. 13-18, 2013年12月	小田 純矢, 陳 春平, 穴田 哲夫	
飛び越し結合を考慮した平行結合3線路を用いた広帯域フィルタの理論合成	共著	2014年 1月	信学技報, vol. 113, no. 396, EST2013-86, pp. 17-22, 2014年1月	陳 春平, 小田 純矢, 加藤 丈政, 鎌田克洋, 加藤紀樹, 穴田 哲夫	
1/12波長ステップインピーダンス共振器に基いた広帯域BPFの理論設計	共著	2014年 4月	2014年電子情報通信学会総合大会講演論文集, エレクトロニクス C-15-10, p. 303, 2014年4月	陳 春平, 加藤紀樹, 小田純矢, 加藤丈政, 鎌田克洋, 穴田哲夫, 武田重喜	
Novel Synthesis of A Wideband Filter Using Open-Short-Circuited Stepped Impedance Resonators	共著	2014年 4月	信学技報 vol. 114(no. 11, MW2014-3, pp. 11-16, 2014年4月.)	陳 春平, 加藤紀樹, 鎌田克洋, 加藤丈政, 穴田哲夫	
テラヘルツ帯フォトニック結晶によるバンドパスフィルタ	共著	2014年 4月	2014年電子情報通信学会総合大会講演論文集, エレクトロニクス C-2-85, p. 115, 2014年4月	鎌田克洋, 加藤丈政, 陳 春平, 穴田哲夫, 武田重喜	
フォスタ型回路と結合トランスについて	共著	2014年 4月	2014年電子情報通信学会総合大会講演論文集, エレクトロニクス C-2-73, p. 103, 2014年4月.	武田重喜, 一瀬裕弥, 穴田哲夫, 陳 春平	
短ミリ波帯金属フォトニック結晶によるT字型電力分配回路	共著	2014年 4月	2014年電子情報通信学会総合大会講演論文集, エレクトロニクス C-2-100, p. 130, 2014年4月	加藤丈政, 鎌田克洋, 陳 春平, 穴田哲夫, 武田重喜,	

5段チェビシェフ型平行結合半波長共振器フィルタの新合成法	共著	2014年 5月	信学技報 vol. 114(no. 69, EST2014-1, pp. 1-6, 2014年5月)	陳 春平, 加藤紀樹, 加藤丈政, 鎌田克洋, 穴田哲夫	
2次元フォトニック結晶T字型分岐回路のシミュレーションと電磁波伝搬の制御	共著	2014年 7月	信学技報, vol. 114, no. 143, EST2014-37, pp. 169-174, 2014年7月 vol. 114(no. 143)	加藤丈政, 鎌田克洋, 加藤紀樹, 陳 春平, 穴田哲夫, 武田重喜	169-174頁
テラヘルツ帯2次元フォトニック結晶共振器とその応用		2014年 9月	信学技報, vol. 114, no. 215, EST2014-55, pp. 57-62, 2014年9月. vol. 114(no. 215)	鎌田克洋, 加藤丈政, 加藤紀樹, 陳 春平, 穴田哲夫, 武田重喜	57-62頁
ステップインピーダンス共振器と先端開放スタブを組み合わせた広帯域デュアルバンドBPFの設計	共著	2014年10月	信学技報, vol. 114, no. 267, MW2014-111, pp. 73-78, 2014年10月. vol. 114(no. 267)	加藤紀樹, 陳 春平, 加藤丈政, 鎌田克洋, 穴田哲夫, 馬 哲旺	73-78頁
デュアルモードSIW共振器を用いた減衰極を有する準ミリ波帯域通過フィルタに関する一検討	共著	2014年12月	信学技報, vol. 114, no. 376, MW2014-170, pp. 119-124, 2014年12月. vol. 114(no. 376)	加藤丈政, 鎌田克洋, 加藤紀樹, 陳 春平, 穴田哲夫 (神奈川大), 馬 哲旺 (埼玉大)	119-124頁
マイクロストリップステップインピーダンススタブ共振器を用いたデュアルバンド帯域通過フィルタの設計	共著	2014年12月	信学技報, vol. 114, no. 376, MW2014-160, pp. 65-70, 2014年12月. vol. 114(no. 376)	兔原直也, 馬 哲旺, 大平昌敬 (埼玉大), 陳 春平, 穴田哲夫 (神奈川大)	65-70頁
終端短絡スタブを用いた広帯域通過フィルタの設計に関する研究	共著	2014年12月	信学技報, vol. 114, no. 376, MW2014-171, pp. 125-131, 2014年12月. vol. 114(no. 376)	濱野竜飛, 馬 哲旺, 大平昌敬 (埼玉大), 陳 春平, 穴田哲夫 (神奈川大)	125-131頁
同軸プローブ変化法に基づいた電波吸収体の複素誘電率と複素透磁率の同時測定法の不確かさの推定	共著	2015年 1月	信学技報, vol. 114, no. 433, EST2014-129, pp. 315-320, 2015年1月. vol. 114(no. 433)	陳 春平, 加藤紀樹, 加藤丈政, 鎌田克洋, 穴田哲夫	315-320頁

Ⅲ 学会等および社会における主な活動	
年月	内容
2005年 4月～現在に至る	電子情報通信学会(国内学会)会員
2006年 4月～現在に至る	個人研究 EMC高周波材料の複素誘電率と透磁率の測定
2006年 7月～現在に至る	個人研究 フィルタの設計、 EMC関連技術、 TH z 関連技術
2008年 5月～現在に至る	IEEE(国際学会)会員
2010年 3月～現在に至る	電気学会(国内学会)会員
2011年 6月 1日～現在に至る	電子情報通信学会・エレクトロニクス専門委員会 専門委員、幹事補佐

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部電気電子情報工学科		職名 特別助手	氏名 宮田 純子		大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
Reducing total call-blocking rates by flow admission control based on equality by heterogeneous traffic	共著	2010年 4月	HTE Infocommunications Journal VOLUME LXV, pp. 27-34	S. Miyata, K. Yamaoka	

Flow-admission control based on equality of heterogeneous traffic (two-type flow model)	共著	2010年12月	IEICE Transactions on Communications Vol. E93B, No. 12, p. 3564-3576	S. Miyata, K. Yamaoka	
Flow admission control in heterogeneous traffic based on user behavior	単著	2012年 3月	博士論文 (東京工業大学)		
Novel Access-Point Selection for User QoS and System Optimization Based on User Cooperative Moving (査読付)	共著	2012年 4月		Sumiko Miyata, Tutomu Murase and Katsunori Yamaoka	
非文字資料を対象としたOntologyデータベースに対するRDFデータベースに対する RDF推論の適用 (査読付)	共著	2013年 3月		Kinoshita Hirotsugu, Kenji Sano, Masato Noto, Kazumitsu Matsuzawa, Sumiko Miyata, Daisuke Komatsu, Kazuhiro Suzuki,	
推移閉包アルゴリズムを用いた covert channel 検出 (査読付)	共著	2013年 4月	電子情報通信学会	Shunki Nakamura, Kazuhiro Suzuki, Tetsuya Morizumi, Sumiko Miyata, Hirotsugu Kinoshita,	
その他					
A basic study of heterogeneous flow admission control based on equality of flow classes	共著	2010年 6月	IEEE CCNC' 2011 (Las Vegas)	M. Kawano, S. Miyata, K. Yamaoka	

A threshold configuration for flow-admission control based on the equality (two-type flow model)	共著	2010年 6月	IEEE CCNC' 2011 (Las Vegas)	S. Miyata, K. Yamaoka	
A basic study of the flow admission control of mixed loss and delay system based on equality of heterogeneous traffic	共著	2010年11月	NETWORKS2011 (Poland)	S. Miyata, K. Yamaoka	
Characteristic analysis of individual call blocking rate and resource utilization by using our mixed delay and loss system	共著	2011年 3月	IEEE CQR' 2011 (Florida)	S. Miyata, K. Yamaoka	
ユーザ協力によりユーザQoSとシステム最適を実現するアクセスポイント選択法の特性解析	共著	2011年 7月	電子除法通信学会IN研究会 (札幌)	宮田順子、村瀬勉、山岡克式	
即時待時混合受付制御の呼種別呼損率と資源効果の改善効果	共著	2011年 9月	電子情報通信学会ソサイエティ大会 (札幌)	宮田順子、山岡克式	
An access-point selection algorithm for user QoS and system optimization based on user cooperative moving	共著	2011年11月	IEEE NoF' 2011 (Paris)	S. Miyata, T. Murase, K. Yamaoka	

Characteristic analysis of an access-point selection for user throughput and system optimization based on user cooperative moving	共著	2012年 1月	IEEE CCNC' 2012 Wireless Consumer Communication and Networking(Las Vegas)	S. Miyata, T. Murase, K. Yamaoka	
A Local Currency System Reecting Variety of Values with a Swarm Intelligence (査読付)	共著	2012年 7月	IEEE COMPSAC2012	Hirotsugu Kinoshita, Yoshiaki Tajima, Tetsuya Morizumi, Masato Noto, Hideyuki Kannabe and Sumiko Miyata	
Relationship between packet loss probability and burst parameters for two types of traffic (査読付)	共著	2012年11月	IEEENoF	Shiro Matsuoka Sumiko Miyata, Katsunori Yamaoka	
Game theoretic analysis of the value exchange system (査読付)	共著	2013年 7月	IEEECOMPSAC 2 0 1 3	Sumiko Miyata, Hirotsugu Kinoshita, Tetsuya Morizumi, Li Chao,	
A model of the value exchange system in the university with the big boss game (査読付)	共著	2013年 8月	ICEC2013	Sumiko Miyata, Hirotsugu Kinoshita, Tetsuya Morizumi,	
Optimal threshold characteristics of call admission control by considering cooperative behavior of users (loss model) (査読付)	共著	2013年 8月	IEEE PACRIM2013	Sumiko Miyata, Katsunori Yamaoka, Hirotsugu Kinoshita,	

Optimal threshold configuration with equality based call admission control with cooperative users (mixed loss and delay system) (査読付)	共著	2014年 2月	IEEE ICNC2014	Sumiko Miyata, Katsunori Yamaoka, Hirotsugu Kinoshita,	
Accepting More General Telephone Calls in Emergency Situations by Limiting General Call Holding Time under Trunk Reservation Control (査読付)	共著	2014年 5月		Kazuki, Tanabe, Sumiko Miyata, Katsunori Yamaoka,	
Access control model for the My Number national identification program in Japan (査読付)	共著	2014年 7月	IEEE COMPSAC 2014	Sumiko Miyata, Kazuhiro Suzuki, Tetsuya Morizumi and Hirotsugu Kinoshita,	
III 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
2011年 4月～2012年 3月		科学研究費補助金 700,000円 「特別研究員奨励費(国内)」 ユーザ満足度に基づいた多元トラフィック受付制御方式の研究 (研究代表者)			
2012年 4月～現在に至る		IEICE Trans. on Fundamentals, Trans. on Communications, Trans. on Information and Systems, Reviewer.			
2012年 4月～現在に至る		電子情報通信学会Netsci研究会 専門委員			
2012年 4月～2014年 3月		電子情報通信学会SITE研究会幹事補佐			
2012年 4月～2013年 5月		電子情報通信学会webコンテンツ運営委員			
2012年 9月～2014年 3月		科学研究費補助金 2,990,000円 「研究活動スタート支援」 利己的および協力的ユーザ群の振舞いを考慮した受付制御方式に関する研究 (研究代表者)			
2013年 4月～現在に至る		IA研究会 専門委員			
2014年 4月～現在に至る		IEEE COMNETSAT, Technical Program Committee.			

2014年 4月～現在に至る	科学研究費補助金 3,770,000円 「若手研究(B)」 不合理なユーザの振舞いがもたらす合理的な受付制御方式の研究（研究代表者）
2014年 4月～現在に至る	電子情報通信学会SITE研究会幹事

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 工学部電気電子情報工学科	職名 特別助教	氏名 ニコデムス レディアン A. W. W.	大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
電気工学ハンドブック 第7版	共著	2013年 9月	(オーム社)		
論文					
Capacitance Reduction Technique for Switched Capacitor Circuits Based on Charge Distribution and Partial Charge Transfer (査読付)	共著	2011年 2月	IEICE Trans. on Fundamentals E94-A(2)	Nicodimus Retdian, Shigetaka Takagi	625-532頁

スイッチト・キャパシタ回路における雑音解析手法 (査読付)	共著	2011年 3月	電気学会論文誌C 131(3)	ニコデムスレディアン、高木茂孝	535-542頁
Common-mode gain reduction technique and its applications (査読付)	共著	2011年11月	IEEJ Trans. on Electrical and Electronic Engineering 7(1)	Nawatt Silawan, <u>Nicodimus Retdian</u> , Shigetaka Takagi,	74-80頁
Implementation of Low-Noise Switched-Capacitor Integrators with Small Capacitors	共著	2012年 2月	IEICE Trans. Fundamentals E95-A(2)	<u>Nicodimus Retdian</u> , Shigetaka Takagi	447-455, 頁
Linear Voltage-to-Current Converters with Current Reuse Technique (査読付)	共著	2012年 9月	Springer Journal of Analog Integrated Circuits and Signal Processing 72(3)	<u>Nicodimus Retdian</u> , Daisuke Horii, Shigetaka Takagi	549-556頁
Implementation of LowNoise Switched-Capacitor Low-Pass Filter with Small Capacitance Spread (査読付)	共著	2013年 2月	IEICE Trans. on Fundamentals E96-A(2)	<u>Nicodimus Retdian</u> 、Shigetaka Takagi	477-485頁
その他					
電流を再利用した線形電圧電流変換回路に関する研究	共著	2010年 5月	電気学会電子回路研究会資料 ECT-10(66)	ニコデムス レディアン, 堀井大輔, 佐藤 広生, 高木 茂孝,	81-86頁
Real-Frequency Design of an Integrated Lumped Element Broadband Impedance Transforming Filter (査読付)	共著	2010年 8月	Proc. Mediterranean Microwave Symp. 2010	<u>Nicodimus Retdian</u> , Kumar Narendra, Siddik Yarman	

Linear Voltage-to-Current Converter with Current Reuse (査読付)	共著	2010年 9月	Proc. of 2010 IEEJ Int. Analog VLSI Workshop	<u>Nicodimus Retdian</u> , Daisuke Horii, Hiroki Sato, Shigetaka Takagi	149-154頁
Analysis and Measures on the Effect of Non-idealities in Switched-Capacitor Integrators with Correlated Double Sampling (査読付)	共著	2010年10月	Conf. on Analog VLSI Circuits, vol.CDROM	<u>Nicodimus Retdian</u> , Yasuhiro Enomoto, Shigetaka Takagi	
電荷再分配と部分転送を用いた省面積スイッチトキャパシタフィルタの構成	共著	2010年10月	電気学会電子回路研究会資料 ECT-10(91)	ニコデムス レディアン, 杉浦誠治, 佐藤 広生, 高木 茂孝,	33-38頁
アナログ回路における基板雑音の影響に関する考察	単著	2011年 1月	電気学会電子回路研究会資料 ECT-11(15)		
スイッチトキャパシタ積分回路の総容量値の低減と雑音対信号比の改善	共著	2011年 1月	電気学会電子回路研究会資料 ECT-11(1)	ニコデムス レディアン, 塚田真司, 佐藤 広生, 高木 茂孝,	1-6頁
抵抗加算器とOTA-C積分器を用いて零点を持つフィルタの構成	共著	2011年 1月	電気学会電子回路研究会資料 ECT-11(21)	佐藤 広生, 徐 志善, ニコデムス レディアン, 佐藤 隆英, 高木 茂孝,	
抵抗領域で動作するMOSFETを用いたOTA回路の入力電圧の改善	共著	2011年 1月	電気学会電子回路研究会資料 ECT-11(20)	佐藤 広生, 齋藤 祐樹, ニコデムス レディアン, 高木 茂孝	
Novel Superharmonic Injection-Locked Quadrature Oscillator	共著	2011年 3月	電気学会電子回路研究会資料 ECT-11(45)	Nawatt Sillawan, <u>Nicodimus Retdian</u> , Hiroki Sato, Shigetaka Takagi	

Low-Power Leapfrog Bandpass Filter with Transmission Zeros Using Integrators and Resistor-Based Addition Circuits (査読付)	共著	2011年 8月	Proc. of the 20th IEEE European Conf. on Circuit Theory and Design	Hiroki Sato, Zhishan Xu, <u>Nicodimus Retdian</u> , Shigetaka Takagi	386-389頁
アイドリングフェーズを利用したスイッチトキャパシタフィルタの低周波雑音の低減	共著	2011年10月	電気学会電子回路研究会資料 ECT-11 (74)	堀井 大輔, <u>ニコデムス レディアン</u> , 佐藤 広生, 高木 茂孝	37-41頁
寄生容量の影響を補償した単一演算増幅器形高次スイッチトキャパシタフィルタの導出	共著	2011年10月	電気学会電子回路研究会資料 ECT-11 (73)	堀井 大輔, <u>ニコデムス レディアン</u> , 佐藤 広生, 高木 茂孝,	31-35頁
Implementation of Low-Noise Switched-Capacitor Low-pass Filters with Small Area (査読付)	共著	2011年11月	Proc. of 2011 IEEEJ Int. Analog VLSI Workshop	<u>Nicodimus Retdian</u> , Shigetaka Takagi	135-138頁
スイッチトキャパシタ回路におけるSN比の改善手法	共著	2011年11月	電気学会電子回路研究会資料 ECT-11 (96)	<u>ニコデムス レディアン</u> , 高木 茂孝	
小面積低雑音SC低域通過フィルタの設計	共著	2011年12月	電気学会電子回路研究会資料 ECT-11 (115)	<u>ニコデムス レディアン</u> , 高木 茂孝	15-20頁
基板雑音の低減に適した回路分割型構成回路のレイアウト	共著	2012年 3月	電気学会電子回路研究会資料 ECT-12 (28)	鈴木 啓司, 高木 茂孝, <u>ニコデムス レディアン</u> , 佐藤 広生	47-52頁
スイッチトキャパシタ積分回路における二重相関サンプリングの改善手法	共著	2012年 5月	電気学会電子回路研究会資料 ECT-12 (44)	<u>ニコデムス レディアン</u> , 榎本 泰宏, 高木 茂孝	
スタガ増幅回路設計に関する検討 (査読付)	単著	2012年 7月	第25回回路とシステムワークショップ会議録		76-81頁

Analysis and Measures on the Effect of Nonidealities in Switched Capacitor Integrates with Correlated Double Sampling (査読付)	共著	2012年10月	Proc. of Int. Conf. on Analog VLSI Circuits, CDROM	<u>Nicodimus Retdian</u> , Yasuhiro Enomoto, Shigetaka Takagi	
低雑音スイッチトキャパシタ電流積分回路の構成 (査読付)	共著	2013年 7月	第26回回路とシステムワークショップ会議録	<u>ニコデムスレディアン</u> ◎、高木茂孝	351-356頁
Performance Comparison of Three Asynchronous Level-Crossing ADC Designs	共著	2014年 1月	電気学会電子回路研究会資料 ECT-14(30)	Paul Nogas◎, Shigetaka Takagi, Hiroki Sato, <u>Nicodimus Retdian</u>	161-166頁
低雑音スイッチトキャパシタ電流積分回路の構成 (査読付)	共著	2014年 8月	電子情報通信学会 CDROM	<u>ニコデムス レディアン</u> ◎, 隈部大地, 高木 茂孝, 島 健	
スイッチトキャパシタ低域通過フィルタの低雑音および小面積化手法	単著	2014年12月	電気学会研究会資料(電気学会) ECT-14(091)		9-14頁
リングオシレータを用いた真性乱数発生器の高速化に関する検討	共著	2015年 1月	電気学会研究会資料(電気学会) ECT-15(011)	杉本佳康◎, <u>ニコデムスレディアン</u> , 島健	25-30頁
任意の整数変換比を有するスイッチトキャパシタDC-DC変換器の設計手法	共著	2015年 1月	電気学会研究会資料(電気学会) ECT-15(017)	竹内健人◎, <u>ニコデムス レディアン</u> , 島健	61-64頁
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
1994年 4月～現在に至る		IEEE CASS JC Treasurer			
1994年 4月～現在に至る		IEEE(国際学会)会員			
2002年 4月～現在に至る		電子情報通信学会 会員			
2002年 4月～現在に至る		電子情報通信学会(国内学会)会員			

2006年 4月～現在に至る	演算増幅器設計コンテスト審査委員会 委員
2008年12月～現在に至る	電気学会 会員
2008年12月～現在に至る	電気学会(国内学会) 会員
2009年 3月～現在に至る	電気学会電子回路研究専門委員会 幹事補佐
2009年10月～2013年 9月	東京大学VDEC 協力教員
2010年 4月～現在に至る	その他の補助金・助成金(財団法人エプソン国際奨学財団)900,000円 「研究助成」デジタル基板雑音の研究(研究代表者)
2010年 5月～現在に至る	電子情報通信学会英文論文誌C編集委員会 委員
2010年10月～2014年 9月	電子情報通信学会回路とシステムワークショップ実行委員会 委員、世話人、幹事
2010年12月～現在に至る	応用科学学会 会員
2010年12月～現在に至る	応用科学学会(国内学会) 会員
2012年10月～2013年 9月	電子情報通信学会(国内学会)回路とシステムワークショップ幹事
2013年 4月～現在に至る	電気学会(国内学会)システムLSIにおけるデジタル雑音の伝搬メカニズム調査専門委員会幹事
2013年 4月～現在に至る	電気学会システムLSIにおけるデジタル雑音の伝搬メカニズム調査専門委員会 幹事
2014年 4月～現在に至る	電気学会(国内学会)電子回路研究専門委員会幹事補佐
2015年 1月	IEEE(国際学会)IEEE回路とシステムソサイエティジャパンチャプタ 会計幹事